第３章　近世の日本

第１節　　ヨーロッパとの出合い

２５　ヨーロッパ人の世界進出　　p104,105「ルネサンスと宗教改革」を参照

[**大航海時代と新大陸の発見**]p102

☆**十字軍**・・11～13 世紀。聖地エルサレム奪回をめざして７回ほど行われたヨーロッパ人による　イスラム諸国への攻撃→失敗したがイスラム文化や古代文明への関心を広げる(ルネサンスへ)

→その後これら東方の諸国との貿易でイタリアが繁栄し，しだいに繁栄が北方に広がる。

☆(＿＿＿＿＿＿=**文芸復興**)・・14,15 世紀，イタリアを中心にギリシャ・ローマの古代文明を学び直す学問・芸術の動き→人間や社会をありのままに見て考え、表現する文化と科学が発展。

＊レオナルド・ダ・ビンチ:(　　他)，(　　):ダビデ像他，ｼｪｲｸｽﾋﾟｱ：(ﾊﾑﾚｯﾄ他),

＊コペルニクス：(　　)，(　　)：望遠鏡で地動説を実証、

＊地球球体説によるトスカネリなどの世界地図→アジアへの関心を高める　　↓日本特有の表現

＊火薬・羅針盤・活版印刷(ﾙﾈｻﾝｽ３大技術)の発展,帆船の改良→遠洋航海で海外進出へ=(　　)**時代**

☆15 世紀のイベリア半島・・イスラム教勢力を追い払い**スペイン**と**ポルトガル**が国家を統一。

⇒地中海を通らずにアジアと直接貿易をめざす(西アジアやイタリアの商人を通さずに貿易したい)。

＊ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ人の(＿＿＿＿＿＿)・・アフリカの南端を回ってインドに着く(　　)年←ｲｽﾗﾑ教徒の船が案内

→中継貿易で香辛料(　　など),絹,宝石などを手に入れて繁栄する。

⇒スペイン・・国王が西回りにアジアへ行く航路を開くため航海者たちを支援

＊ｲﾀﾘｱ人(＿＿＿＿＿＿)・・大西洋を西に進んで西インド諸島へ着く(＿＿＿＿)年

(到着したカリブ海の島ｻﾝ・ｻﾙﾊﾞﾄﾞﾙ島をインドと信じ、住民をインディオ=インド人呼ぶ。)

※その後アメリゴ=ベスプッチ(ｲﾀﾘｱ人)が新大陸だと発表。→**アメリカ大陸**の名がつく。

＊ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ人 (※＿＿＿＿＿)のひきいるスペイン艦隊・・・西回り世界一周航海に成功

部下たちが実現：270 人中 18 人が帰還。(　　年～　　年)　※ﾌｨﾘﾋﾟﾝで死亡

[**ポルトガルとスペインの世界分割**]p102,103

☆銃を持つ軍隊と商人・宣教師をアジアやアメリカに派遣し，多くの地域を征服して支配。

＊両国で条約(トルデシリャス条約 1494 年)を結び植民地範囲を東西に分割する（教 p102 地図参照）。

☆ポルトガル・・16 世紀，アジア貿易を独占し,(　　),茶,絹織物などをもたらして繁栄。

※1755.11.1 のリスボン大震災(沖合のﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ 8.5~9.0 の大地震による)以降衰退に向かう。

☆スペイン・・南米の(　　)文明やメキシコのアステカ文明を破壊しアメリカ大陸を支配

アメリカ大陸を植民地とし、原住民を酷使して(　　)や農産物をヨーロッパへ運び繁栄。

※大量のアメリカ先住民を虐殺(『ｲﾝﾃﾞｨｱｽの破壊についての簡潔な報告』ﾗｽ・ｶｻｽ,岩波文庫)

→労働力が足らないのでアフリカから大量の黒人を輸入して奴隷にする(p103 奴隷船の内部の図)

[**宗教改革と海外布教活動**]p103,　p105 参照

☆(　　・　　)教会・・ヨーロッパ人に巨大な影響を与えたローマ教皇のキリスト教会

サンピエトロ寺院(ﾊﾞﾁｶﾝ)の修理のため「免罪符(買えば罪が許される札)」を大々的に販売　→

「信仰こそが人を救う」とするﾄﾞｲﾂの(　　)による(＿＿＿＿＿)1517 年～ ﾌﾗﾝｽ人(　　※)

※「職業にはげみ富を蓄えることは神の意志に沿う」→商工業者に救い→資本主義の精神的基礎へ

新しい教えを信仰する人=新教徒(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿・・抗議する者)がふえる

☆ローマ教会による盛り返しの動き→海外布教へ＝スペインのｲｸﾞﾅﾁｳｽ・ﾛﾖﾗやﾌﾗﾝｼｽｺ・**ザビエル**が

(　　)を創設→通商・植民活動と協力してアジアなどへ

[**オランダとイギリスの興隆**]p103　　※カリブ海地域を西インドとしたため,元のインドをこう呼ぶ。

☆16 世紀スペインの繁栄→「日の沈むことのない帝国」・・南米などから莫大な利益が入る

→国内産業の没落(農業をやめ羊を放牧→羊毛を輸出してオランダなどで毛織物を生産)

☆16 世紀末のオランダ・・戦争の末、スペインから独立→産業や貿易で国力を強化

→ヨーロッパの金融と海運を支配。1602 年(※　　)を設立→アジアへ

17 世紀，イギリスが奴隷貿易で利益を上げ，国内産業を発展させオランダに続く。

⇒(※　　)会社を通じて，海外での通商・植民活動をおこなう。

２６　ヨーロッパ人の来航

[**鉄砲の伝来とその影響**]p106

☆ポルトガル人を乗せた中国船が(　　)に漂着(＿＿＿＿)年⇒２丁の(＿＿＿＿)が日本に。

☆鉄砲が日本に与えた巨大な影響

＊(　　),近江の国友村,紀州の根来(ねごろ)寺などで大量生産され、戦国大名の間に広まる。

＊戦術の変化、築城技術の向上→戦争の決着を早め,天下統一を促進。(製鉄・鉱山技術も発展)。

[**ザビエルの来日とイエズス会**]p106,107

☆(　　)年、(　　)が鹿児島に上陸し日本へキリスト教を伝える。

鹿児島，山口，京都，豊後府内(大分)などで布教し信者をふやす→中国に向かう途中で死亡。

[**南蛮貿易とキリシタン大名**]p107

☆ポルトガル人と(　　)人＝(※　　)との貿易　※南から来た野蛮人←中国人の考え方

＊貿易港・・(　　)や(　　)・・毎年定期的に入港

＊ 日本の輸入品・・中国産の生糸や絹織物が大半。他に(　　)など。

日本からの輸出品・・最大は**銀**　(当時日本は世界の銀の 1/3 を産出していた)

※この貿易で日本に入り、現在も使われているものは？（　　）

☆大名たちが貿易のためにキリスト教布教を許可

＊宣教師たち→布教のため貧しい人を救い(　教会・学校・　　・孤児院)などを建設

⇒西日本中心に信者(キリシタン)が急速にふえる・・1580 年代には約 15 万人(天草・島原=11.5 万人、府内・・大分=１万人、その他=2.5 万人)→17 世紀はじめに 30 万人

☆(　　)大名・・貿易の利益のため寄港や布教を認め、信者になった大名たち。

＊(　　),大村純忠,有馬晴信→天正遣欧使節(4 人の少年をヨーロッパへ派遣 1582～90 年)

第２節　信長・秀吉の全国統一

２７　織田信長と豊臣秀吉の全国統一

[織田信長の登場]p108

＊尾張(愛知県西部)の小さな戦国大名の子として生まれる。

1560年(　　)の戦いで、駿河･遠江･三河の大名(　　)を破る

1568年、将軍に足利義昭をおし立てて京都に入る。

(　　)年、　〃　を追放して室町幕府を滅ぼす(足利義昭が信長を倒そうとしたため)。

☆都市の支配･･軍資金を出さない自治都市の(　　)を攻めて従わせ、鉄砲を大量に手に入れる。

☆1575年、同盟者の徳川家康と共に、甲斐の(　　)氏を長篠の合戦で破る。

＊信長の新戦法･･(　　)

☆宗教勢力への弾圧 (1)信長と敵対する大名を助けた(　　)を焼き討ちする1571年。

(2)越前(福井)や伊勢長島の(　　)を残酷なやり方で押しつぶし,浄土真宗の本山・大坂の石山寺本願寺を降伏させる=仏教による民衆の団結を防ぐ。⇔(　　)には寛容

☆琵琶湖のほとりに壮大な(　　)を築き、家臣を城下に集めて根拠地とする。

＊(　　・　　)令･･営業税と座や関所を廃止し、商工業の発展をはかる。

☆信長の最後･･(　　)年、京都で家臣明智光秀に攻められ自殺(　　)。

[豊臣秀吉による全国統一]p109

☆秀吉の登場　尾張(愛知県)の(　　)の家※に生まれ、信長に仕えて有力大名に出世。

※織田家の足軽を務める名主の家かも。秀吉の名(日吉丸？→木下籐吉郎→羽柴秀吉→藤原秀吉→豊臣秀吉)

＊1582年,本能寺の変のあと毛利氏との戦いから直ちに戻って(　　)を山崎合戦で破り信長の葬儀を主催した。柴田勝家を賤ヶ岳の戦いで破って名実とも信長の後継者となる。

⇒壮大な(　　)城を建設して天下支配の拠点とする(1583~)。1585年(　　)、1586年太政大臣となり、天皇や公家の権威を利用して大名を支配。→四国・九州の大名も制圧。

＊(　　)年･･小田原の(　　)氏を滅ぼし、同時に東北の(　　)氏を従えて全国を統一する＝戦国時代の終了。　※同時に徳川家康を関東に遠ざける･･家康は主君信長の同盟者であり,1594年の(　　)の戦いでは秀吉側が苦戦しかろうじて和睦に持ちこんだ。

＊200万石の領地を持ち、(大坂、京都、　　,　　)など重要都市は直接支配する。

佐渡金山や生野銀山を開発し統一的な金貨・銀貨を発行。(天正大判、天正通宝金銭･銀銭など)

２８　豊臣秀吉の政治と外交

[太閤検地と刀狩り]p110

☆農民支配の２大政策　　※太閤(たいこう)･･関白の位を子息にゆずった人(秀吉は秀次に関白をゆずった)

①(　　)･･全国の田畑の面積･等級･生産者･収穫高などを調査して記録する。

＊ものさしやますを統一して検査の基準をそろえる（p110写真　京ます）

＊収穫高を米の石高であらわし、年貢の基準とする＝石高制(こくだかせい)。

→武士は石高で知行(領地)を与えられ、それに応じて軍役を果たす。

＊年貢は有力農民ではなく、実際に土地を耕している農民が納める。

→荘園領主や有力農民の支配をなくし単純な領主-農民関係とする。

※名主の下にいた奴隷的な農民が土地を保有(所有ではない)し自立させられる=日本の奴隷解放説も。

土地の利用権(保有権)を得た農民は「土地所有権」を持つ領主から土地を借り,その地代として年貢を納める。

②(　　)1588年・・大仏をつくるという口実で農民から刀・弓・やり・鉄砲※を取り上げる。

→農民による一揆を防ぎ、耕作に専念させる。※実際には害獣を駆除する鉄砲はほとんど容認し，農民や町人も刀を持つ者が多かった。しかし一部の者しか帯刀(二本差し)は認められなくなった。

⇒(　　)政策・・武士と農民・町人の身分の違いをはっきりさせ(刀は武士の象徴)，下剋上を完全に否定⇒江戸幕府によって完成される。(藤木久志『刀狩り』岩波新書　は今までの「常識」をくつがえす)

[**キリスト教の禁止**]p110,111　信長・・石山本願寺などの仏教勢力をおさえるためにキリスト教を保護

☆豊臣秀吉・・初めは保護→1587年キリスト教禁止令(「　　」)=宣教師の国外追放

＊(　　)がイエズス会に寄進されていたことから警戒を強めた。

※なぜ禁止したのか？　(　　)

→貿易は認めたため，禁教は行き渡らず，信者も増加していた。

[**対外政策と朝鮮出兵**]p111　＊東アジアの盟主となろうとする。フィリピンや台湾に服属を求める。

☆秀吉の海外侵略の野望→朝鮮侵略=(　　)の征服をめざしその通路として朝鮮を支配する。

(1)(　　)～1596年＝**文禄の役**　＊緒戦は圧勝・・15万人の秀吉軍は漢城(今のソウル)などを占領、明との国境付近まで侵入。⇒しだいに朝鮮民衆の抵抗,李舜臣の率いる水軍の活躍※と明の援軍に苦しみ休戦して撤退。　※全面を鉄板でおおった亀甲船(きっこうせん)を用いて日本との海戦に連戦連勝をおさめる

(2)1597～1598年＝(　　)の役・・朝鮮と明の連合軍に苦戦し、秀吉の死亡で退却

＊「朝鮮出兵」(朝鮮では壬辰・丁酉倭乱)による多くの朝鮮人の犠牲，朝鮮国内の荒廃※

※鼻数請取証・・日本軍による朝鮮人虐殺の証拠=手柄の報告に鼻を提出させた(広島県吉川(きっかわ)家文書)

・「請取り,頚(くび)の鼻数のこと。合わせて参千四百八拾七なり。たしかに請取り申すところなり。」

・・・慶長２年8/21～10/9だけで29251の鼻が受け取られている。　→※京都の「耳塚」(実際は鼻塚)

・「惣頚数,都合三千七百二十六」,「大将なれば首をそのまま」,その他は「ことごとく鼻にして,塩,石灰を以て壷に詰めいれ」,「日本に進上」した。・・・慶長２年８月１６日,軍監(ぐんかん)太田一吉の報告。

☆朝鮮のすぐれた陶工を連行し各地で陶業に従事させる→佐賀の(　　)焼,鹿児島の薩摩焼など(※司馬遼太郎『故郷忘じがたく候』)。　朝鮮の活字印刷技術も伝わる(余り普及しない)。

２９　雄大で豪華な桃山文化

[**桃山文化**]p112　※信長・秀吉の活躍した時代＝(　　・　　)時代

☆信長・秀吉の時代の(　　)な文化＝(　　)文化←秀吉の居城の後の名から

統一政権のもと、商業や貿易がさかえ、金銀の産出も増大して社会に活気がみなぎる。

＊強大な力を持ち時代の主人公となった(　　)や貿易で栄える大商人などの気風を示す。

＊仏教の影響がうすれ、生きる喜びを重く見る開放的・人間的な傾向。

☆主な内容　①壮大な(　　)がそびえる巨大な**城**・・※宗教のためでない初めての巨大建築

＊安土城(焼失)、大坂(阪)城(焼失,今の天守閣は再建)，(　　)など(p112写真)

内部は書院造、柱や欄間に豪華な彫刻・・・西本願寺書院、二条城二の丸御殿。西本願寺唐門などに残る

②絵画(　　)・・城のふすま・屏風に花・鳥・竜・虎など華やかな色彩で描いたものが多い。

＊狩野派　(　　)・・「唐獅子図屏風」,「洛中洛外図屏風」など。狩野山楽も。

③茶の湯　＊堺の商人(＿＿＿＿＿＿)によって大成される。→質素な(　　)の茶道

※「茶の本意は‥主客ともに直心の交わりなれば‥火をおこし、湯を沸かし、茶を喫するまでのことなり。他事あるべからず」『南坊録』→茶道具や茶室を飾る(　　)，庭園造りの発展にも。

「**南蛮文化**」p112,113

☆宣教師やヨーロッパの商人が伝えた文化･･･地理学・医学・天文学・航海術など。

南蛮貿易→＊ヨーロッパの衣服、パン・カステラ・テンプラ・金平糖・カルタ・カッパ・時計・オルガンなど現在の日本人の生活にとけこんだものも。

＊活版印刷術→ローマ字で印刷された書物（キリシタン版『平家物語』など）

＊南蛮船などを描く絵画(　　)、西洋風の絵画など。

⇒ヨーロッパ文化の影響で生まれたこのような文化＝(＿＿＿＿＿＿＿＿)

[**民衆の文化**]p113　　※かぶく＝いかれたかっこうをする

☆平和な時代，産業・商業の発展による豊かさ→来世より(　　)を楽しむ活発な文化へ

☆芸能‥主流はまだ能と狂言だったが民衆が好む新たな芸能が発展した。

＊小歌の流行、沖縄から入った楽器(蛇皮(じゃひ)線.三線(さんしん)→　　)で伴奏→浄瑠璃節

＊人形浄瑠璃‥浄瑠璃節に三味線で伴奏をつけ、人形操(あやつ)りを見せる。

＊(　　※)踊り‥(　　)が京都鴨川の河原などで興行した踊り。

・木戸銭(入場料)を取る日本最初の商業演劇→後の伝統演劇の(　　)へ

☆衣服・・小袖(こそで‥もとは下着)が普通の服に。←麻に代わって(　　)が衣料の基本となる。

歴史ズームイン　茶の湯と生け花 p114

☆生け花の源流は，東山文化の書院を飾った「立花」。京都六角堂の池坊専慶らが基礎を築いた。千利休は，それを茶室に取り入れ「茶花」として大成させたという。茶花＝生け花ではない。

課題学習　城を探検してみよう p115

☆長野県の松本城‥16c 末~17C 初の天守閣が現存する貴重な城。天守と共に櫓･石垣･狭間･石落としなどの戦闘施設も見られる。※神奈川県内では，「小田原城」(再建だけど)の見学がおすすめ。天守閣だけでなく，常磐木門，住吉橋，銅門なども整備されて城郭のイメージがつかめるようになってきた。

第３節　江戸幕府の政治　３０　江戸幕府の成立

[**徳川家康と江戸幕府**]p116

☆徳川家康の勢力拡大

＊三河の国(愛知県)の小大名(　　)氏の長男。少年期は織田･今川氏の人質として過ごす(6~19 歳)。

＊桶狭間の戦い(1560 年)の後、三河に帰り勢力拡大に努力。

＊西の(　　)と同盟し、甲斐･信濃の(　　)氏と対立しつつ東方へ進出。

＊三方が原の戦いで武田信玄に惨敗(1572 年 12 月)。　※信玄はその翌年に病没(結核)。

＊長篠の合戦で織田信長と連合して信玄の後を継いだ武田勝頼を破る(　　年)。

⇒武田氏を滅ぼし、東海～東山(愛知･静岡･長野･山梨)に勢力を伸ばす(1582 年～)。

※大阪‥江戸時代までは**大坂**が普通。　　歴史学習ノートNo３７

＊(　　)の軍を尾張の小牧･長久手の戦いで破るが、和睦する(1584年)。

＊　　〃　　の命令に従い、小田原の北条氏を征服(　　年)‥実際に闘った主力。

⇒関東に領地を移らされ、(　　)を拠点として２５０万石の大大名となる。

＊朝鮮出兵には加わらず、勢力をたくわえる。

＊秀吉の死後、五大老(家康,前田利家,毛利輝元,小早川隆景,宇喜多秀家)の筆頭として政治を動かし、五奉行(　　,浅野長政,前田玄以,増田長盛,長束正家)と対立

＊**(　　)の戦い**で石田三成らを圧倒‥(　　年)‥天下分け目の戦い

＊朝廷を動かし征夷大将軍となって、(　　)を開く‥(　　年)。

→1605年､征夷大将軍の地位を息子の秀忠にゆずり、徳川氏が代々将軍職を引き継ぐことを示す。

＊大坂※冬の陣(1614年)と夏の陣(　　年)で豊臣氏を滅ぼし全国支配を完成。

※方広寺鐘銘事件などで豊臣氏を挑発し、冬の陣をしかける。「国**家**安**康**」の文字

※冬の陣の和睦に際し外堀を埋めるだけでなく内堀も埋めてしまい、大坂城を無力化する。

☆織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の個性・・後の人々の評価(本人が詠んだわけではない)

＊川柳に詠まれた三人は誰？‥鳴かぬなら殺してしまえほととぎす(　　)・鳴かぬなら鳴かしてみしょうほととぎす(　　)・鳴かぬなら鳴くまでまとうほととぎす(　　)

＊次の狂歌の意味は何か‥「織田がつき　羽柴がこねし　天下餅　座りしままに　食うは徳川」

(　　)

正しいかな？　(　　)

＊三人の共通点‥一向一揆を徹底的に押しつぶし、兵農分離をいちはやく進めたことなど

☆秀吉の辞世の歌　　※辞世(この世に別れをつげること)

つゆとおち　つゆときえにし　我が身かな　難波のことは　ゆめのまたゆめ

☆家康が江戸に幕府を開いてから徳川氏が全国を支配した約２６０年間＝**(　　)時代**

[**江戸幕府のしくみ**]p116,117

☆幕府のしくみ‥3代将軍(　　)のころまでに整った。譜代大名や旗本が職務を担当。

幕政 ┌ 複数の(　　)‥行政の責任者。臨時の最高職は(　　)
　　└ 大目付(大名の監視)と三奉行(町奉行、勘定奉行、寺社奉行)､京都所司代、大坂城代

家政‥‥徳川家内部の政治(旗本･御家人の支配)・・若年寄ー目付

☆江戸幕府の安定のもと＝強大な財力と軍事力

(1)全国の石高の約(　　)の領地を支配

①幕府が直接に支配する直轄地(　　＝幕領)が約４００万石以上

重要な都市、金山・銀山などの鉱山、港、軍事上の要地をおさえる。

②直属の家来(　　・　　)の領地が約３００万石‥江戸の周辺

(2)小判などの(　　)の鋳造権をにぎり、外交権と長崎での貿易も独占する。

(3)「旗本八万騎」といわれた旗本･御家人の強力な軍事力(戦国時代も強かった！)

旗本は直参(直属の家臣)のうち将軍と謁見できる上位の家臣で領地を持つ，御家人はそれ以下で給米のみが普通。

☆１万石以上の領地を支配する領主(=　　)が領地や家臣を支配するしくみ＝(　　)

＊大名の種類と配置　　(配置した場所)

①(　　)・・・徳川氏一門の大名
②(　　)・・・初めから徳川氏に従った大名　　―外様大名を監視する要地へ
③(　　)・・・以前は豊臣氏に従い、関ヶ原の戦いの後に徳川氏に従う　　―江戸から遠く離れた所に

※御三家(　　・　　・　　)の徳川氏=２代将軍秀忠の弟たち３人の子孫
→本家に跡継ぎがいない場合は御三家から将軍を出す(実際に8代～紀伊と15代水戸)。

⇒幕府と藩が土地や人民を支配する政治制度・・・(　　)

[**幕府による統制**]p117

☆幕府が大名統制のため定めた規則(法)・・・(　　) 1615年,1635年

＊内容①大名が守るべき規則・・城の新築・増築の禁止,大名家同士の無断婚姻禁止など

＊(　　)制・・大名は１年おきに江戸と領国に住み、妻子は江戸に住まわせる
→大名は江戸と領国を行列で往復。江戸から遠い外様大名ほど大変。

※ねらい・・江戸住まいや往復の旅費で大名に散財させる。妻子は江戸に置き(　　)とされた。

※大名行列の例・・1720年薩摩藩の場合(人数558人,家中馬21匹,73日間)→道中費5080両、船賃638両
→計5718両(4億6315万円)⇒この費用は領民の厳しい負担でまかなわれた
＝領民を疲弊させる封建制度の不合理。一方で江戸と街道筋の宿場が繁栄し交通が発達。

＊この法にそむけばどうなるか(親藩・譜代大名でも)→家の取りつぶしや領地取りあげなど厳しく処分。

☆天皇や公家への統制・・(　　)を定め1615年,(　　)を置く

※将軍は政治の実権を握り，天皇の伝統的権威を利用しつつ万事に干渉した(紫衣事件など)。天皇の「征夷大将軍」の役職任命権は形式であり，常に江戸幕府の意向によって任命した。

３１　「鎖国」への道

[**貿易の発展**]p118

☆家康の貿易保護政策・・①キリスト教の布教と切り離し(　　・　　)船と貿易する。

※1600年オランダ船リーフデ号で漂着したイギリス人ｳｨﾘｱﾑ･ｱﾀﾞﾑｽﾞ(三浦按針)とオランダ人ﾔﾝ･ﾖｰｽﾃﾝ(耶楊子)を外交顧問とし助言を得る。アダムズは三浦半島に領地をもらう。耶楊子やようすの屋敷のあったあたりが八重洲。

②(　　)貿易・・東南アジア各国に将軍が朱印状を持たせた船のみとの貿易を求める

＊1604~1635年に約350通の朱印状が発行され100人以上の商人・大名らが参加し多くの日本人が渡航した。ルソン,安南,カンボジア,シャムなどと貿易→各地に日本人が住み自治を行う(　　)。
ﾍﾞﾄﾅﾑ(ﾌｪﾌｫ=ﾎｲｱﾝ、ﾂｰﾗﾝなど),ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ(　　など),ｼｬﾑ=ﾀｲ(　　など)

＊日本の輸入品(生糸・絹織物、砂糖、鹿皮、鮫皮など)、輸出品(　　=世界の1/3、銅、鉄など)

[**キリスト教の禁止(禁教)へ**] p118,119

☆幕府の対策・・貿易のための容認から厳しい禁止へ

＊外交顧問の三浦按針・耶楊子やオランダ・イギリスなどプロテスタント系商人の進言・・「ポルトガルやスペインはキリスト教を広めておいてから侵略する。」　→　禁教の方針を固める

@１６１２年の禁教令＝宣教師追放、幕府の支配地でのキリスト教禁止

@ (　　)年、３代将軍家光の禁教令　　※家康没1616年

・朱印船貿易や外国船が大名領に来ることを禁止。

・　　を禁止。

・キリシタンを密告した者に賞金を出す→キリシタンを根絶やしに！

＊キリシタンを発見する方法＝(　　)‥踏絵を踏ませ、反応を見る

※「踏み絵」という言葉は，現代でも人の内面をはかるために行われる不当な行為をさして使われることがある。

※人物クローズアップ　支倉常長‥伊達政宗がヨーロッパに派遣。禁教後の日本に帰国し事業は失敗。

[**島原・天草一揆と鎖国**] p119

☆九州で起こったキリシタン中心の大農民一揆＝(　　)1637～38年

＊重い年貢をかけ、キリシタンを厳しく取り締まった領主へ４万人の農民が立ち上がる

＊指導者(　　16歳)→領主板倉重昌は戦死し，幕府は老中松平伊豆守が指揮して12万人の大軍で包囲して兵糧攻めをし，オランダ船に砲撃も依頼してやっと鎮圧。

※飯嶋和一『出星前夜』(小学館)がお薦め。「キリシタンの反乱」に収まりきらない重い歴史。

☆仏教を使ったキリシタン禁止の徹底

＊(寺請制度)‥宗門改めをしてすべての人を仏教徒として(　　)に登録し，どこかの寺に所属させる。移転や結婚、旅行にも寺の証明を出させ、葬式は所属する寺で行わせる。

→自分で選び取る宗教ではなく強制された宗教⇒日本人の宗教意識を弱めた可能性も。

☆貿易の完全統制　‥日本人を国内に閉じこめ、貿易を制限して幕府が独占するしくみ

＊1623年　イギリス人が商館を閉じて退去　　＊1624年　スペインとの関係断絶

＊1633年　朱印船以外の海外渡航、外国に5年以上いる者の帰国をともに禁止

＊1635年　朱印船貿易と日本人の出入国をすべて禁止

＊(　　)年‥‥ポルトガル船の来航を禁止する。

⇒ヨーロッパの貿易相手国は(　　)だけとなる。　※他にアジアの中国、朝鮮

＊1641年　外国人商館を長崎の(　　)に移す。

⇒幕府による禁教・貿易統制・外交独占の体制＝(※　　)の完成‥一面で平和の維持に役立つ。

※ドイツ人ケンペルの「日本誌」を志筑忠雄が1801年に「鎖国論」として訳したことから。

３２　「鎖国」の時代に開かれていた窓口 ※

[**オランダと中国との貿易**]p106　　※近年は「鎖国」に否定的で日本と海外とのつながりを強調している。

☆オランダとの貿易　＊１年に数隻と量は少ない。

＊輸入品‥中国産の(　　・　　)、東南アジアやヨーロッパの物品など。

※キリスト教や西洋科学に関する書物は輸入できない。

輸出品‥(　　、　　・・日本は当時世界一の輸出国)。他に陶磁器など。

＊オランダ商館は(　　)という狭い埋立地の島にあり,日本人とオランダ人の交流は厳しく制限。

＊商館長は年１回幕府に(「　　」)を提出→世界情報は幕府の一部が独占していた。

☆中国との貿易・・明国(途中から　　)とは正式な国交が開かれず貿易だけおこなう。

＊多数の中国船が長崎に来航してさかんに貿易し、中国人の住む**唐人町**もできる。

＊中国船のもたらす情報→「唐船風説書」にまとめられて幕府へ提出。

＊輸入品・・生糸･絹織物･書籍，ﾖｰﾛｯﾊﾟの綿織物･毛絹織物，南洋の砂糖,獣皮など。
輸出品・・(　　・　　)，海産物など。

[**蝦夷地との交易**] p120,121　※松前は「北の窓口(入り口)」というより北の物資を集め本土に送り出した集散地。

☆北海道(　　)のアイヌの人々･･漁業などで生活し千島列島・樺太、黒竜江省などと交易。
※中国からの絹織物(　　)を入手し，日本人にも交易で渡り人気を呼ぶ。(満州風の絹製官服)

☆渡島半島南西部の松前藩→幕府が蝦夷地での交易独占を許可。家臣に交易の権利を与える
＊アイヌの人々のさけや毛皮,昆布･アワビなどを米･酒･もめん･鉄製品などと交換。
松前藩が3~20倍の利益を得る交換比率(「アイヌ勘定」)→アイヌの人々の不満が高まる。
⇒1669年、アイヌの人々が松前藩の支配に反乱(　　)→ 指導者が和議の酒宴で毒殺され徹底的に鎮圧される

☆大商人による漁業経営の請け負い→アイヌの人々を使う
※高田屋嘉兵衛･･函館を拠点に北方(択捉)航路を開いて蝦夷地の物産を本州で売り，漁場も開発した。

[**琉球との交易**]p121

☆(　　)王国･･尚氏の王朝が支配(首里城)。中国の冊封をうけた属国※。
※中国皇帝に朝貢して冊封を受ける(国王と認められる)。中国の元号(正朔)を用いる。

☆薩摩藩が琉球王国を征服(　　年)→検地を行い、厳しく年貢を取り立てる。
＊幕府と薩摩藩は琉球王国に中国との関係を続けさせ、貿易の利益と海外情報を入手した。
＊琉球王国の使節・・将軍と琉球王の代替わりごとに江戸に派遣された。中国服で行進させ、薩摩藩や将軍の権威が遠く外国にまで及んでいると思わせた→多くの民衆が見物し,沖縄の人を外国人と誤解。
＊中国との間接貿易　輸出＝馬･硫黄･海産物(蝦夷地の昆布、ふかひれ、なまこなど)
輸入＝絹織物、医薬品、茶、陶磁器など。琉球の特産物(黒砂糖他)と共に大阪で転売し利益。

[**朝鮮との関係**]p121

☆徳川家康が朝鮮との平和を回復→ ＊(　　＝宗氏)を通じた貿易・・釜山の倭館で実施
輸出品･･銀・銅など。輸入品･･書籍、朝鮮人参、絹など。※(　　)=将軍の代替わりごとに400～500名の大使節団で来日し江戸に向かった。計１２回→すぐれた学者・医者などの文化人が含まれ、東洋の文化を伝える使節として日本の知識人は彼らとの交流を歓迎した。沿道に文化を残している。

３３　身分制度の確立

[**町に住む武士と町人**]p122,123　※**百姓・町人も名字を持っている**が公式には名乗れない。「無礼うち」も。

☆江戸時代の身分制度・・兵農分離の徹底、身分支配の強化による社会の秩序･･民衆同士をいがみ合わせて団結させず，反抗を防ぐ。⇒基本の身分･･「　　，　　，　　」
①(　　)･･江戸や各地の城下町に住む。(人口の約※　　%)※江戸時代末期の割合
⇒特権(　　※他)。(　　)の規範に縛られる。
＊本来武力で働く軍人だが，平和の続く江戸時代は幕府や藩の役人として行政をおこなう。
＊大名は藩の経営者として領民の生活の安定に責任を負う立場。←失政には幕府の処罰も。
※多くの藩では世襲の領主が悪政･失政をくり返して領民を苦しめ，幕末にはほぼ破産状態。
＜この教科書は武士を「公儀」=「公のためにつくす存在」として理想化しすぎ。世襲の身分で上位に立ち,選挙でやめさせられることもないため，非道な支配,乱暴も多かった。＞

※武士階級の実態がわかる『元禄御畳奉行の日記』(神坂次郎･中公新書)　その中の事例　↓
仕事がないのでワークシェア→「三人一組で九日目毎に一昼夜の勤務(名古屋城の見張り番)」
※この身分の中にも厳しい上下関係があった。「門閥制度は親の敵かたき(福沢諭吉:「福翁自伝」岩波文庫)」

②(　　)･･都市の住民(人口の約　　%)。　手工業品をつくる職人と商人など。
＊地主･家持の商人が税(　　)をおさめ、名主(なぬし)などの町役人になって町を運営。
＊借家人は日雇いや行商をし、商家の奉公人(丁稚,手代,番頭)や職人の徒弟は独立をめざす。
＊「都市の自由」･･農民に比べて負担や制限が少ない→地方から農民が流入。生活は苦しい。
※「骨が語るお江戸事情」(朝日新聞 2011.12.17)→栄養不良・伝染病･･･「まるでスラム」
＊一部には幕府や大名に大金を貸す豪商もいた。(逆に身分関係を利用して潰される商人も)

[**百姓の暮らす村**]p123　※農民による自治→現代でも江戸時代の指導者の家が地域の市町村議をつとめる例多し

③(　　)･･(人口の約　　%あまり)。農業や漁業・林業をささえる。
＊大部分は農民→農地を持ち年貢を納める(　　)と耕地を持たない(　　)
＊村の自治＝有力な本百姓が名主(庄屋)･組頭･百姓代などの村役人となって運営→(　　)で年貢の割り付けや祭り,共有地の世話や用水の管理などを決める･･･厳しい掟(　　の制裁も)
＊農家５～６戸で(　　制度)⇒防犯や年貢納入で連帯責任を負わす。
・確実な年貢納入がねらい・・重い年貢率＝４割(　　)～５割(「五公五民」)
※負担軽減を要求する(　　)は 17 世紀末から増加。飢饉の際には急増。

＜厳しい差別を受けた人々＞

④(　　)･･農業を営み年貢も納める。他に死牛馬の解体、皮づくり、雪駄(せった)づくり、芸能など。
役人の下働きの役目(犯罪者の逮捕=岡っ引、牢番など)も。

⑤(　　)･･村や町の番人(犯人逮捕.処刑,墓守など)、乞食、雑芸能など。
☆特別の差別⇒農民や町人が幕府や藩から圧迫されている不満をそらす役割
(「あいつらよりましだ」とあきらめさせる、④⑤の人々をいじめてウサをはらさせる)
※えた(穢多･･けがれが多いという差別表現)　※ひにん(非人･･人ではないという差別表現)

歴史ビュー　江戸時代の身分制度「士農工商」の４身分より「武士・百姓・町人」の区分が実態
＊一部に流動的な身分関係＝江戸中期以降貨幣経済の進展によって，豊かな百姓・町人が武士身分の買取や養子縁組で武士になる例や武士の次三男などが農家・商家の跡取りとなる例など。「帯刀」の権利も金で買えた。

第４節　産業・交通の発達と町人文化

３４　綱吉の文治政治と元禄文化

[**綱吉の文治政治**]p124　※近年、綱吉の政治の再評価が進み、新井白石の改革はデフレを招いたとされる。
☆平和の確立⇒武力による政治(武断政治)から文化・学問による支配(＿＿＿＿＿＿)へ
＊学問の発展･･5 代将軍綱吉が学問を奨励→(　　)が学問の中心。特に朱子学。
・(　　)を祭る湯島聖堂の建設。寺院神社の修復や造営奨励。社会保障政策も。
・(＿＿＿＿＿＿＿＿)で(　　)などを保護し庶民を苦しめたが、命を大切にする道徳を広めた。
☆新井白石･･6,7 代将軍を補佐し,貨幣の質の回復,長崎貿易の制限など緊縮政策で財政再建図った。

[**江戸初期の文化**]p124

☆桃山文化を受けつぐ華やかな文化・・俵屋宗達「　　」,華麗な装飾の建築(　　),
書院に草庵。庭園を配した落ち着いた数寄屋造の(　　)など。

[**元禄文化**]p124

☆17 世紀後半の経済活動の発展＝大坂・京都・江戸の商人が中心。大富豪も生まれる。
⇒余裕をもつ町人の気風に合った明るく豪華な町人文化。年号から(　　)文化という。
＊小説(浮世草子)・・大坂の町人(　　※)が町人の生活と心意気を生き生きとえがく。=「日本永代蔵」,「好色一代男」「好色五人女」など。※矢数俳諧で日本記録・・一昼夜に 23500 句を詠んだ(天才!)。
＊戯曲(**人形浄瑠璃**や歌舞伎の脚本)・・(　　)が、社会の仕組みの中で愛しあう男女が死に追いやられる義理と人情の悲劇などを書き人々を感動させた=「曾根崎心中」,「心中天網島」他
＊(　　=俳句)・・連歌から生まれた五七五の短詩。おもしろおかしいだけのもの※↓から
(　　)が、自然と人生を見つめる芸術に大成させた。※満月に柄をつけたならよきうちわ
代表作『　　』・・奥羽・北陸の歌枕・旧跡を訪ねた旅の俳諧紀行
夏草や兵どもが夢の跡,　閑かさや岩にしみ入る蝉の声,　荒海や佐渡に横たふ天の河・・・
＊演劇 @歌舞伎・・上方の坂田藤十郎、江戸の市川団十郎などの名優が出て大成される。
※幕府の風俗統制で女郎歌舞伎→若衆(美青年)歌舞伎→野郎歌舞伎(女性役は男性が女形として演ずる)
＊絵画 @装飾画・・尾形光琳の「　　」「燕子花図屏」など・・大和絵風の華やかさ
@菱川師宣が町人の華やかな風俗を描く→版画として絵双紙屋で販売→やがて(　　)へ。

[**学問の発達**]p125

＊儒学のうち朱子学を幕府が保護・奨励・・・(　　)とその子孫が重用される。
＊「知行合一」(知識と行動の一致)を唱え実践を重んじる(　　)・・中江藤樹など。後世に大きな影響。
＊直接孔子の教えを研究する「古学」から政治を重視した(　　)。
＊歴史研究・水戸藩主(　　・・黄門)が『　　』編纂開始(完成は 1906 年)。
・新井白石『古史通(こしつう)』※,『読史余論(とくしよろん)』など
※合理主義的立場に立って神を人と捉え,古事記・日本書紀等を史料として神話を解釈した。
＊宮崎安貞『　　』1697 年→農業技術の発展・普及に大きな役割を果たす。
＊(　　)・・筆算による代数の計算法を発明するなど和算(日本式数学)発展の元となる。

３５　新田の開発と産業・交通の発達

[**三都の繁栄**]p126　☆**三都**・・・江戸・大坂※(大阪)・京都　※江戸時代は大坂(おおざか)と表記

(1)「将軍様のおひざもと」=(　　)・・政治の中心地。諸藩の武家屋敷に全国から武士と奉公人が集まり、町人を併せて人口(　　)万人をこす(18 世紀ころ人口世界一)最大の消費都市。
※武家地 70%,寺社地 15%、残りの 15%の町人地に 50 万人が密集し，しばしば大火,伝染病が発生。

(2)「　　」=(　　)・・全国の商業・金融の中心地。諸藩の(　　)が置かれ、全国から年貢米や特産物が集まり商人たちが取引する町。(18c 初め 38 万人)

(3)首都であり伝統工業都市でもある「　　」　(18c 初め人口 35 万人)
(　　)などの高級絹織物、友禅染、清水焼、漆器，蒔絵など各種工芸品の製造。

[**農業の発達**]p126,127

☆平和の訪れ→農民の生産・開墾の強い意欲・・荒れ地を開墾して生活の向上めざす⇒生産の急拡大

幕府や藩による開墾＝(　　)開発←用水路の建設,海や沼地の干拓など→耕地が(　　)倍に

☆農業技術の発展，農書による普及→土地の生産力が高まり、作物の種類もふえる

＊農具の発明・改良　①(　　)=土地を深くたがやせる３本(４本)鍬(くわ)

②(　　)=脱穀の手間をはぶく

③(　　)=穀物の実とから･ごみを選別する　　など

＊肥料の発展・・干したいわし(干鰯(ほしか))や油かす(なたね油をしぼったかす)　など。

＊手工業の発展→原料の(　　)作物(売るための作物)の栽培が広まる・・麻、綿、あぶらな、

あい(藍・・青の染料,徳島県など)、紅花(　　県が中心、赤色の染料のもと)　など

☆農業生産の発展による一定のゆとり→年中行事を中心に豊かな農村文化が育つ。

※検地で定められた年貢率が据えおかれ,生産向上によって実質３割程度になった地域も多い。

しかし，商品作物栽培や酒造など手広く経営する豪農がある一方,彼らの小作となる小農も多かった。最近の「豊かな百姓･町人」史観では，禁令をおして都市に大量に流入する農民,度重なる飢饉,窮民一揆の多発は説明ができない。

[**産業と交通の発達**]p127

☆林業の発達←各地の(　　)建設，大火からの復旧(江戸など)用資材。秋田杉・木曽檜他

☆漁業の発達　＊網の使用がひろまり、漁獲がふえ漁業が大発展。(　　)のいわし(鰯)漁。

土佐の(　　)漁,紀伊の(　　)漁。(　　)のにしん・こんぶ漁　など。

☆製塩業の発展・・・瀬戸内(赤穂など)で入り浜式塩田が発達し，塩を大量生産。

☆鉱山開発・・＊金山(　　など)、銀山(　　、生野など)、銅山(　　、別子など)

→貨幣鋳造へ＊特に銅貨(　　)大量発行。長崎貿易の支払いに銅(金銀の流出を防ぐ)。

☆手工業の発達・・商品作物を原料に各地に特産物ができる→製鉄･酒造･漆器･陶磁器･鋳物など

☆交通の発達・・幕府が参勤交代･旅客増のため(　　)を整備し,管理のため(　　)置く。

＊一里塚，宿駅，本陣･脇本陣,旅籠,問屋場など。手紙や小荷物を運ぶ(　　)・・東海道は６日

☆海運業の発達・・・東北･北陸から上方へ(　　)航路(北前船が活躍)。江戸へ(　　)航路。

大坂・江戸間の物資輸送・・菱垣廻船やより小型で高速の(　　)※天保期に江戸大阪最短３日。

※上方から江戸へ下ってくるもの=高級品。江戸周辺の「下らない」もの=低級品。（「下らない」の語源)

歴史ズームイン　江戸時代探検！　p128,129・・近年一部ではやりの「江戸時代美化論」が目立つ

☆江戸時代の旅・・＊参勤交代は街道の整備,宿場町の発展に寄与した。しかし,膨大な旅費･江戸暮らしの経費は多くの藩を苦しめ領民の負担となった。助郷にかり出された農民の負担も大きい。

＊「お伊勢参り」に自費で行けたのは豊かな百姓･町人。貧民は「伊勢講」のくじに当たった時などだけ

☆俳人・松尾芭蕉・・芭蕉一行が全国を旅して俳諧愛好者に熱狂して迎えられたのは事実。しかし，「江戸時代の旅が安全だった」という結論は早計。たかり･ぼったくりの「雲助」なども多発。

☆武士道・・中世武士の「御恩と奉公」はｷﾞﾌﾞｱﾝﾄﾞﾃｲｸで家臣の主体性もあったが，近世武士は一方的に主君(主家)に忠誠をつくす存在とされた。浅野内匠頭が江戸城中で吉良上野介を切りつけた事件への幕府裁定(内匠頭即日切腹,浅野家断絶)には当時全く疑義はなかった。翌年末の「討ち入り」は,46 人もの集団

で屋敷に乱入し一人の老人を殺害した大事件で，幕府内には厳禁の「徒党」だから切腹ではなく処刑せよという異論はあったが容認論など全くなかった。当時の庶民が喝采したのは約 60 年後の脚色された「忠臣蔵」であって事件そのものではない。ある面では愚かな主君の行為のために犠牲となった家臣たちとも言える。現代の「武士道論」は要注意だ。

☆江戸のエコロジー・・日常生活でゴミをへらす気持ちは現代人にもあるが，貧しく物が貴重である故に徹底して行われた。福沢諭吉はアメリカで缶詰の缶が捨てられているのに驚いている。

＊江戸時代にも木材の乱伐による山の荒廃がおこり，幕府や藩によって厳しい管理で森林を守る努力が行われた。尾張藩による木曽五木(ﾋﾉｷ･ｱｽﾅﾛ･ｺｳﾔﾏｷ･ﾈｽﾞｺ･ｻﾜﾗ)の伐採禁止などが有名。

＜資料紹介＞骨が語るお江戸事情　国立科学博物館　１万人分保管

栄養失調・伝染病・・・「まるでスラム」　(朝日新聞 2011.12.17)（渡辺延志）

東京都内の開発で掘り出された人骨を，国立科学博物館(科博)が大量に保管している。ざっと 1 万人分。江戸時代の骨がほとんどで，今よりも小柄で栄養状態も悪かった。時代劇のイメージとは違う江戸の人々の厳しい暮らしぶりが，浮かび上がってくる。

「この頭の骨は左の側面に鋭い刃物の傷が 2 本。日本刀で斬り殺されたのでしょうね。」「青黒いシミがついたこちらの骨は，梅毒の痕跡ですよ」 新宿区百人町の科博新宿分館。人骨がびっしり並ぶ人類研究部の収蔵庫で，人類史研究グループ長の篠田謙一さんが説明する。研究用に科博は 20 年ほど前から，開発業者などが持ち込む江戸時代の人骨を受け入れてきた。分館は来春までに茨城県つくば市に移転する予定で，荷造りを前に人骨の分類やクリーニングが続く。骨は江戸の人々の暮らしぶりを伝えている。栄養状態が悪く，特に鉄分が不足していた。現代なら死亡率が低い若い世代の骨が多いのが特徴で，伝染病がたびたび流行し，人が簡単に死んだことを物語るという。成人の平均身長は男性が 150 ｾﾝﾁ台半ばで，女性はそれよりも 10 ｾﾝﾁほど低い。日本のすべての時代の中で最も小柄だった。栄養状態が悪いうえに狭い長屋などに密集して生活したストレスの影響と考えられるという。「生活は厳しかった。スラムといった方がいい江戸の影の部分が骨には記録されています」と篠田さん。女性には鉛中毒が目立つ。化粧の白粉が鉛を含んでいたからだという。人骨を収蔵する大学や博物館はほかにもあるが，同分館には江戸時代の骨が多い。開発が続く都内では人骨は日常的に出土。墓地の改葬では身寄りのない人骨がまとまって出る。江戸時代の人骨は珍しくないということもあり，ゴミとして処理されることも多いという。現在 8702 人分，破片や未整理を含めると 1 万人を超える。縄文時代 110 人，弥生時代 4 人，古墳時代 522 人と比べても際立つ。

３６　藩校と寺子屋

[武士の学校・藩校]p130

☆諸藩の人材育成・・(_____)を設けて学問(儒学が中心，稀に蘭学も)と武芸を学ばせた

＊武芸重視の教育・・剣術，弓術，槍術，馬術，柔術など。(算術などは下等な商人が使うとして軽視)

＊会津の日新館、米沢の興譲館、水戸の(　　)など全国に 255 校・・高校名で残る場合も。

[庶民の学びの場・寺子屋]p130,131　　※寺子屋のようす(一掃百態　渡辺崋山作)・・今も昔も

☆(_____)・・江戸や京都などから始まった庶民教育の場。町人や農民の子も数年間通う。

⇒(　　・　　・　　),地理･人名･手紙文など学ぶ⇒全国に約 1 万。世界最高の識字率へ。

「往来物」・・手紙のやり取りの形で学ぶ実用教科書→7000 種類も。　⇒明治の学校教育の基礎。

第５節　幕府政治の改革　３７　社会の変化と享保の改革

[商業の発達と貨幣経済の広がり]p132

☆都市の大商人(問屋や仲買など)‥＊同業者組合(＿＿＿＿＿＿)を作り税を払って営業を独占。

＊(　　)‥金銀の交換から金貸しに成長,「大名貸し」まで行う。

「越後屋」で成功した江戸の「　　」、酒造から始め大阪一の商人となった「　　」

＊幕府発行の金貨･銀貨･銅貨に加え，多くの藩が自藩周辺で流通する「　　」を発行。

※江戸時代のお金　(上の写真)　1 両=4 分=4000 文。寛永通宝(1 文)が庶民の基本通貨

☆農村も自給自足から貨幣経済へ‥農具や肥料を購入して商品作物を栽培→貧富の差が広がる。

①多くの土地を手に入れて地主となる農民。　②土地を失った農民⇒・地主から土地を借りて耕し小作料を納める小作人となる，都市に出稼ぎに行く(そのまま都市に住み着く者も多い)

☆農村で新しい生産がおこる (江戸時代後期から)‥手工業(綿糸･綿織物，生糸･絹織物など)が盛んになる

＊商品作物栽培(わた、養蚕など)の広がり→問屋が農民に原料や道具を貸し付けて生産させ、製品を買い取る仕組み＝①(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿) が発展。

⇒地主である豊かな商人が資本(資金)を出して新しい生産を開始

＊作業場(工場)を建て貧しい農家の人々を労働者として雇い、工場の中で製品を分業によって仕上げる

＝②(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿=ﾏﾆｭﾌｧｸﾁｭｱ)=manufacture が発展

＊大坂周辺や尾張(愛知県)、瀬戸内で綿織物業が発達

桐生(群馬県)や足利(栃木県)、丹後(京都府)で西陣織に匹敵する絹織物を生産。

☆米の増産による米価の低落→年貢米を売って現金収入を得る幕府や藩の財政が悪化。

[享保の改革]p133　※享保(きょうほう)　※1 江戸にいる期間を半年とする。

☆(＿＿＿＿＿＿)による幕府の改革 1716~1745 年←紀伊徳川家から 8 代将軍となる。

＊(　　)で支出をへらし、参勤交代の緩和※1 とひき替えに(　　)で幕府に米を献上させる(1 万石につき百石→例外的な国税※2)。　※2‥封建社会は本来地方税だけ

＊新田開発をすすめ、年貢率を引き上げて一定(定免制じょうめんせい)にして年貢増加をはかる。

青木昆陽を登用して飢饉対策にサツマイモの栽培を奨励→ サトウキビ・朝鮮にんじんも。

＊有能な人材を登用し、改革に当たらせる。江戸町奉行大岡忠相(ただすけ)など。

※足高(たしだか)の制‥役職の石高の不足額を在任中だけ支給して下級の有能な人材を登用。

(町奉行の役高は 3000 石→1000 石取りだが有能な人に 2000 石を足してやり採用するなど)

＊(＿＿＿＿＿＿)で庶民の声を聞き、(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)で裁判の公正を図る

＊漢訳洋書の輸入を許可→産業開発に役立つ新知識の導入をはかる。

→収入が増加し幕府財政は一時的に立ちなおる。‥後に幕政改革の成功例とされる。しかし

⇒重い年貢に反発する百姓一揆、米価の値上がりで苦しむ町人の打ちこわしがおこる。

☆藩政改革 ＊米沢藩(　　)による改革‥質素倹約に努め,新田開発･養蚕･製糸業などで再建。

参照 人物クローズアップ：上杉鷹山

＊熊本藩‥(はぜ=ロウの原料)などの特産物の専売制で藩財政を再建(借金踏み倒しも有名)。

「前々から不埒なる御家柄にて」と、豪商越後屋の三井高房がその著「町人考見録」で痛罵

＊肥前藩(佐賀県)の改革‥質素倹約、借金整理、農村立て直し、蘭学による近代技術採用。

３８　田沼の政治と寛政の改革

[**田沼時代**] p134　　※「わいろ」政治家説は政敵だった後任の松平定信らの言によるもので確実な証拠はない。

☆**田沼意次**・・商品生産や流通による富から幕府収入をふやして財政を再建しようとする 1767~1786 年

＊商工業者の同業者組合(　　)に独占的な営業権を認めて税を取る。

＊長崎貿易で銅や海産物(干したﾅﾏｺ･ｱﾜﾋﾞ・貝柱)の輸出をふやし，(　　)流出から輸入に転換。

＊新田開発(　　の干拓など)をすすめ、蝦夷地の開発もめざす。

⇒経済が活発になり、学問･芸術も発展する。一方で大商人優先の政治への不満も※。

＊浅間山大噴火 1783 年→(　　)による百姓一揆･打ちこわし増大などで失脚。

[**寛政の改革**]p134,135

(＿＿＿＿＿＿)による改革(1787~93 年)・・吉宗の政治を理想とし農村の立て直しと質素･倹約を奨励。

＊旗本御家人の借金を帳消しにし(棄捐令きえんれい※),派手な服装,贅沢,幕府への批判を厳禁。

※商人たちの不満を招き，金貸しから相手にされず旗本御家人もかえって困る。

＊都市の出かせぎ人を農村に帰し、ききんにそなえて倉に米･貨幣をたくわえさせる。

＊幕府の学校(　　)では(　　)以外の学問を禁止(寛政異学の禁)。

→出版物の取り締まりなど。厳しすぎる改革に反発が強まり,将軍とも対立して退陣。

「白河の清きに魚のすみかねて　もとの濁りの田沼こひしき」
「世の中に蚊ほどうるさきものはなしブンブ(文武)というて夜も寝られず」
改革への反発を示す狂歌

※商工業・商品経済の発展という時代に米生産の増大と緊縮経済をめざす改革⇒時代逆行

☆11 代将軍徳川家斉の政治(大御所時代)・・品位を落とした文政小判の大量発行などでしのぐ※

→物価が上昇したが商人の経済活動は活発化し，町人文化が発展。　※結果としてインフレ政策

歴史ビュー　百姓一揆の実態 p135　※平和的な訴願であっても代表者は死罪などが普通。

☆(＿＿＿＿＿＿)＝･江戸時代の農民一揆・・(　　),村役人の交代などを要求→

役所に出向く(　　),他村に移動(逃散),幕府に直接訴える(直訴･越訴),城下に押し寄せるなど。

※武器をもって人を傷つけること、放火、略奪は厳しく禁止。(村に大量にある鉄砲も使われない)

＊代表越訴(ｵｯｿ)・・村役人が村民を代表して訴え出る・・佐倉惣五郎(千葉県佐倉)など→「義民」

＊惣百姓一揆・・村人がこぞって城下や陣屋に押しかける・・1686 年嘉助騒動,1786 年福山藩領一揆など。

＊(　　)・・一揆の中心人物がわからないように署名した連判状

☆(＿＿＿＿＿＿＿)・・江戸･大坂などの貧民が米を買い占める大商人などをおそう暴動

※1787 年には全国で起こり、江戸は５日間無政府状態となる。

※「百姓一揆総合年表」青木虹二(資料集などで確認を)

江戸時代に３つのピーク　①天明の飢饉の頃、②天保の飢饉のころ、③幕末(支配力が弱まる)

※このコラムは「百姓の言い分が正しいと認められると要求が通り」と書くが，要求が通った稀な場合でも、訴えそのものが「大罪」とされ，代表者の処罰がまぬがれなかった現実を伝えていない。

３９　欧米諸国の接近

[**ロシアの接近**] p136

☆(　　)が根室に来航(1792)・・漂流民(　　ら)を届け,幕府に通商を求める。

＊レザノフが長崎に来航(1804)→1年以上も待たせ幕府が通商拒否→部下が樺太･ｴﾄﾛﾌで攻撃。

☆幕府の対策･･＊松前・蝦夷地を幕府の直轄地とし海防強化に努める。

＊北方の探検を進める(最上徳内，近藤重蔵，間宮林蔵ら)→間宮,(　　)が島であると確認。

[**イギリス・アメリカの接近**]p136,137

☆イギリス船(　　)号事件(1808)･･長崎港に侵入し,オランダ商館員を連れ去る。

＊北太平洋のアメリカ捕鯨船団･･日本で水や燃料を補給したいという要望高まる。

☆1825年(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)→鎖国を続け、台場を築いて海岸の防備を固める

＊アメリカ船モリソン号事件(　　)年･･漂流民を届けようとしたが，日本側が砲撃。

☆蘭学者の渡辺崋山、高野長英ら→世界情勢を研究し、外国船への態度を厳しく批判した。

「漂流民を送り届けてくれた外国船をうち払うとは全く乱暴で礼儀知らずである」

⇒幕府による厳しい弾圧＝(　　)1839年･･やがて二人は自殺に追い込まれる。

※(　　)･･1841年,難破してｱﾒﾘｶ船に救助され,1851年帰国して欧米情報を伝えた。

⇒アヘン戦争で清国がイギリスに敗北→幕府は方針を変え，外国船は薪や水を与えて退去させるとする。

４０　天保の改革と諸藩の改革

[**大塩平八郎の乱**]p138　　※欄外の「大塩平八郎の檄文」を読もう

☆1830年代の大ききん(天保の大飢饉)→米の買い占めもあり米価値上がり(1年間で２倍近くに)

→餓死者が多く発生し、各地に百姓一揆と打ちこわしが発生。

☆(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)･･大坂町奉行所の元役人で陽明学者(「知行合一」を主張する立場)

⇒幕府の政治を批判して反乱を起こす(＿＿＿＿＿年)→失敗したが幕府に大きな衝撃

※門弟や同志30名ほどで決起、300人ほどになるが奉行所の軍に１日で鎮圧される。

⇒全国に知られて民衆に支持され、各地に「大塩門弟」「大塩味方」などと名乗る一揆がおこる。

[**天保の改革**]p138,139

☆幕府政治の根本的な危機･･外に外国船，内に大塩の内乱，各地に一揆

⇒老中(＿＿＿＿＿＿＿＿＿)による改革(＿＿＿＿＿＿＿＿＿)･･(＿＿＿＿＿～　　年)

①倹約令･･農民や町人に厳しい倹約を命ずる　　②人返し令(出かせぎ農民を村に帰す)

③(　　)の解散･･物価を上げる原因だとして厳しく禁止(1841年)

④上知令(じょうちれい、あげちれい)･･江戸大坂周辺を幕府の天領にしようとする⇒強烈な反対にあい取り下げ

他に、印旛沼の干拓と銚子から江戸湾への水路建設など

⇒水野忠邦の失脚(老中罷免1843閏9/13)←市民数千人が老中の役宅に押しかけて投石※

※「古石やかわらとびこむ水の家」･･･その時詠まれた川柳(狂句)

[**諸藩の改革**]p139

☆薩摩藩・長州藩の改革　＊能力のある中・下級武士を登用して改革にあたらせる。

＊借金棚上げ，特産物の増産などで財力を蓄える。

⇒藩政改革に成功し財力を蓄えた(　　・　　・　　・　　)など西南雄藩⇒幕府に対抗

人物クローズアップ　農民自身による農村復興を指導した二宮尊徳　p139

☆二宮尊徳を大々的に載せるのは育鵬社と自由社だけ。戦前の国定教科書で明治天皇に次いで掲載数が多

いのが二宮尊徳だ。軍事費膨張で国が国民への福祉費用を減らす中，勤勉と倹約の自助努力で身を立て，自家と村々の財政を立て直した彼の姿勢は模範的な国民像だったからだ。今また，増税と社会保障減額の新自由主義政策を進める政府の下，自助努力・自己責任論にふさわしい人物として取り上げているようだが，後年の尊徳は領主へも節制を厳しく要求し忌避された。

４１　江戸の町人文化

[**江戸の町人文化**]p140,141　　※京都大坂方面

☆文化･文政年間･･文化の中心が上方から江戸へ移り，発展した町人の文化＝(＿＿＿＿＿＿＿)

☆文学･･＊幕府政治や世相を皮肉ったり、庶民の生活を表現する（＿＿＿＿・＿＿＿＿)など。

＊こっけいな小説(滑稽本)･･十返舎一九「　　」,式亭三馬「　　」

＊娯楽性の強い長編歴史小説・・滝沢馬琴の「　　」

＊俳諧(俳句)･･絵のように風景を表現・・(　　)

「さみだれや大河を前に家二軒」、「菜の花や月は東に日は西に」

農民の素朴な感情を表現・・（　　）

「やせがえる負けるな一茶ここにあり」、「めでたさも中くらいなりおらが春」

＊(　　)･･新潟県の農民出身の僧。子どもとよく遊び，素朴な和歌や書を残す。

※木版で多くの書物が出版されて流通した。←経済的なゆとりと識字率の高さ

＊観光をかねた寺社参詣の流行・・（　　）、西国巡礼など

＊歌舞伎見物，人形浄瑠璃，寄席での落語などが大都市の豊かな町人の娯楽になる。

[**浮世絵の黄金時代**]p141　※19世紀後半に西洋に紹介され大きな影響を与えたp142,143

☆絵画・・浮世絵が多色刷りの木版画(　　)に発展･･(　　)が始める。

＊美人画(　　)、役者絵など(　　)※

※謎の絵師　1794～95年10か月に140枚ほど役者絵と相撲絵を残す

＊風景画(1＿＿＿＿＿＿＿＿、2＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)

1(富岳三十六景など)、 2(　　など)

※他に，池大雅，浦上玉堂らの文人画，**伊藤若冲**の超細密で独特な「動植綵絵」など。

歴史ズームイン　浮世絵の影響ージャポニスム p142,143

＊浮世絵の発達と普及･･木版で大量に出版され，庶民でも購入できた。

＊19c後半のﾖｰﾛｯﾊﾟ･･資本主義の発展と民主主義→宗教画･神話画を超える絵画めざす動き万国博に日本の浮世絵が出品される→明るい色彩(塗り重ねない版画の技法)と大胆な構図(北斎など)　⇒

(　　)の画家たちなどに大きな影響＝「　　」(日本趣味)

自然をありのままに描く，光に満ちた画面，瞬間の表情を写し取る方法など。

４２　新しい学問と思想の動き

[**新しい学問・国学と蘭学**]p144,145

☆町人や農民の生活の即した学問･･京都の石田梅岩の教え。正直･勤勉･倹約などを説く=(　　)

☆(_____)・・日本の古典の研究を進め、儒教・仏教渡来以前の日本古来の精神にもどれと主張。

(_____)が『　　』を著し大成。※全44巻,1764～98年に完成,1786～1822年に刊行

＊人間本来の「真心による生き方」を勧め,文学は「もののあはれ」を知る力を養うものとする。

後に,平田篤胤あったねらによって万世一系の皇統を重視する復古神道が唱えられ, 国学と結びついて幕府を批判する(　　)運動の基礎となっていった。

☆**蘭学**・・(　　)を通じて西洋の学問や文化を学ぼうとする。

※その他のヨーロッパ諸国の学問を含めて「洋学」とよばれるようになる。

＊(_____) ら・・オランダの医書(ﾀｰﾍﾙｱﾅﾄﾐｱ=元はﾄﾞｲﾂの本)の正確さに驚き、苦心してその書物を翻訳し『　　』として出版。(苦労は『蘭学事始』に詳しい) ↓「全国を踏破した」伊能忠敬

＊(_____)・・西洋の測量術を取り入れ、全国沿岸の地図「大日本沿海輿地全図」を完成させる。

＊平賀源内・・摩擦起電器(　　)の復元から鉱山開発，戯作，など万能の天才。

＊シーボルト・・ドイツ人の医師で、長崎の郊外に鳴滝塾を開き、多くの日本人に 医学などを教えた。

→シーボルト事件(1828年)・・帰国の際、伊能忠敬の地図を持っていたことがわかり、国外永久追放の処分となった事件。地図を贈った高橋景保も処罰された(隠密だった間宮林蔵が密告したとされる)。

＊西洋の科学知識が伝わる・・コペルニクス(　　)やニュートン(　　)など。

⇒実際に調べて考える学問＝近代的合理主義がめばえ，不合理な封建社会への批判につながる

＊(　　)・・青森県八戸の医者,武士が農民を支配する社会を批判。(『統道真伝』他)全ての者が労働(鍬で直に地面を耕し,築いた田畑で額に汗して働く「直耕」)に携わるべきであるという徹底した平等思想。

☆私塾・・町人を含め意欲ある若者を教育。緒方洪庵が開いた大坂の適塾(てきじゅく※)など。

※門下生・・(　　)や橋本左内，大村益次郎など。

[**海防と尊皇思想**]p145

☆近海に次々とやってくる外国船にどう対処すべきか議論が起こる。

＊(　　)が『海国兵談』で日本を海国として海軍創設と海岸防備の必要を説く・・「江戸の日本橋より唐・阿蘭陀迄（オランダまで）、境なしの水路なり」→みだりに国防を論じたとして書物・版木を没収されて蟄居(自宅軟禁)の刑。「親も無し妻無し子無し板木無し金も無ければ死にたくも無し」と詠んだ。　　。

＊水戸学・・徳川光圀が始めた「大日本史」編纂を元に育った。天皇からの委任によって幕府が存立しているという観念的な大義名分論などから，会沢正志斎・藤田東湖などの尊王攘夷・天皇親政論も現れた。あわせて，頼山陽『　　』も広く読まれ,幕末の倒幕論にも影響した。

歴史ズームイン　江戸の技術 p146

☆エレキテル・・平賀源内の復元修理はすばらしいが，彼自身はこの原理を理解していなかった。従って「わが国の機械学・電気学の始まり」とはとうてい言えない。

☆田中久重・・「からくり儀右衛門」の技術も素晴らしいが，いずれも，設計図に落とし込んで他の誰もが複製できるようにするという近代科学としての一般化とは無縁だった。

※ここでは江戸時代技術の致命的な弱点にも触れる必要がある。幕府による「鎖国=貿易・海外交流の禁圧」政策は，西洋の科学技術の導入を抑圧し，動力革命や近代的製鉄法も入らなかった。さらには，幕府は国内の新技術・新製品の開発まで抑圧した。1721年に将軍吉宗は,「呉服類諸道具書物は申すに及ばず，諸商売物菓子類にても，新規に功出し候事爾今以降固く停止たり。」というお触れを出している。結果はひた

すら伝統を守ろうとする社会であり，蘭学の知識も広く社会に伝えられることはなかった。幕末になって,大砲鋳造のため幕府や各藩が反射炉を建設するが，伝来のたたら製鉄との200年の技術差を縮めて確実に成功したのは佐賀藩くらいだった。おなじみの八幡製鉄所も1901年の開業から1年足らずで一旦閉鎖に追い込まれ，数年間は安定した操業に達しなかった。明治の人たちは200年の遅れとも闘ったと言うべきだろう。

歴史ズームイン　世界文化遺産・富士山と日本人　p147

＊2013年､「富士山ー信仰の対象と芸術の源泉」が世界文化遺産に登録された。(自然遺産にはなれなかった)

＊縄文時代の千居遺跡の配石遺構が富士山への信仰につながるかは学問的に未確定だが、噴火する山を恐れ敬う原始的な信仰は世界各地にあり､富士山に対しても古くからそのような信仰があったと思われる。

＊山の神の娘とされる木花開耶姫を祭神とする浅間神社。富士山に登って参拝する(　　)など。

＊古来、富士を詠む和歌、富士山を描く絵画などさまざまな芸術の対象となってきた。

※なでしこ日本史～その３　は省略。中学生が学ぶ歴史としてはさらに無意味と思われる。

歴史絵巻～近代①～　p152,153　※前回の指摘を受け入れて5つの間違いはカットした。

＊韓国併合(1910年)の前(上)に朝鮮総督府ビル･･総督府ビルの竣工は1926年なのでこれは変。

虫の目で見る近代①　は文明開化のページで学習しよう

第４章　近代の日本と世界

※扉の絵 黒船「サスケハナ」を見た人々の思い･･「勝ち目がないと思ったんじゃないかな」(中央の少年)･･･大きな間違い→1853 年時点で「勝ち目がない」と判断できたのは幕府側の勝海舟や小栗上野介など外国事情を知るごく少数の要職者だけ。攘夷派の武士だけでなく多くの民衆も根拠もなしに攘夷が可能と思っていた。精神主義が支配していた時代。

第１節　欧米諸国の進出と幕末の危機

４３　欧米の市民革命・産業革命

[**欧米諸国の市民革命**]p156

☆17~19世紀のヨーロッパ･アメリカの変化･･近代市民社会のおこり⇒自由で豊かな生活や考えが広まる。

＊オランダにかわり、イギリス・フランスが産業を発展させ海外に進出。

＊市民生活と文化･･芝居,新聞,雑誌,喫茶店(カフェ),博物館,百科事典→科学と自由で批判的な思想が育つ

☆イギリスの革命・・エリザベス女王(１世)以来の国王による専制政治をうちたおす

⇒①**清教徒(ﾋﾟｭｰﾘﾀﾝ)革命**(1642～1649年)･･クロムウェルが中心。国王を処刑して独裁政治。

②(　　)**革命(1688年)**･･議会が国王を追放しオランダから迎えた新国王が国民の自由と権利・議会の権限を宣言。→翌年(　　)を採択⇒(　　※)が確立※君主の下での議会政治

※**ロック**の思想･･･ジョン･ロック=イギリス市民革命の理論的指導者。人はすべて平等であり，生命･自由･幸福追求などの権利を持っている。国民の権利を守らない政府は国民が作りかえることができる→国民の**革命権**を認める。

☆アメリカの独立･･英国によるアメリカ(13の植民地)への圧迫(砂糖･印紙･茶条例などの重税他)

＊独立支持の思想･･政府は国民の間の契約によって成り立ち、国民は圧政に抵抗する権利を持つ。

①フランスの啓蒙思想家(　　)の『社会契約論』→国民主権論

②ロックの革命権の考え　③モンテスキューの『法の精神』=三権分立論(立法・　・　)

＊⇒独立戦争(1775～1783年)，アメリカ独立宣言(　　年７月４日)→共和制の連邦国家

※独立戦争の総司令官＝(　　)→初代大統領、首都の名前にも。

＊合衆国憲法(1788)の原則・・自由平等の権利・国民主権・革命権

＊星条旗(独立13州を示す星と赤白13本のｽﾄﾗｲﾌﾟ→星数は現在の州50へ)=「アメリカ合州国(正訳)」

☆**フランス革命**・・国王による専制政治(　　)・・17世紀後半国王ﾙｲ14世が中央集権と富国強兵に成功し,イギリスに並ぶ強国を実現。「朕ちんは国家なり」。(　　)宮殿

＊強力な役人組織(官僚制)、国王直属の軍隊(常備軍)を整備。⇒少数の僧(第１身分)や貴族(第２身分)が特権を独占し大多数の平民(第３身分)を支配＝旧体制(アンシャンレジーム)

＊革命へ・・国王の専制政治に反発,地主や商工業者を中心に農民や都市の民衆も加わる大革命

@フランス革命の経過　　※第一部会(僧),第二部会(貴族),第三部会(平民)。二つ以上の部会の賛成で決定。

＊国王ルイ16世が新たな税をかけるため身分制の議会(三部会)※を開く(　　年5月)

＊市民代表，一部の僧・貴族たちと共に国民議会をつくり，憲法制定を要求(6月)。

＊国王，軍隊を派遣して国民議会をおさえようとする。

→パリの民衆が(　　)牢獄を襲撃し，革命開始＝7/14(革命記念日=パリ祭)

→国内各地で農民の暴動，市民の反乱などがおこる。

＊国民議会，人権の尊重と国民主権の考えを宣言＝(　　)8月

※第１条　人は生まれながらにして、(　　)で(　　)な権利を持つ。以下略

第３条　(　　)のみなもとは、もともと国民の中にある。　以下略

第１１条　思想および言論の自由な発表は人間の最も尊い権利の一つである。以下略

第１７条　財産の所有権は、神聖で不可侵の権利である。←資本家(商工業者)中心の革命のため

＊1791年憲法の制定→国王のもとでの議会政治へ

＊外国軍がせめこむ←革命が自国に及ぶのをおそれたプロイセン，オーストリアが介入。

→国民の義勇軍などの力で撃退。※マルセイユからきた義勇兵の歌=ラ・マルセイエーズ　→国歌

→国王一家の国外逃亡失敗1791年6月→国民の信頼を失い処刑へ(1793年)。

＊革命の過激化・・ﾛﾍﾞｽﾋﾟｴｰﾙらのジャコバン派(山岳派)が反対派をおさえて独裁政治　→94年敗北

＊再び豊かな市民中心の政治→貧しい民衆の反発，貴族などの反革命の動き，外国の圧力が続く

→政治不安→豊かな市民や土地を得た農民の期待＝強力な政治で社会を安定させてほしい

＊軍人の(※　　)が国民的人気を利用して政権をにぎる(1799年～)。

→農民を保護し，産業を発展させ，法律をととのえ，革命政治をヨーロッパ全土へ広げる。

※1769～1821年。コルシカ島生まれ。パリ兵学校で学び砲兵少尉となる。

1793年ﾄｩｰﾛﾝ港封鎖解除作戦に成功、その後イタリア遠征、エジプト遠征などに成功し国民的英雄に。

1799年政権を握り、国内改革を強力に推進してフランスを近代国家として整備。ナポレオン法典など。

1804年皇帝となる。さらにヨーロッパ各地に遠征してフランス革命の精神「　・　・　」を広げる。　1812年(　　)遠征に失敗。その後各国がフランスに攻め込み、1814年退位して一時エルバ島に流される。1815年、エルバ島を脱出してパリに入り再度権力を握る。

ワーテルロー(ｳｫｰﾀｰﾙｰ)ｰの戦いに敗れ、大西洋の孤島セントヘレナ島に流されて1821年死亡。

※権力＝人々を支配し政治をする力　　歴史学習ノートNo５２

※**市民革命**・・資本家(商工業者)などの**市民**(ブルジョワ・・フランス語)たちが中心となって，国王や諸侯(貴族)たちから権力※をうばい，自分たちの利益や要求にあった新しい国家・社会のしくみをつくりあげたこと。(革命＝支配されていた階級が支配者を倒して権力をにぎること)

イギリス革命，アメリカ独立，フランス革命が典型。日本の明治維新はどうだろうか？

☆市民革命以降の社会を(　　)という。※多くの国では古い勢力が残り市民革命は不徹底。

[**産業革命と資本主義の社会**]p157

☆イギリス産業の発展・・奴隷貿易※によるばく大な利益で資本をふやす。

※アフリカ西岸に銃器・織物などを運び、交換した黒人奴隷を奴隷船で新大陸へ送り込み砂糖や綿花を持ち帰る。

＊綿工業の発展・・インドから綿花を輸入して綿織物を生産→質の良いインド製品と厳しい競争→

良質の綿糸・綿布を大量に作りたい！＝大量生産を可能にする機械の発明や改良を待ち望む

☆機械と動力の発明と改良　(資料集などで補い，具体的なイメージをつかみたい)

・1733年 ジョン・ケイ　　織機の「飛梭(とびひ)」を発明→能率が２倍になり、綿糸が不足。

(左右両端のバネの力で梭(ひ=横糸を巻く)を急速に往復させ、広幅ものの生産を可能とした)

・1764年 ハーグリーブズ　　紡績機械(ジェニー機)を発明→綿糸の大増産

・1769年(　　) 本格的な蒸気機関を発明(ニューコメンのものを改良)

・1769年 アークライト　　水力紡績機を発明→クロンプトンがさらに改良(1779～)

・1785年 カートライト　　蒸気機関による織機(力織機)を発明→綿織物の大増産

・1807年 フルトン(ｱﾒﾘｶ人)　蒸気船の実用化に成功

・1814年(　　) 蒸気機関車を改良⇒1825年、客・貨物 を初輸送

→19世紀のイギリスは「　　」となる。オランダを追い越し、フランスを圧倒。

☆**産業革命**とは・・(＿＿＿)世紀なかばすぎから(＿＿＿＿＿＿)で始まった産業の大変化

①機械と動力の発明と改良　　※機械と道具はどこがちがうのか？・・(　　)機関の有無

②工場制手工業から工場制(＿＿＿＿＿)工業へ

③汽車・汽船・鉄道による輸送力の急速な増大

⇒１９世紀には、フランス、ドイツ、アメリカにも広がる

☆・・産業革命によってできあがった新しい社会

・資本家がたくわえた資本(資金)を使って，工場を建て，原料を買い入れ、(　　)を雇って，利益(利潤)を目的に商品を大量生産する新しい経済のしくみ＝(＿＿＿＿＿＿＿＿)

☆社会の大きな変化

①資本主義の急速な発達⇒資本家が商人や地主たちよりも有力になり，社会の支配階級となる。

②工業都市の発達・・工場を中心に労働者や商人が集まる→都市人口が農村人口を上回る

③労働者の悲惨な生活　＊１日１８時間もの長時間労働、家族を養えない低賃金

＊女性や子どももひどい条件で働かされる

→貧富の差、労働災害、公衆衛生などの社会問題の発生。労働組合による待遇改善運動。

→資本主義を批判して理想の共同体をめざす(＿＿＿＿＿＿)の考えも広がる。※

※ロバート・オーエン・・19世紀イギリスの社会改革家，空想的社会主義者。紡績工場の経営者として，労働時間を短縮して賃金を上げ，工場内に労働者の子どもの幼稚園を作るなど，労働条件を改善することで生産性を上げて大成功する。

労働者に利益を渡すように周囲の経営者に呼びかけて危険視され，アメリカに渡って共産主義村を作るが失敗し，帰国してからは協同組合運動など様々な社会改革運動を行った。近年も業績が見直されている。

※マルクスとエンゲルス‥ドイツ人，科学的社会主義の創始者とされる。1848 年共同で『共産党宣言』を発表。マルクスは資本主義経済を研究して『資本論』を著し、労働者階級が資本家階級を倒す革命で社会主義社会の実現をめざす。

４４　欧米列強のアジア進出

[**インドの植民地化**]p158

☆産業革命と市民革命で近代化し勢力を強めた欧米諸国→富を求めてｱﾌﾘｶ･ｱｼﾞｱ諸国を植民地化。

☆イギリスのインド支配‥＊イギリス東インド会社軍がムガール帝国軍を破り支配を進め，ライバルの（　　）勢力も追放→イギリスの工業製品が流入してインド国内産業が壊滅。

※インド綿工業の破壊‥イギリス製品との競争に敗北(ダッカの人口 15 万人→3 万「職工たちの骨がインドの平原を白色に化している」(インド総督ﾍﾞﾃﾞｨﾝｸﾞの報告 1834 年)

☆(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)‥イギリスに雇われていたインド兵(ｾﾎﾟｲ)の反乱がインド全土の反乱へ。

（　　）年～1859 年(インドでは「第１次インド独立戦争」)→ｲｷﾞﾘｽ軍が武力で平定。

→ ＊イギリスが(　　)帝国を滅ぼし、インド全土を植民地化(１８５８年)

[**アヘン戦争**] p158,159

☆イギリスと中国の貿易(18 世紀なかばころ)･･･中国(　　)から大量の(　　)を輸入

鎖国政策の清国への綿織物などの輸出は少なく、イギリスは中国への支払いの銀が不足

→インドで栽培させた(　　)を輸出して巨額の利益を得る　(＿＿＿＿)貿易

☆清国では銀が大量流出し、国民の心と体が麻薬中毒でむしばまれる

清国の対策(林則徐が指導)→＊アヘンの売買を禁止する。港のアヘンを没収して焼く。→

☆**アヘン戦争**(　　年～　　年)　イギリスが艦隊を派遣して清を攻撃(反対意見も※)

※グラッドストーン議員の演説「これほど不正な,わが国の恥さらしになる戦争は聞いたことがない」

近代装備のイギリス軍が清国軍を圧倒→清は敗北し,1842 年(＿＿＿＿＿＿＿)を結ぶ。

☆**不平等条約**(南京条約と 1843 年の通商条約‥ｲｷﾞﾘｽ･ｱﾒﾘｶ･ﾌﾗﾝｽと結ぶ)

＊賠償金を支払い、(　　)をイギリスにゆずり、５港を開港(広州,上海など)

＊**治外法権を認める(領事裁判権)**→中国で罪を犯した外国人はその国の領事が裁判する。

＊**関税自主権がない**＝輸入品にかける税率を中国側が決められない。

⇒中国民衆の苦しみ‥外国製品の流入で手工業に打撃、重い小作料、賠償金のための重税　→

☆洪秀全の率いる農民反乱＝(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)‥(　　年～　　年)

＊土地均分(地主の土地を農民にわける),滅満興漢(清国を倒して漢民族の国をつくる)を唱え,女性も加わり一時はナンキン(南京)を都として勢力を築くが地主や外国軍に敗北。

※アロー戦争(1856~60)‥アロー号の清国人船員逮捕を口実に英仏軍が清国に仕掛けた戦争

⇒イギリス・フランスは清国に市場開放やキリスト教布教を認めさせる(北京条約)。

※アヘン戦争～アロー戦争のいきさつは「　　」で幕府に伝えられ,政策に影響。

[**ロシアのシベリア進出**]p159

☆ロマノフ王朝の皇帝が専制政治をおこなうロシア帝国(首都サンクトペテルブルク)

☆エカテリーナ２世(女帝)のころ(１８世紀後半)からトルコと戦って黒海・地中海や中央アジア方面に領土を拡大。やがて東シベリア方面にも進出(アラスカは1867年アメリカに売却)。

☆1853～56年のクリミア戦争でイギリス・フランス・トルコの連合軍に敗北→近代化を急ぐ

☆1860年,清から(　　)を手に入れ,ウラジオストクを拠点に太平洋岸への進出をはかる。

４５　黒船来航の衝撃

[**黒船の来航**]p160

☆アメリカの太平洋進出・・1848年太平洋岸に到達､ｶﾘﾌｫﾙﾆｱで金鉱発見→1849年～ゴールドラッシュ

①太平洋航路を開き、日本を中継地として中国貿易に乗り出したい。

②北太平洋捕鯨船団の燃料･食料補給、難破した船員の保護を日本に望む。

☆黒船の来航(＿＿＿＿年 旧6/3=7/8)･･海軍提督(＿＿＿＿)がひきいる４隻のｱﾒﾘｶ艦隊が大砲100門を積んで(　　)沖に現れ、開国を求めるアメリカ大統領の国書を幕府に突きつける。

※ペリーの準備･･(　　と小笠原諸島)に寄って日本が開国しない場合の寄港地に予定。

☆幕府(老中　　ら)は判断に迷い、翌年に回答するといったん帰ってもらう。

＊ペリー艦隊は琉球に戻り、貯炭所をつくって冬を越す。　　(↑幕府は艦隊の実力がわかる)

＊幕府は国論の統一のため全国の大名から意見を聞き、朝廷にも報告。

→朝廷を含め多くの意見は開国反対→大名の発言力が増し、朝廷の権威が高まる。

☆再度の来航(＿＿＿＿年１月)→７隻で江戸湾深く進入して空砲を撃ち幕府をおどす。

⇒幕府の決断･･(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)を結び一部開国する。　＊下田に総領事館を置く。

＊(　　,　　)の２港をアメリカ船の寄港地とし燃料･食料などの補給を認める。

＊同様の条約を(　　,　　,　　)とも結ぶ。

[**通商条約**]p161

☆アメリカ総領事(※　　)，ｲｷﾞﾘｽなどが武力で迫る前にｱﾒﾘｶと通商条約を結べと幕府を説得。

※下田は商業港としては使えない。ｲｷﾞﾘｽ･ﾌﾗﾝｽが中国でﾓﾀﾓﾀしている今がアメリカのﾁｬﾝｽ！

☆幕府(大老＿＿＿＿＿＿)、(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)を結ぶ。(＿＿＿＿年)

＊反対派の意見をおさえ、朝廷の許可を得ないまま実施←恨みを買う

⇒＊(　　=横浜,　　,　　,　　,　　=神戸)５港の開港

☆不平等条約･･①(　　)がない※。②(　　)を認める。

※関税は外国からの輸入品にかける税金。関税自主権は税率を決める権利。

＊同様の条約を(　　,　　,　　,　　)とも結ぶ

⇒２００年以上続いた「　　」をとき、欧米諸国と競争する世界に投げ出される。

４６　尊皇攘夷運動の高まり

[**尊皇攘夷と安政の大獄**]p162　　※攘=はらいのける、夷=外国人

☆横浜港の誕生(攘夷を避け「神奈川」を東海道から離れた「横浜」に変更)→外国人居留地と港の施設建設

→最大の貿易港へ･･輸入品(毛織物,綿織物,武器,艦船など)，輸出品(　　,　　)など

→綿製品の大量輸入で国内産地が打撃をうける，輸出商品の生糸などが品不足で値上がり。

→米、大豆など生活必需品も値上がりする※→下級武士や一般国民を苦しめる

※幕府は金銀の交換比率の違いによる金の流出を防ぐため粗悪な貨幣をつくった

（日本では金：銀=1：5、欧米では金:銀=1：15 ほど→欧米商人は洋銀で日本の金貨を大量に get.）

⇒武士たちの中に外国人を追い払えという考え(　　)が高まる。

☆国論の分裂　①開国論‥ペリー来航をきっかけに世界に門戸を開いていく。

②尊皇攘夷論‥天皇を尊び，鎖国を守り外国(人)をうち払う。

＊将軍の跡継ぎ問題‥13 代家定の次の将軍を家茂(いえもち)か慶喜(よしのぶ)かで争う。

☆大老井伊直弼の決断→①朝廷の許可を得ずに通商条約を結ぶ。②14 代将軍を家茂に決定。

⇒反対派の大名・武士・公家たちを厳しく弾圧＝(＿＿＿＿＿＿)1858～1859

長州藩の吉田松陰や福井藩の橋本左内ら８名が処刑される(全体で 100 人ほど処罰)。

☆攘夷は天皇の意志だとして(　　)が急速に高まる

＊井伊直弼への反発⇒水戸浪士らが登城中の井伊を暗殺(＿＿＿＿＿＿＿＿)1860 年

⇒幕府の政治力が著しくおとろえる。　※井伊掃部守直弼(いいかもんのかみなおすけ)は横浜では「横浜開港の父」として、紅葉坂の掃部山(かもんやま)公園(県立図書館裏)に銅像がある。

☆幕府の反撃・・尊王攘夷運動をおさえ、朝廷を利用して権威を高める「公武合体」を実施。

＊孝明天皇の妹(和宮かずのみや)を 14 代将軍家茂の夫人とする(1861 年)

＊薩摩藩を味方にして、京都から急進派の公家や長州藩士を追放(1863 年 8 月)

＊第１次長州征伐(1864 年)‥幕府政治に反対して京都で事件(蛤御門はまぐりごもんの変)を起こした長州藩に幕府が大軍を差し向け、長州藩が降伏。その後長州藩では保守派が実権を握る。

[攘夷とその影響]p162,163　　※2 上海がｲｷﾞﾘｽなどの植民地となっている現実に危機感を持ち藩政改革に決起。

☆薩摩藩の改革・・攘夷の失敗から学び、外国に接近して軍備強化をはかる。

＊1862 年(　　)事件‥薩摩藩主の父島津久光の行列に会って下馬せずにいたイギリス商人たち４人に藩士らが斬りつけ殺傷した事件(１名死亡２名負傷)

→薩摩藩はイギリスの犯人引き渡し･賠償金支払いの要求を拒否(幕府は払う)

→1863 年 **薩英戦争**※1‥イギリス艦隊(横浜から)が鹿児島を砲撃し薩摩藩が応戦→双方に大きな被害

※1 薩摩側は広く鹿児島市街を焼かれたが,英国艦隊も旗艦が被弾し,艦長など 13 名が死亡,負傷者 50 名を出し退却。

→薩摩藩は軍備の近代化の必要を痛感してイギリスに接近し、イギリスも薩摩を重視。

☆混乱した幕府による攘夷命令‥高まる攘夷論におされて開港地の閉鎖など攘夷の実行を命令。

＊1863 年(5/10)、長州藩攘夷を実行‥下関海峡を通行する外国船を砲撃

→1864 年(8/5)(　　,　　,　　,　　)４国連合艦隊が下関砲台を攻撃し、完全占領(**下関事件**)。＝攘夷の完全な失敗→長州藩も攘夷の不可能なことをさとる。

☆長州藩は高杉晋作※2･木戸孝允らが実権を握り,倒幕をめざす＝小さな攘夷から本当の攘夷へ

外国人を斬り殺すような攘夷**→欧米のすぐれた文明を導入し,欧米に負けない国家を建設すること**

[人物クローズアップ　吉田松陰と松下村塾] p163　☆吉田松陰 1830~59‥批判されることのない「天才」だが‥11 歳で藩主に兵学を講じ,江戸に出て佐久間象山に学んだ。アメリカ船への密航に失敗して自首し郷里に謹慎中許されて 1855 年から 1858 年まで実家とその小屋で若者を教育した。その中から数多くの明治維新指導者が出たことは驚異的である。一方，列強からの自立だけでなく，琉球の日本領化、李氏朝鮮の日本への属国化、満洲・台湾・フィリピンの領有を主張した点は，近代日本の当初からの異様な侵略主義政策への影響を究明される必要がある。

４７　倒幕と大政奉還、王政復古の大号令

[**尊皇攘夷から倒幕へ**]p164　　※肥前藩は倒幕派ではなく,土佐藩は藩主が公武合体派。

☆薩長が対立から同盟へ・・＊蛤御門の変 1864 年では薩摩軍が長州軍を撃退→深いうらみ

→(＿＿＿＿＿＿＿＿)成立(　　年１月)・・土佐藩の(＿＿＿＿＿＿＿＿)、中岡慎太郎が仲立ち。

＊薩摩藩(＿＿＿＿＿＿・大久保利通)と長州藩(＿＿＿＿＿＿)が握手,幕府を倒すため協力を約束。

→やがて薩摩藩,長州藩,(　　佐賀県),(　　高知県)の４つの藩が協力する※。

☆尊王論も変質→「幕府を倒し新しい国家を作っていくために天皇を最大限に利用する」

攘夷派で公武合体論の孝明天皇が急死し、即位した 14 歳の明治天皇を倒幕派は大いに利用した。

[**大政奉還**]p164、165

☆幕府、第２次長州征伐(　　年)・・長州藩の武士人民一体(奇兵隊など)となった反撃に各地で敗北

→将軍家茂の病死を理由に停戦。幕府の権威さらに低下。

☆農民の一揆と都市民衆のうちこわしが激増する・・1866 年が江戸時代で最多回数

※「世直し一揆」・・自分たちのためだけでなく苦しんでいる万民を救う一揆だと主張。

→関東・東北などに広がる。　　⇒次第に幕府政治の土台をゆり動かす。

※「ええじゃないか」・・1867 年 7,8 月にかけ東海道を中心に江戸から広島あたりまでに広がった民衆の狂乱状態。神社のお札が降ったことなどをきっかけに民衆が「**ええじゃないか！**」などと叫んで踊り狂う。倒幕派(西郷隆盛ら)が仕掛けたとも言われるが確証はない。

☆武力倒幕の動きへ(1867 年)・・薩摩藩の西郷,大久保,長州藩の**木戸孝允**,公家の(＿＿＿＿＿)ら討幕(倒幕)派が倒幕の密勅(天皇の秘密の命令)を得る 10/13。

☆15 代将軍(＿＿＿＿＿＿)の反撃・・政権を朝廷に返す申し出＝(＿＿＿＿＿＿)10/14

天皇の下で大名会議を開き最大の大名である自分が主導権を持とうとする＝倒幕派の足もとをすくう奇策。　　※坂本龍馬の案をもとに前土佐藩主山内豊信(とよしげ)が幕府に提言。

[**王政復古の大号令**]p165

☆討幕派の再逆転・・慶喜のねらいをそらすため朝廷に(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)を出させる 12/9

→討幕派による新政府を作り、慶喜に領地の返還などを命令。

第２節　明治・日本の国づくり

４８　五箇条の御誓文と明治維新

[**維新の内戦**]p166　　※イギリスは官軍へ,フランスは旧幕府軍への協力を申し出るが双方とも断る。

☆討幕派の官軍(新政府軍)と旧幕府軍との内戦(＿＿＿＿＿＿＿＿)⇒官軍の勝利へ

＊1868 年１月,鳥羽伏見の戦い→薩長軍約 4500 人が旧幕府軍約 15000 人を破る→慶喜,江戸へ逃亡。

＊官軍,長岡藩などの抵抗を抑え江戸に。３月江戸城無血開城。５月,江戸,上野の彰義隊を討つ。

＊９月会津藩降伏(白虎隊の悲劇も)。＊1869 年５月,箱館五稜郭で榎本武揚ら降伏。幕府側完全敗北。

歴史の名場面　江戸城無血開城　p167　＊1868 年 3/14 幕府側の勝海舟と官軍の西郷隆盛会見

＊勝は、江戸での戦乱が外国軍の介入だけでなく，ヨーロッパやインドのような民衆の一斉蜂起をもたらす危険を説き，慶喜の助命と徳川家の存続を条件に無抵抗で開城すると西郷を説得した。パークスやアーネスト・サトウなどイギリス外交団も貿易への悪影響を恐れて総攻撃反対を西郷に伝えていた。両勢力の

利害が一致した結果である。悲劇はその後会津などで激発する。

※西郷は江戸東征に向けて相楽総三らの「赤報隊」に新政府の「年貢半減令」を宣伝させ官軍への支持を拡げたが,実現不可能な公約が広がり過ぎないように，途中で「偽官軍」として逮捕し処刑した。政治家西郷の一面である。

[**新政府の方針**]p166,167　　※「御」は本来は不用。

☆新政府の方針発表　1868 年 3 月 14 日①と 15 日②　　①は「太政官日誌」で発表

①(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿※)・・宮中で天皇が神に誓う形で公家・大名らに示す⇒国民は知らない

@基本的な内容・・ヨーロッパなどにならって近代国家をつくり発展させていくこと

※福岡孝弟の第二案は「広く列侯会議を起こし」→議会による民主主義という考えは全くない。

(元の「盟約」を天皇の「誓文」に変えて，列侯らによる「公武合体」統治を否定し，倒幕を推進した指導者たちが専制的に支配することを示した。「広く会議」に書き換えた木戸孝允は「建国の大法はデスポチック(専制的)」でなければならないと述べている)　→自由民権派が議会政治実現の根拠として広く宣伝し後に政府も公認した。

②**五榜の掲示**ごぼうのけいじ・・庶民に対する方針を示す５枚の立て札(3/15)←資料集などで確認を

＊基本的な考え＝幕府政治を受け継ぎ新政府が封建的支配者として国民に対すること

☆神道を国教化する方針→**廃仏毀釈(**はいぶつきしゃく)(各地で寺院や仏像を破壊する動きが広がる)

☆最初の改革　@天皇が江戸に移り,江戸を(　　)と改称。・・翌年都を京都から東京に移す

@年号を(　　)とし、天皇一代に一元号＝「一世一元制」とした※

※ほとんど「天皇」になじみのなかった国民に常に「天皇」を意識させその定着をはかった。

☆(＿＿＿＿＿＿)・・新政府が行った日本を近代国家にするための改革とそれによる社会の大変革

「維新」・・『詩経』の一節「周雖旧邦 其命維新（周は旧邦なりといえども,その命これ新たなり）」から。英訳では restoration=「復古」 (以前の「日本維新の会」の英語名も「Japan Restoration Party」)

４９　新しい国づくりへの道

[**藩から県へ**]p168　　※江戸時代の幕藩体制は徹底した**地方分権**政治だった

☆国家体制の改革・・政府が全国を直接治める(＿＿＿＿＿＿＿)国家をめざす。※

①(＿＿＿＿＿＿＿)□⊙□□年・・藩の領地(　　)と人民(　　)を天皇に返す→大名は知藩事に。

②(＿＿＿＿＿＿＿)□⊙□□年・・藩をやめ県を置く　←薩・長・土１万人の兵士を東京に集めて圧力

＊県には政府が任命した(　　=県知事)を派遣して治めさせ、年貢は政府に集める※。

(全国 261 藩→3 府 302 県→3 府 72 県→3 府４３県１道，現在は１都１道２府 43 県)

※(　　)1876 年・・旧武士に俸禄米に代えて金禄公債証書を渡し,政府の負担をなくす。

☆新政府のしくみ・・太政官(最高官庁)のもとに正院、左院、右院。右院のもとに９つの省

[**身分制度の改革**]p168,169　　**※平民も全員名字は持っていたがそれまでは公式に名乗れなかった。**

☆士農工商の身分制度を廃止して皇族以外はすべて平等とする方針⇒(＿＿＿＿＿＿＿)

＊一方で天皇を頂点とする新しい身分制度を作る

①(　　)=天皇の一族，②(　　)=公家・大名，③(　　)=武士，④平民=農工商

※①,②で約 0.00009%，　③が約 5.7%，④が約 93.4%(明治初め)，神官・僧尼約□□□%含む

＊平民にも(　　)の名乗りを許し※、職業・居住の自由、華族や氏族との結婚も認める

☆えた・ひにんの(＿＿＿＿＿＿)1871 年→特別に「新平民」とされ差別は根強く残る

５０　学制・兵制・税制の改革・・「富国強兵※」の土台づくり

[**新しい教育制度**]p170　　※明治国家の基本的スローガン

☆富国と強兵の共通の土台は教育→1872 年(　　)を定め、学校教育を開始する。

＊全国に小学校をつくり６歳以上の男女に小学校教育を受けさせる→教育は国民の義務とする

⇒国民の反対・・子どもは働き手、役に立たない勉強の中身、建設費や(　　)の負担

→就学率は 1880 年代でも 5 割程度。→20 世紀になってしだいに普及し,明治末にほぼ 100%へ

☆高等教育と外国の文化・学問の取り入れ

＊官立大学などの高等教育機関→後に９つの帝国大学に。福沢の慶應義塾など私立学校も。

＊約 3000 人の外国人教師(お雇い外国人)を招き、欧米諸国に多くの留学生を派遣

※札幌農学校に来た(　　)・・「Boys, be ambitious*!* (　　)」

[**軍隊の編成**]p170、171　　※陸海軍が功名を争い,相互に情報を隠したりして,真の協力が困難。

☆「強兵」の土台＝(　　)年 ・・歳以上の男子の合格者に 3 年間の兵役を義務づけ

＊免除された者・・官吏・官立上級学校卒業生・代人料円を払った者,戸主.,長男　他

→兵役のがれ,徴兵(血税)反対一揆が全国に⇒徴兵令を改正年にやっと「国民皆兵」を実現

※幹部になった者・・・海軍は(　　)藩、陸軍は(　　)藩出身者→陸海軍の反目続く※

[**地租改正**]p171

☆不安定な租税収入←(税率・出来高の違い,保管・輸送の手間)　⇒制度を整え国家の財政を安定させる

☆租税制度の大改革＝(　　)・・(　　)年から 1880 年頃までかかる

＊地主や自作農の土地所有権・売買権を認め、持ち主に(**A**　　)を発行。

＊Ａの所有者が、土地に対する税(Ｂ　　)を現金で納める。

＊Ｂは土地の等級によって定めた(Ｃ　　)の(　　／　　)とする

※Ｃは政府が税収入を減らさないようにはじめから高めに定めた。

⇒＊地租は全国統一の近代的な租税となり、政府の歳入(年間収入)の約 7 割をしめる(明治初期)。

＊自作農は自由に土地の売買が可能となる→地租の金に苦しみ土地を手放すものあり

＊小作農は収穫した米の約半分を小作料として地主に納める＝江戸時代と変わらず

＊地主は　米で受け取り,現金にかえて地租をはらう　　米価が上がると利益が大きい

米価が高いときをねらって売り出す　　→ますます力を強める。

＊村人が共同で利用してきた土地(入会地いりあいち)が各地で官有地とされ取り上げられる。

⇒地租改正反対の一揆　１８７６年には和歌山、茨城、三重などで大規模な一揆が続発。

→政府は地租率を２。５％に下げる　　「竹槍でドンと突き出す二分五厘」(当時の狂句)

※p171 上資料の地券をよく見ると「明治十年ヨリ 此ノ百分ノ貳ケ半金 壱円八銭四厘 地租」とある。

５１　明治初期の外交と国境の画定

[**北方の国境と守り**]p172

☆1869 年蝦夷地を北海道に改め,(　　)を置き,全国から(　　)を募集して警備と開拓にあたらせた。先住民の(　　)には「北海道旧土人保護法 1899 年」で差別的同化を進めた。

☆ロシアとの間で北方領土を確定・・1875 年(　　)を結ぶ

→千島列島は(　　)領、樺太は(　　)領とする・・日本に不利だが平和的な領土確定。

[**清と沖縄**]p172,173

☆清国とは対等な条約(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)を結ぶ(　　年)。←(当初,琉球の所属で対立)

＊1872年、政府は琉球国王を藩王として琉球藩を置き、日本への帰属を示す。←清が反対

＊1874年・・琉球漂流民殺害事件をきっかけに台湾に出兵し占領(台湾出兵)。→清国政府から「日本国民を殺害した事件」への賠償金を得て、日本の琉球支配を清が認めたとする。

＊(　　)年,政府は軍隊と警官隊の圧力で琉球王国を廃止し,沖縄県を設置＝(＿＿＿＿＿＿)

※一方で1880年8月から,琉球のうち宮古八重山を清国に割譲し，かわりに日清修好条規の日本の最恵国待遇をさらに有利に追加する分島・増約案交渉が行われ10月妥結した。最終的に清国側が拒否して消滅したが，日本政府の琉球に対する勝手な姿勢の象徴と言える。宮古八重山諸島は琉球王国の「固有の領土」だったが,「日本」にとっては「？」。

※「尖閣諸島領有」：1885年九州出身の古賀辰四郎が尖閣諸島の領有と貸し付けを求めた際に,政府は「清国を刺激するから」と差し止めた。しかし日清戦争の勝利が確実になった1894年12月には「1885年当時とは事情が異なる」と態度を変え，翌1895年1月に「久場島,魚釣島を沖縄県所属とし,(それを示す)標杭建設を許可する」閣議決定がされた。しかし,清国には全く通告されず,標杭も建てられず,閣議決定も公開されなかった(公開は1952年の『日本外交文書』23巻)。

☆小笠原諸島の領有・・・1876年，米英が日本の領土であることを承認。

[**朝鮮との交渉**]p173

☆朝鮮は中国(清)に朝貢しつつ欧米に対し鎖国し、日本からの開国要求には答えなかった※。

（※幕府と違い明治政府は清の冊封下にある朝鮮の立場を尊重せず,「皇」などの文字を使用したため）

＊(　　,板垣退助)ら留守政府※は武力で朝鮮を開国させる方針(＿＿＿＿＿)を決定

※遣欧使節に参加した政府首脳から「後は任す」と言われていた西郷,板垣,後藤象二郎,江藤新平,副島種臣ら政府首脳

→外国から帰った指導者の反対で中止⇒西郷・板垣らは「やってらんない」として政府を退く※。

※西郷らは士族の不満を外にそらすためにも征韓が必要とし天皇の許可も得ていた。帰国組は国内整備が先と主張。

＊1875年(　　事件※)をおこし武力で朝鮮を圧倒する。※日本側の外務省理事官森山茂が「砲艦外交」を要請し，砲艦雲揚が無断で沿岸の測量など(侵略行為にあたる)をして朝鮮側から攻撃された。日本側は直ちに反撃して朝鮮側要塞を占領した。朝鮮側の死者35名、日本側の死者1名負傷者1名（のち死亡）。

→1876年、不平等※な(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)を朝鮮に押しつけ、大陸進出に踏み出す。

※①朝鮮だけが領事裁判権を認めた。②相互に関税を免除したため産業が発展した日本が貿易で圧倒的に有利など。

日本側はペリーのアメリカ政府への復命書を借り受けて研究し,６隻の艦隊を派遣して交渉に臨んだ。朝鮮側は事件処理の交渉だけと考えていて国際法の理解も準備も不足していたため，日本側の要求どおりの結果となった。

☆日本は欧米諸国との不平等条約の解消を求めつつ，アジア諸国に対しては逆に不平等条約を押しつける国になっていく。→欧米人には卑屈なのにアジア人を馬鹿にする傾向が国民にも広がる。

歴史ビュー　国境の島々(固有の領土？)　p173　注意が必要だが、調査して正確な事実を生徒に伝えよう。

☆北方領土・・千島樺太交換条約で千島列島全部が平和的に日本領土となった。しかし、1945年のヤルタ秘密協定でｱﾒﾘｶ・ｲｷﾞﾘｽが対日参戦と引き替えに千島列島をソ連領にすると約束し、ｻﾝﾌﾗﾝｼｽｺ平和条約で日本に領有権を放棄させた。その後日本は南千島は放棄していないと主張している。この問題で日本とロシアは平和条約を未だに結べていない。

☆竹島・・江戸時代にも紛争があり、幕府は日本領でないとして米子からの出漁を禁止した。明治10(1877)年太政官は幕府の裁定を引用して「本邦関係なし」とした。日露戦争最中の1904年、バルチック艦隊を見張る望楼設置などを理由に「時局なればこそその領土編入を急務とするなり」と判断し良く905年に編入した。韓国には翌年伝えた。

☆尖閣諸島・・No59「清と沖縄」。※3 箇所とも将来の平和的な解決のため、冷静・公正な判断ができる資料提供が必要。

５２　岩倉使節団と西南戦争

[岩倉使節団]p174　　明治六年→1867＋6＝1873 年

☆欧米諸国への使節団派遣(　　年～　　年)・・不平等条の改正をめざす

＊団長(　　)の他政府有力者のほぼ半数が参加。p174 写真(岩倉はｱﾒﾘｶでちょんまげをやめる)

(　　)など

→近代的な外交の常識も知らない(天皇の全権委任状なし)と相手にされず,条約改正はあきらめ目的を変更⇒欧米の政治・法律・経済・社会の様子を直接見聞して学ぶ⇒日本の遅れと国力の充実の必要を痛感。

＊多数の留学生が同行・・・最年少の(　　)→日本の英語教育の草分けとなる

☆明治六年の政変・・帰国した遣欧組に征韓を強引に中止させられた留守政府ﾒﾝﾊﾞｰが政府を去る。

[士族の不満と反乱]p158,159　　※帯刀の禁止。包めば持ち歩けた。

☆士族の不満・・多くの特権を失う＝四民平等(～1871)，徴兵制(1873)，廃刀令(1876)※

＊(　　1876 年)・・士族に支給してきた俸禄米を廃止し代わりに利子つきの公債を渡す)

→旧大名などは巨額の公債をもとに事業をおこす(鉄道など)。下級士族は少額のため生活できず。

⇒各地で士族の反乱おこる(佐賀、熊本、福岡、山口など=倒幕に協力した西日本に多い)

☆(＿＿＿＿＿)・・(　　)を押し立てた旧薩摩藩士族の大反乱(1877.2～9)⇒敗北

※徴兵制でつくられた(平民出身)の近代軍隊が士族最強の薩摩軍を撃退⇒暴力的な抵抗は終了。

歴史ビュー　中條景昭　省略　（登場人物が異常に多い中で，特に取り上げる必要が感じられない）

[歴史ズームイン　外国人が見た日本]p176

わずか４人の,立場も滞在期間も異なる外国人の印象から一方的に当時の日本を評価してしまうのは危険。

オランダ領事で 1859 年から 1874 年まで日本に滞在したアルベルト・ボードワンは『日本人論』で，日本人の特徴として,男尊女卑がはなはだしいこと,約束を守らないことをあげている。バードは別の場所で、「子どもたちはとても汚く、ひどい皮膚病にかかっていた。女たちは顔色もすぐれず、酷い労働と焚火のひどい煙のために顔もゆがんで全く醜くなっていた」などとも書いている。ベルツは，『ベルツの日記』の中で，大日本帝国憲法の発布に際して憲法の内容も知らずにお祭り騒ぎをしている日本人に疑問を呈し，また，欧米の学問の成果だけを導入しようとして精神を学ぼうとしない点も批判している。「日本や日本人をほめている」資料だけでなく、多面的な視点から評価する必要がある。

人物コラム　西郷と大久保がめざしたもの p177

＊二人の無私な性格はともかく,内容が不正確。人格者と言われる西郷も一面では策略家であり，幕府側を挑発するために江戸各所で相楽総三らに略奪・暴行事件を起こさせたり，「年貢半減令」の「偽官軍」を仕立てたりもした。また，官軍が東北で敗者に対して温情があったかも疑問。会津藩兵の死体は当初埋葬が許されず野ざらしにされた。また従軍したイギリス人医師ウィリスの報告では，官軍の負傷兵は手厚く看護されていたのに対し「会津藩の負傷者は、会津若松城周辺の七つの村に収容されていた。私が初めて訪れた時の彼らの状態は、この上もなく悲惨なものであった。米の配給以外は、他になにも与えられていなかった。薬も着物もまったくなかった」。新発田では会津藩の捕虜が皆殺しにされているとも告発している(パークス英国公使の英国外務大臣宛報告書付属文書 1869 年 1 月)。西南戦争に際し，官軍司令官西郷への恨みをはらすため多くの会津人が官軍に志願したことも知られている。このような一方的な情報を教科書に載せるのは許されないと言うべきである。また西郷の確実な写真は不明で，この肖像画の上野の銅像も妻は否定している。

５３　殖産興業と文明開化

[**豊かで強力な国をめざして**]p178　　「＿＿＿＿＿＿」は明治日本の合い言葉

☆「富国」＝近代産業をおこして国を豊かにすること→欧米の進んだ技術や機械を取り入れ近代産業を育てる努力＝「＿＿＿＿＿＿＿＿」→資本主義の発展

＊幕府や藩の軍事工場や鉱山を受け継ぎ発展させる

＊(＿＿＿＿＿＿＿)を作って直接経営する＝製糸、紡績工場などを機械化 ※士族の子女を募集

※日本最初の官営模範工場・・(　　)→女工たち※が各地の工場のリーダーに。

＊(　　)建設・・□⊙□□年,新橋横浜間開通→□⊙□□年神戸大阪間。全国に広がりやがて国有化される。

＊沿岸航路に汽船が運航・・海運による物資の流通が発展やがて外国航路も。

＊新しい貨幣制度・・両をやめ円で統一(両→円,1 円の 1/100 が銭,1 銭の 1/10 が厘)

※旧１両を１円と等価、さらに１円を１ドルと等価とした。金貨１円には 1.5ｇの金が含まれる。

＊銀行制度・・国立銀行条例□⊙□□年、第１国立銀行□⊙□□年、日本銀行□⊙⊙□年,

☆国家予算をつぎ込んだ(国民の財産である)模範工場や鉱山の払い下げ(□⊙⊙□年代～)

⇒(　　・三菱※)など政府と結びついた一部の商人(政商)に有利な条件でおこなう。

長崎造船所・・・□□万円投資した工場→約□□万円、□□年賦で三菱へ　※政商岩崎弥太郎

※今に続く政府と大会社との不正な結びつきの出発点

[**急速な西欧化の波**]p179　　p154,155 参照

☆欧米文化の取り入れによる伝統的な生活の大変化＝(＿＿＿＿＿＿＿)

＊欧米文化の紹介・・福沢諭吉『西洋事情』,中村正直『西洋立志編』など。

＊(＿＿＿＿＿＿)の「学問のすすめ」・・「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずといへり」

→学問をして、支配者に頼らぬ、独立した人間になるように説く→大ベストセラー

※福沢の変質・・□⊙⊙□年に「**脱亜論**」を唱え,日本は朝鮮や中国と手を切って西洋諸国と一緒に行動しよ

うと呼びかける→アジア諸国を踏み台にして発展する軍国主義日本に手を貸す。

＊中江兆民・・・ルソーの民主主義思想・国民主権論などを日本に紹介。→自由民権運動に影響

☆東京・横浜などから始まった「開化」のようす　　※大赤字の政府は 12 月の給与を払わずに済んだ

＊1873 年、太陰暦をやめ(　　)を採用＝明治 5 年 12 月 3 日を 6 年 1 月 1 日にする※

＊1 日 24 時間制、1 週間 7 日制、日曜日休日制など・・まず役所が採用。

＊煉瓦造りの洋館(役所、学校他)、ガス灯、こうもり傘、洋服、人力車、馬車、牛鍋屋、

＊(　　)制度・・前島密らの努力、全国同一料金制で成功

＊有線電信制度・・「電信柱」を立て軍事・官庁用にはじめる。□⊙□□年東京・横浜間開通→全国へ

＊新聞の発行・・1871.1.28「横浜毎日新聞」=最初の日刊紙,「東京日日新聞」ほか。

＊キリスト教禁止をやめ，各地に教会も。明治初期には神道による仏教排斥運動もおこる。※

※廃仏毀釈・・経済基盤を失い廃絶した寺や、失われた文化財も多い。このため奈良の興福寺五重塔が 25 円(今の 40~50 万円ほど)で売りに出された。また、従来の神仏習合の信仰が禁止・抑圧されたため民衆の信仰心に大きな動揺を来したとも言われる。

⇒農村では太陰暦が生き続け、新文化の波はほとんど及んでいかない。

木戸孝允の言‥「**日本橋近辺の文明開化**」。1901(明治34)年に警視庁が「はだし禁止令」を出す。

歴史学習ノートNo６２

このころ世界は④　近代国民国家の形成　p180,181

☆万国博覧会の流行‥産業革命で資本主義を発展させた欧米各国がその国力を示すために競って開催。

1851年ロンドン、1853年ニューヨーク、1855年(　　)、1867年第2回パリ万博に幕府など参加。

☆19世紀後半のアメリカ‥南北戦争とリンカーン(奴隷廃止宣言、民主主義定義　　演説)

＊奴隷を使った大農場中心で自由貿易を望む南部と工業が発展するため保護貿易を望む北部とが対立。

(　　)年～1861年、(＿＿＿＿＿＿)→北部が勝って資本主義発展へ。1869年大陸横断鉄道など。

☆近代国民国家の形成‥19世紀後半、イギリス・フランス・アメリカ・イタリア・ロシア・オーストリア・ハンガリーなど軍事力・経済力を高め、(　　)と呼ばれてアジアアフリカなどを植民地に=(＿＿＿＿＿＿)

※資本主義が発展し、有利な原材料の入手先と製品の輸出先を求め、植民地獲得の侵略政策を行う。

第３節　アジア最初の立憲国家・日本

５２　国会開設へ向けて・自由民権運動

[**自由民権運動のおこり**]p182　　※「なるほど左様なことがあった。」木戸孝允　岩倉使節団ワシントン滞在中1872.4.1

☆明治政府と議会‥一部に「君民共治」の立憲政治をめざす考えはあったが，中央集権化を急いで薩長藩閥中心の「有司(上級役人)専制」を行い，反発を招いた。(※「五箇条の誓文」はわすれられていた。)

☆(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)1874年‥(＿＿＿＿＿＿)らが藩閥政府を批判して政府に提出。

→高知県に(　　)を作り，国会開設などを求める(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)が始まる。

⇒中央集権化のために議会政治(公議政体)に慎重な政府と民権派はその後鋭く対立する。

[**国会開設の要求**]p182,183

☆武力による反政府運動の完全な失敗(　　)→言論による専制政治改革運動,さらには欧米の近代的な自由と民主主義の考えで日本を改革する**自由民権運動**が全国に広まる。

＊板垣ら、演説会・新聞などで自由や権利の考えを広める→立志社から全国組織(　　)へ。

＊納税している農民たちも政治への発言権を要求→地主(豪農)らも結社を作り運動

⇒国民的大運道に発展‥①国会開設の要求に②地租軽減・③不平等条約改正の要求が結合

＊(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)結成1880年，全国で30万人以上の署名(請願書)が集まる。

＊運動の中心人物：立志社出身の植木枝盛,フランス人権思想の紹介者中江兆民など。

⇒政府は，運動を徹底的に弾圧。1880年(　　)条例，演説を中止させる警官など。

☆政府内部の対立‥(＿＿＿＿＿＿＿)ら、急いで国会を開きイギリス流の議院内閣制をめざす

(＿＿＿＿＿＿＿)ら、十分に時間をかけて国会を開設するべきだとする。

☆北海道官有物不正払い下げ事件(1881年)‥開拓使長官黒田清隆が1410万円の施設を38万7千円,無利息30年賦で薩摩出身で友人の五代友厚に払い下げようとする(7/27払い下げ申請,7/29決定=無審査)

→政府を責め国会開設を求める声いよいよ高まる＝「(　　)がないからこんな不正がおこる！」

☆政府、払い下げを中止し、政府内反対派の大隈を追放して、９年後の国会開設を天皇の名で約束。

＊**国会開設の勅諭**ちょくゆを発表(1881年)⇒国民の不平をしずめ、運動の目標をなくす。

国会のあり方や憲法は(　　)が定めるとして、国民の発言をおさえる。

[内閣制度の創設]p183
☆政府側の憲法準備・・＊(　　)がヨーロッパで調査・研究＝君主中心の国家づくりをめざす。

⇒「国会ができても天皇中心の国家運営ができるように！」
＊内閣制度の整備(　　年)=君主に任命され,議会とは無関係の内閣→伊藤博文※が初代内閣総理大臣となる。※これからの首相は外国電報(英語)が読めなければと井上馨が応援し三条実美を制す。
＊華族制度の整備・・衆議院に対抗する貴族院の準備=公家・大名・明治維新の功労者などを華族とし，民権派の指導者や旧幕臣の有力者も取り込もうとした。。
＊皇室財産の拡大・・国家予算が議会で否決されても皇室財産で国政を動かせるようにする ↓
①国有林、原野、牧場の大部分を天皇のものとする→天皇は日本最大の(　　※) ※土地所有者に。
②日銀や大会社の政府所有株式を　　〃　　→　〃　　〃　の資本家となる。
☆政党の結成・・①(＿＿＿＿＿)1881・・党首・板垣退助、(　　)流の民権思想を主張。
②(＿＿＿＿＿＿＿)1882・・党首・大隈重信、(　　)流の議会政治をめざす。
☆大不景気(1882年～)による運動激化 ⇒まゆ価や米価の値下がり→実力で政府に反抗する動き。
自由党解党(1884年)、東日本各地で民権派の激化事件→いずれも敗北→運動の停滞へ
＊(　　)**事件**□⊙⊙□年・・埼玉県秩父の農民らが不景気によるまゆ・生糸の値下がりに苦しみ秩父困民党を
結成。→「借金10年すえ置き40年賦返済,減税」などを高利貸しや警察に訴えたが失敗→旧自由党員を中心に農民軍をつくり武器を持って決起(1884.11.1)、一時は全郡を占領
→軍隊の出動で鎮圧。(死者30数名,処罰約3400名) ・・・自由民権運動最大の激化事件
他の激化事件・・県令三島通庸みちつねの労役による道路開発などの政策に反発した福島事件など。

歴史ビュー　民間でもつくられた憲法草案(五日市憲法)　p183
＊全国で90以上もの民間の憲法草案がつくられた。これは，五日市(現・東京都あきる野市)の地元の青年たちが学習会を重ねて作成した憲法草案(1881年頃)。神武以来の皇位継承を当然とする古さも持つが，全文204条のうち150条で基本的人権に触れ，国民の権利保障に重点をおく点で当時としては画期的なものである。現在の日本国憲法に近い内容も含まれている。

５５　大日本帝国憲法の制定と帝国議会

[大日本帝国憲法の発布]p184、185　　※2月11日は紀元節(日本国家創立の日)とされていた。
☆伊藤の憲法調査・・(　　現・ﾄﾞｲﾂ)やｵｰｽﾄﾘｱの憲法学者(ｸﾞﾅｲｽﾄ,ｼｭﾀｲﾝなど)から学ぶ。
☆憲法の作成・・伊藤博文ほか数名で(中心は　　,他に伊東巳代治,金子堅太郎,伊藤は調整役)ひそかに草案を作り※、枢密院(天皇に任命された有力政治家が天皇の相談に答える機関)の会議で決定。
※ドイツ人法律顧問のロエスレル(レースラー)の原案がほとんど採用されている点が近年注目される。
☆憲法の発布 ・・天皇が(　　)に授ける形で(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)を発布。
(＿＿＿＿＿)年2月11日※→近代国家の形を整える(アジア初の立憲国家へ)
※国民はお祝いをしたが、内容はその日になるまで知らされなかった。←「　　の日記」
民権派も歓迎？・・中江兆民は明治憲法に対して「通読一遍唯(た)だ苦笑するのみ」(幸徳秋水「兆民先生」)
☆憲法の内容・・①主権は最高権力者である(　　)にある。

「第１条　大日本帝国は万世一系の天皇これを統治す。」　　※１

②天皇は陸海軍を率い、宣戦･講和･条約決定ができる。

③帝国議会･内閣･裁判所は天皇の政治を助けるためにある。

④二院制議会･･国民から選挙された衆議院と皇族･華族代表の(　　)。

⑤言論･出版･集会･結社･信教などの自由は(　　※2)で認められる。

※1 天皇の国政に対する権限は絶大。天皇は国政の表に出ないが，天皇の意向に反する決定は不可能であり，様々な場面で政治に関与した。単なる「精神的よりどころ」では全くない。

一方で、「第４条　天皇は国の元首にして統治権を総覧しこの憲法の条規によりこれを行う」･･この条項は君主も法に従って統治するという近代法治主義の原則を示している。

※2　このため後に臣民の自由は**治安維持法**などの法律で押さえつけられることになった。

☆憲法とあわせ刑法，民法，商法，刑事訴訟法，民事訴訟法の「六法」や地方政治制度も整備。

[**帝国議会の開設**]p185

☆第１回衆議院議員選挙･･(　　)年7月１日

＊有権者は直接国税を(　　)円以上納める(　　)歳以上の男子･･国民の約(　　)%

＊当選者は豪農層(地主など)の民権派が多数→民党＝野党(171/300)

⇒＊民党は「地租軽減・民力休養」を主張⇔政府は富国強兵をめざす軍事予算を提出

＊政府は、民党議員の買収※1、議会の解散、選挙への干渉※2 で対抗

※1：第１議会では立憲自由党土佐派を金で抱き込みかろうじて予算を成立させた。

※1：第２回選挙(1892.2.15)では，内相品川弥二郎が警察を利用して激しい選挙干渉を行い，警官隊と民党支持者が衝突し全国の死者 25 人,重傷者 388 人→それでも民党が多数民権派が強かった神奈川県の三多摩地区は東京府に編入され警視庁が厳しく管理。

⇒政府は民党議員を入閣させるなど民党と妥協して議会を運営する。→初の(　　)内閣

1898 年(第一次大隈内閣･･陸海軍大臣以外は全員憲政党員の閣僚→すぐに内部分裂で自滅)

☆アジアで最初の近代的立憲国家（憲法と議会を持つ国）となる。

しかし、議会とは関係なく，あいかわらず薩長出身者を中心とする藩閥内閣が続いていく。

[**教育勅語の発布**]p185

☆欧米から輸入した自由主義的・功利主義的教育→近代化に貢献したが反政府的な民権論も拡大した。

→憲法成立でさらに権利に自覚的な「市民」が育っては困る⇒国家統制を強めよき「臣民」を育成する

☆(　　)(「教育についての天皇のお言葉」という意味)(　　)年･･教育の基本理念とする※1

=親への孝行,友人同士の信義,法を重んじる精神に加え,国家の危機には身をもって闘うことを説く※2

→「忠君愛国･忠孝一致」の道徳が中心→国民の道徳的・精神的基準とされる。　※1 井上毅こわし･元田永孚もとだながざねらが起草。儀式のたびに校長が代読し,天皇中心の国作りを内面から支えた。戦後,日本の軍国主義を推進したとして批判され衆参両議院の決議で廃止された。　※2「一旦緩急あれば義勇公に奉じ」

５６　不平等条約改正への努力

[**条約改正をめざして**]p186

☆不平等な条約･･①(　　)を認めたため,外国人の犯罪を日本の裁判所で裁けない。

②(　　)が無く，国内産業の保護のため高い関税をかけられない。
☆井上馨の「　　」‥鹿鳴館の舞踏会などで日本の近代化を認めてもらおうとする。
→外国に相手にされず、領事裁判権の交渉も屈辱的だとして国民からも批判されて失敗。

＊外国人の裁判では外国人裁判官を任命するという政府案→これも屈辱的として国民が反発。

[条約改正の実現]p186,187
☆(　　)事件 1886 年‥日本人乗客を見殺しにしたイギリス人船長が領事裁判で微罪→大反発。
☆日英通商航海条約‥(　　)を撤廃し、関税自主権も一部回復(　　年)。
＊ロシアの南下をおそれたイギリスが、日本への接近をはかって譲歩。外相(　　)
→関税自主権の完全回復(　　年)‥日清･日露戦争の勝利を受けて実現。外相(　　)

人物クローズアップ陸奥宗光 p187 元紀州藩士。海援隊で竜馬の部下。投獄も経験。「ｶﾐｿﾘ陸奥」と呼ばれ外相として条約改正と日清戦争の難局を切り抜ける。足尾銅山鉱毒事件では次男の古河鉱業を支持。

５７　朝鮮半島と日清戦争

[朝鮮をめぐる日清の対立]p188
☆日本，日朝修好条規で朝鮮を「独立国」とする=朝鮮を清国から切り離し，日本が進出するため。
→朝鮮国内の対立‥日本にならって近代化したい(　　)×清との関係維持(　　)
1882 年改革反対の軍人暴動(壬午事件)，1884 年独立党(　　)らのｸｰﾃﾞﾀｰ(甲申事件)
→ともに清国軍隊が介入して鎮圧。→朝鮮は元通り清国の属邦として，日本の勢力は後退。
＊軍事的優勢を誇る清国軍→長崎で水兵が乱暴狼藉(1886 年 8 月)→清国への反感高まる。

[日清戦争の始まり]p188,189
☆日本や欧米諸国の進出→朝鮮の自給自足経済の破壊,武器購入などのための重税,米の値上がり
朝鮮農民の怒りの爆発⇒1894 年(　　)の信徒を中心に反乱＝(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)
→日本や欧米諸国を追い出して朝鮮の政治改革をめざす→朝鮮南部に大きな勢力
→日本と清国の出兵‥清国は朝鮮政府の要請で出兵 1500 人,日本は清国出兵を口実に出兵 8000 人
→外国の干渉を避けるため農民軍は政府と休戦‥⇒日清両軍は退去せず→日本、改革案を朝鮮政府に押しつけ,回答を不満として王宮を占領し清国軍撤退を要求 7.23(→農民軍を徹底攻撃)
☆日本海軍が清国海軍を奇襲※し、その後宣戦布告⇒(＿＿＿＿＿戦争)1894~1895 年　p189 地図
※1894.7.25 豊島沖開戦、29 日には日本陸軍が牙山と成歓で清国軍を攻撃、8/1 清国に宣戦。
＊近代装備でよく訓練された日本軍がやる気と近代装備に欠ける清国軍を撃破（p188 上ｸﾞﾗﾌ）
＊日本の議会は多額の軍事予算を承認‥民力休養･地租軽減などと言っていた議会が変質。
☆下関条約‥(　　)年　＊下関講和会議(3/20~4/17)2 月に来た使節は全権委任状がないとして追い返す。
①「朝鮮は完全独立」=清国は朝鮮半島から手を引く⇒日本は朝鮮を支配する道へ踏み出す
②(　　)半島と(　　・膨湖ほうこ諸島)を日本領とする
③清国は日本に多額の(　　)を支払う‥2 億両ﾃｰﾙ(後に 3000 両追加)　↓国民意識に影響。
※約 3.6 億円(日本の国家予算の 3 倍以上、戦費の 1.8 倍→８割以上を軍事費に。「戦争はもうかる！」
④清国に不平等な通商条約を押しつける　　※この会議でも尖閣諸島領有を清国に通告せず。

⇒日本の実力が世界に知られる。「眠れる獅子」清国の弱体がわかり,ﾖｰﾛｯﾊﾟ諸国がさらに勢力を広げる。
☆台湾の領有・・台湾総督府を置いて住民の抵抗を鎮圧し植民地支配をおこなう。
⇒日本の大陸侵略への基礎を築く。日本人の中に朝鮮人や中国人を馬鹿にする風潮。

歴史学習ノートNo６６

５６　ロシアとの激突・日露戦争

[**三国干渉と日英同盟**]p190,191

☆(＿＿＿＿＿＿)・・ロシアがフランス・ドイツをさそい(　　)を清国に返すように要求。
→日本は受け入れ(三国に対抗する力はないと判断)
→＊ロシア→ﾘｱｵﾄﾝ半島の旅順ﾘｭｲｼｭﾝ,大連ﾀｰﾘｴﾝ、ドイツ→ｼｬﾝﾄﾝ半島の青島ﾁﾝﾀｵ, イギリス→威海衛ｳｪｰﾊｲｳｪｲ,九龍ｸｰﾛﾝ, フランス→広州湾 などを租借地とする。
⇒日本国内に「ロシア憎し,ロシアをやっつけろ」という反発強まる。←新聞各紙があおり立てる。
☆ロシアに対抗するため国内政治の安定へ→対立していた政府と野党が協力し 軍備拡張へ。
※閔妃(ﾐﾝﾋﾟ)虐殺事件・・1895年(乙未)10月8日未明、駐韓公使三浦梧楼(ごろう)指揮の下に日本官憲と大陸浪人らがソウルの景福宮に乱入し,反日派の中心と目された高宗の妃閔妃を殺害した事件。しかし、かえって朝鮮人の民族闘争を激化させ国際的な非難を浴びた。日本は関係者を召還し裁判にかけたが、全員証拠不十分のため無罪として釈放した。
☆(＿＿＿＿＿)事件・・列強の中国分割への民衆の抵抗→北京の外国公使館を包囲・・「扶清滅洋」(=清を扶け外国勢力を撃滅する)を叫んで外国勢力やそれと結びつく地主たちを倒そうとする。⇒帝国主義8ヶ国連合軍３万２千人が反乱を鎮圧(うち22000人が日本兵←中国人のうらみ)
→清国は多額の賠償金を払い、外国軍隊の北京駐留を認める(この外国軍が後の火種)　**・・北清事変**
☆ロシアは事件後も満州に大軍を残し、韓国への進出をはかる。(日本軍もロシアに次いで長期駐留)
→日本国内にイギリスと組んでロシアに対抗するという意見が強まる。←三国干渉への怒り
☆(＿＿＿＿＿＿)の成立 1902年　　※権益=権利と利益
＊中国における(　　)の権益※と朝鮮での(　　)の権益を守り合う
＊日露開戦の時,イギリスは中立。他の国がロシアに味方したらイギリスはロシアに開戦 。
英露　〃　,日本は中立。他の国がロシアに味方したら、日本はロシアに開戦。
☆両国の戦争準備・・(1)ロシア・・(　　)の完成を急ぐ=ﾖｰﾛｯﾊﾟﾛｼｱから物資を運ぶ
(2)日本・・軍備強化,ロシアの脅威を煽り，討てという世論づくり←東京大学七博士の開戦論など
※日本国内の反戦論・・キリスト教徒の内村鑑三,社会主義者の堺利彦,幸徳秋水など→少数意見にとどまる

[**日露戦争**] p191　　※司馬遼太郎『坂の上の雲』『殉死』が強烈。反論もある。
☆開戦(＿＿＿＿)年 2/8、日本艦隊、ロシア艦隊を奇襲→2/10 宣戦布告(＿＿＿＿＿)戦争
☆日露の決戦 ＊ 陸軍・・苦戦の末、旅順(ﾘｭｲｼｭﾝ)を占領1月(乃木希典将軍の要塞に歩兵の正面突撃をくり返す無謀な作戦との批判もある※死傷者6万人以上)→その後の奉天会戦でかろうじて勝利3月
＊海軍・・(　　)**海戦** 5月ではるばるﾖｰﾛｯﾊﾟからやって来た(　　)艦隊を撃破
☆国民生活の困難・・軍事費のための大増税=砂糖しょうゆにも税金,たばこ・塩の専売制。
働き盛りの男子の徴用(兵士・軍夫108万人),馬・荷車の徴発→1904年は大凶作
＊国民の多くは勝利の知らせに励まされて戦争に協力(苦戦の様子は知らせない)
＊戦争に反対する者・・(　　)の『君死にたまふこと勿れ』など←資料集
☆ロシア・・長引く戦争・敗戦のショック→専制政治反対の革命運動、「血の日曜日」事件→皇帝への幻滅

☆日本・・兵力・財力の限界⇒戦争の続行は困難※⇒休戦へ(1905 年 8 月)　※国民には全く知らされない
　　※日清戦争の１０倍の戦費，約４６万人の死傷者，武器弾薬の不足
　＊アメリカ大統領(ｾｵﾄﾞｱ=ﾙｰｽﾞﾍﾞﾙﾄ)の斡旋(あっせん)・・日露どちらにも決定的に勝たせたくない

歴史学習ノート No６７

☆講和の成立・・アメリカのポーツマスで講和会議→**ポーツマス条約**(　　年)
　＊日本の(　　)における優越権を認める。　※リャオトン半島の 2 つの都市
　＊(　　・　　)※の租借権と東清鉄道の一部(長春・旅順間)を日本にゆずる。
　＊(　　=樺太)の南半分(北緯 50 度以南)を日本領とする。
　＊沿海州、カムチャツカ沿岸での日本の漁業権を認める。
☆条約を不満とする国民の大運動⇒(　　)をとれないことへの国民の不満の爆発・
　　日比谷焼き打ち事件 1905.9/5～6(東京市の警察本署 15 のうち 13 を焼く)　↓浮世絵版画などに記録
※松山収容所・・欧米人捕虜に対しては十分な待遇をした。日清戦争の清国兵捕虜は虐殺など過酷な処遇。

５９　国際的地位の向上と韓国併合

[**日本への期待と警戒**]p192
☆多くの日本人に、植民地化の危機を脱し(　　)に並ぶ世界の一等国なったという自信や大国意識。
☆日露戦争に小国日本が勝利！→植民地支配に苦しむアジアの人々に希望と自信を与える　※
　＊日本への亡命者・留学生の急増・・・中国革命の指導者(_____)など→日本で支援を受け運動。
※ネルー(インドの独立運動指導者)・・本質を見抜いていていた人。・・「日本の勝利は、アジアのすべての国々に大きな影響をあたえた。たくさんのアジアの人々が、そのことに感激した。ヨーロッパの一大強国は敗れたのだ。そして、アジア人のアジアの叫びがおこった。ところが、日本の勝利は、少数の侵略的帝国主義諸国のグループにもう一つの国を付け加えたに過ぎなかった。その苦い果実を最初になめたのは朝鮮であった。」
　ネルー『父が子に語る世界歴史』(みすず書房)・・獄中で娘のために書き送った手紙を元に編集。
☆日本の韓国支配の強化→日本への幻滅、怒りのひろがり→帰国する留学生など
☆欧米諸国の一部に(　　)・・黄色人種によって白人優位の体制が揺るがされるという不安。
[**韓国併合**] p192,193
☆日本の韓国支配・・＊1904 年 2 月，日韓議定書締結・・中立を宣言した韓国に日本軍の展開を認めさせた。
　　韓国の施政の改善に日本政府の忠告を容れる事なども強要。
＊1904 年 8 月，第 1 次日韓協約締結・・韓国の財政と外交に日本人顧問を派遣。
＊1905 年 11 月、第 2 次日韓協約締結・・韓国を日本の保護国とし、韓国統監府を置く。
※伊藤は 11 月 17 日に韓国政府閣僚の御前会議を開かせ,長谷川軍司令官を帯同して参加し,,はげしく協約案の調印を迫った。18 日午前一時、8 人の閣僚のうち,参政(総理)韓圭〓ら 3 人の閣僚の反対にもかかわらず,第二次日韓協約(乙巳保護条約)の調印を強制した。いわゆる韓国保護条約である。これに賛成した李完用(学部大臣)をはじめとする五人の閣僚を,朝鮮では乙巳五賊という。五ヵ条からなる第二次日韓協約は,第一条では韓国外交権の剥奪を,第三条では日本政府を代表する統監を置いて韓国の外交事項を管理し,保護政治を実施することを規定した。『国史大事典』吉川弘文館
　　→韓国統監(初代は　　)が韓国の外交・警察・内政を支配するようになる。
※アメリカのフィリピン領有,日本の韓国保護国化を相互に承認，英国も容認＝帝国主義国同士の連合
☆1907 年 7 月，韓国皇帝を退位させ、第 3 次日韓協約で統監府が内政権をにぎり,韓国軍隊を解散させる。

→朝鮮民衆の抵抗・・全国で反乱=義兵運動(1907~11)→日本は軍隊を派遣して鎮圧

＊伊藤博文が満州ハルビンで(　　※)に暗殺される(1909 年 10 月 26 日)　※朝鮮では英雄。

☆(＿＿＿＿＿＿＿)・・韓国皇帝に統治権をゆずらせて日本領土とする(＿＿＿＿＿年)。

→(　　)※を置いて支配する。首都漢城を京城とする。※写真のビルは 1995 年に解体

☆朝鮮総督府による支配・・日本人の総督が各地に軍隊と警察を置いて朝鮮を支配する。

⇒＊多数の日本企業が進出し鉄道・港をつくり、「土地調査事業」※で土地を取り上げる。↓

→仕事を求めて日本や満州へ移住する人も多い。　※1909~15 年日本人地主数 692 人→6969 人

＊「同化(皇民化)政策」=神社を建て,日本語を強制し,日本の文化を学ばせ朝鮮の文化を破壊する。

→後には朝鮮名を禁止し、日本名を強制した(**創氏改名**, 1939 年～)。→今に続く深い恨みのもと。

表④韓国併合後の朝鮮の変化・・韓国の人は「すべては日本のための開発で、日本人は米を奪い、土地を奪い、最後に人を奪った」と反発する。朝鮮の「日本化」を進める一方で朝鮮人への差別が強化され、馬鹿にする気風も広がる。

[**中華民国の成立**] p193

☆台湾の領有・・現地住民の抵抗を武力で鎮圧し(　　)を置いて支配し開発を進める。

＊日本の食料基地としての開発。近代化の基礎を築いた面もあるが、後には皇民化政策も強められた。

※戦後大陸から入った国民党政権の圧政との比較で,朝鮮ほど日本支配への反発は強くないが, 国民党支配に反発する人も,日本人に「二等国民」扱いされていたことを忘れてはいない。ダム建設指導者八田與一は台湾人を差別せず, 公正無私な姿勢ゆえに慕われた。

☆民主化をめざす中国の革命運動

＊(　　)、東京で中国同盟会を作り(※＿＿＿＿＿＿＿)を唱えて革命運動を開始。

※(　　=民族の独立・　　=政治的民主化・　　=民衆生活の安定)

☆(＿＿＿＿＿)革命 (＿＿＿＿)年

＊ウーチャン(武昌)で革命軍が反乱→政府の軍人・役人も参加→長江流域を支配する。

＊孫文、臨時大総統となり、(＿＿＿＿＿＿＿)の成立を宣言(首都ﾅﾝｷﾝ)(＿＿＿＿＿年)

＊袁世凱(えんせいがい・北部の軍閥)、皇帝を退位させ清国を滅ぼす。　→アジア初の共和国

☆袁世凱の裏切り・・＊大総統になり、首都を北京に移す。⇒外国と結んで革命勢力を弾圧。

⇒国内各地に(※　　)が勢力を張り混乱が続く。※地方の有力者が軍隊を持ち広い地域を支配

第４節　近代産業の発展と近代文化の形成

６０　日本の産業革命と国民生活の変化

[**工業の発展**]p194

☆産業発展のため金融制度を整備→各地に民営銀行。中央銀行として(＿＿＿＿＿＿＿)設立 1882 年。

☆(①　　・織物・②　　)などの**軽工業の産業革命**・・1880 年代(日清戦争前後)

※①綿糸をつくる工業・・大阪などに大工場→国産綿糸が輸入品を追い出す

②生糸(絹糸)をつくる工業・・アメリカ向けの輸出産業として発展

☆重工業の発展・・中国からの賠償金で官営の(＿＿＿＿＿＿＿＿＿)を建設(1901 年～※)

※ドイツ技術の直輸入が日本の現実と合わず翌年操業中止になるなど数年間は安定操業できなかった。

→輸入超過が続くが、しだいに鉄鋼・機械・造船などの工業が育っていく。

＊原料の鉄鉱石・・中国の大冶(ﾀｰｲｴ)鉄山や朝鮮から輸入

＊動力源の石炭・・九州の筑豊、北海道の夕張、満州のフウシュン(撫順)などの炭田から。
＊造船業・・日露戦争後に１万ﾄﾝ級の船舶を建造可能に。1908 年大型客船「天洋丸」(13402 ﾄﾝ)他
☆経済界を動かす有能な実業家・・多くの企業を育てた(　　)、三菱商会(　　)など。

[**財閥の成長と労働者**]p194,195
☆大資本家が多角経営で規模を拡大し、日本経済を支配する(＿＿＿＿)に発展。
＊ビッグフォー(４大財閥)・・（　　・　　・　　・　　）
→銀行を中心に鉄道，貿易，鉱山など様々な分野の企業を経営し，日本経済を動かす。
☆鉄道の発展・・1889 年(　　)本線(新橋神戸間)全線開通、国内主要幹線が整備される
軍事・経済上の必要から民営鉄道 17 社をを国有化し、国鉄として整備。
☆悲惨な工場労働者・・多くは繊維産業で働く女性労働者　※資料集などで補う必要有り。
＊低賃金と長時間労働（紡績で 12 時間、製糸で 14～18 時間など）　↓ﾌﾟﾘﾝﾄ No53 参照
＊男性労働者・・鉱山業や運輸業で働く。⇒労働運動や(　　※)も広がる。
※1910 年(　　)・・天皇暗殺を計画したとして無実の(　　)らも逮捕され翌年 12 名が死刑。※
☆公害の発生・・（　　）鉱毒事件　※社会運動、冬の時代へ
＊栃木県の足尾銅山・・急速に増産し鉱毒を垂れ流す→(　　)の魚類を死滅させ流域の田畑を荒廃させる。⇒流域住民の反対運動(銅山の操業停止などを求める)
→政府は富国強兵のためにはやむを得ないとして会社を助け※、運動を弾圧。
※農商務大臣陸奥宗光の二男潤吉は足尾銅山の経営者古河市兵衛の養子だった。
＊1901 年、運動の指導者(　　)が天皇に直訴するが受け入れられず。
さまざまな反対を押し切り、谷中村を遊水池にして被害住民を立ち退かせ、運動は敗北した。
しかし、**日本最初の「公害反対運動」**として後世に大きな影響を与えた。
☆農村の変化＝自給自足(必要なものは自分でつくる状態)の農村に現金による商品経済が広がる。
＊商品作物の栽培がさらぬ広がる・・生糸生産に必要なくわ(桑)や茶や麻の栽培。
＊土地を担保にお金を借りる→借金を返せず土地を手放す農家
→(　　)から土地を借りて、収穫高から小作料をはらう(　　※)となる
＊零細な農家や小作人たち→出稼ぎや労働者になる　※1907 年全耕地の 45%が小作地
＊地主の勢力が拡大・・小作料の米を販売して資産をかせぎ、資本家となるものも。

人物クローズアップ　足尾銅山鉱毒事件と田中正造　p195
「真の文明は　山を荒さず　川を荒さず　村を破らず　人を殺さざるべし(1912.6.17 日記)」。天皇への直訴も狂人扱いで不問とされたが、最後まで谷中村に住んで農民を救うために奮闘した。

歴史ズームイン　日露戦争を勝利に導いた舞台裏　p196
※日露戦争をロシアの侵略から日本をまもる正しい戦争とする立場からする舞台裏情報。
⇒この戦争の本質を検討し，生徒と共に考え合う必要がある。いくつかの論点で見てみよう。
①日露戦争は日本の防衛戦争か？→ロシアに脅かされたのは満州や韓国における日本の「権益」であって，日本の独立でも日本人の生命・財産でもない。近年の研究では，1903 年ロシア皇帝ニコライⅡ世は，陸軍の一部にあった対日開戦論を許さない決定をしていた。開戦の直前には，日本の主張する「満韓交換論」に沿う妥協案を日本側に打電しようとしたが，日本側の電信線工作で伝わらなかった。などが明らかになっている。ロシア側には日本を攻撃して占領する

意図も計画も無かった。従って防衛戦争ではなく満州･韓国の権益を争う両者の侵略戦争で，**日本の戦争目的は韓国を日本の保護国とすること**だった。最終的には韓国併合につながる。

②戦争の被害者は誰か。･･第一には，無視されているが戦場にされた韓国(朝鮮半島)と満州(中国東北部)の人々である。第二に，日露双方の兵士たち。死者だけで日本約 8 万 5 千人，ロシア約 5 万人。戦傷者は双方数十万人にのぼる。第三に，その家族，国民。関係者でなくともその後双方の国民は戦費負担，借金返済のための大増税にも苦しめられた。日本では地租･営業税･所得税･酒税･登録税･印紙税･関税が増税，毛織物消費税･石油消費税･通行税･相続税が新設。塩･煙草の専売制も施行され，国民生活を困難に陥れた。ロシアでも同様である。

③戦争を煽ったのはだれか。･･政治家(主として野党系)だけでなく，学者(戸水寛人ら東京大学七博士ほか)，有力新聞が開戦を急がない政府を弱腰だと激しく攻撃した。『大阪朝日新聞』『東京朝日新聞』『万朝報』『仁六新報』などである。当時のロシアの実情なども伝えられたら，国民はもう少し冷静に判断することができただろう。世の中に一方的な意見・情報だけが流される状態はとても危険なことを教えている。ベルツは 1903 年 9 月 25 日に「勝ち戦さであってさえその反面にいかに困難な結果を伴うことがあるかの点には，一言を触れようとしない」と新聞を批判している。『ベルツの日記』(岩波文庫)

[人物クローズアップ　伊藤博文と渋沢栄一] p197　いずれも重要人物。伝記を読んでみよう。

☆伊藤博文：貧農出身で,師吉田松陰から「才劣り、学幼し。」と評されたが，わずか 5 ヶ月ほどの留学で身につけた英語が身を助ける。明治最大の政治家であり当然功だけでなく罪もある。

☆渋沢栄一：豪農から幕臣となり遣欧使節として学んだ銀行,株式会社などの制度を日本に実現させるため奮闘した。日本資本主義の父と言える。「道徳に裏付けられた経済」を唱えた。

６１　西洋文化と明治の文化

[**芸術の動き**]p198　　（資料集などで補おう）

☆古い日本文化の破壊(明治初期)･･文明開化のために古い文化を否定

☆日本文化の再発見･･アメリカ人のお雇い外国人(　　)→日本文化・美術の優秀さに驚き、伝統的な文化を守るように主張。(　　横浜出身)が協力。⇒世界に発信。

☆すぐれた日本美術の誕生･･(1)日本画･･横山大観「　　」,狩野芳崖「　　」など

※富岡鉄斎の文人画　　(2)洋画･･浅井忠「収穫」,黒田清輝「　　」「　　」など

(3)彫刻･･高村光雲「老猿」，荻原守衛「労働者」,「女」など

☆西洋音楽の普及･･＊小学校唱歌や軍歌を通じて･･＊(　　)の「荒城の月」「花」

☆演劇･･＊中心は歌舞伎、＊新派劇、＊新劇･･ﾖｰﾛｯﾊﾟ演劇を取り入れる

[**新しい文学のおこり**] p198,199

☆欧米人の自由な感情,豊かな個性などの影響→坪内逍遙『小説神髄』で心理的写実主義を主張

＊二葉亭四迷が口語文(　　)で『浮雲』を書く･･近代文学の出発点。

＊(　　)『　　』･･東京下町の少女のあわい恋心を描く

＊(　　)『みだれ髪』=大胆奔放に自分の思いを表現した歌集､「君死にたまふことなかれ」。

＊島崎藤村『若菜集』『破戒』『夜明け前』など･･･ ロマン主義の叙情を示す詩集から部落問題や明治維新など社会の現実を直視する自然主義の文学へ

☆西洋文明と本格的に取り組んだ日本の知識人の典型・・二人の文豪

＊(　　)‥『舞姫』『高瀬舟』『渋江抽斎』など‥軍医としてドイツに留学し、医学の発展に貢献しつつ、漢学の素養をもとに歴史小説に大きな足跡を残した。

＊(＿＿＿＿＿＿＿)‥欧米文化のまねや国家主義に走る日本の近代文化への批判し，個人の自立や自由を基本にした日本国民自身の文化をめざし多くの作品を残す‥

『坊ちゃん』『三四郎』『それから』『門』『草枕』『こゝろ』『　　』

☆写生による俳句や短歌の革新‥(　　)‥『ホトトギス』，『歌よみに与ふる書』他

[**教育の普及**]p180　　※中学校以上の学校に進学できるのは裕福な家庭の子女に限られる。

☆義務教育の延長と中等教育‥1907 年から小学校が 4 年から 6 年に。＊中学校と高等女学校

☆高等教育も発展‥＊東京大学、私立‥慶應義塾,東京専門学校(　　),(　　)など

☆科学の発展←西洋文化取り入れの必死の努力の成果

＊(　　)‥破傷風の血清療法の発見など，＊(　　)‥赤痢菌の発見

＊(　　)‥黄熱病の研究など　＊(　　)‥物理学(原子モデル他)

[課題学習　お雇い外国人]p200,201　　興味を持ったお雇い外国人について調べてみよう。

☆明治政府が、欧米諸国に追いつくため最新の知識、技術、文化を取り入れるべく招いた外国人の技術者、学者、教師、軍人など専門家。大変な高給(クラークは月給 600 円、太政大臣が 800 円)を支払った。

補足＊クラークの弟子では新渡戸稲造や内村鑑三が有名だが、『クラーク先生とその弟子たち』を書いた大島正健は海老名市出身。甲府中学校長の時悪童だった石橋湛山に大きな影響を与えた。

※なでしこ日本史４は省略　　樋口一葉を「貧しさの底に咲いた名花」とする上から目線は？

＜98 才の先輩の言葉＞

世界的な版画家・彫刻家として知られる浜田知明さんが日中戦争中の痛切な体験を朝日新聞に寄せました。彼は昭和 26,27 年ころ鶴見区の市場中学校で美術の先生をしていたこともあります。

朝日新聞 2013 年 12 月 16～20 日 人生の贈りもの　浜田知明(95:当時)より

「日本の軍隊が戦地でいかにひどいことをしたか、記録しておきたい。デッサンの「忘れえぬ顔」は民家の小窓から我々日本兵を見つけ、恐怖に顔をひきつらせた中国の少女を描きました。あの時、同じ隊の男が民家へ入り、少し経ってニヤニヤと服を整えながら戻ってきた。家には少女の母親もいた。母親の前でどんなことをされたか。僕は軍隊にいることが心底いやになった。

描きたいけど，どうにも絵にならない体験もあります。行軍中に宿営した集落で仲間とだべっていると，使用人の中国人が「腹をこわしたので薬が欲しい」と言ってきた。星一つない真っ暗な夜でした。１人の兵隊が「やるからついてこい」と立った。しばらくしてダーンと銃声が響き，闇の中から兵隊がにやりと笑って戻ってきた。日本ではごく普通の，店のおやじです。そんな人間が何の理由もなく，人を虫けらのように殺せるのが戦争なんです。ただ，どうしても絵にならない。･･･」(12/16付け①)。 「ある新聞に先日、「日本には武士道の伝統があり、明治以降も立派な軍人がいた。その日本軍が残虐なことをしたはずがない」という趣旨の、年配の女性の投書が載り、びっくりしました。虐殺や強姦をした人が、家族や友人に話すことはほとんどないでしょうが、それにしても･･･。最近はインタビューをお断りすることが多かったのですが，まだまだ語らねばならないと思い直しました。」(12/20付け⑤)

社会科の教員は，記事にある「年配の女性」のような歴史認識・戦争認識であってはならないと思います。大いに学び調査して子どもたちに事実を伝え，深く考えさせていきたいものです。

歴史学習ノートＮｏ７２

歴史絵巻　～近代②～　2012 年版で 9 箇所指摘した間違いのうち 6 つは削除したがまだある。

@パリ講和会議の絵･･ヴェルサイユ条約調印の際の各国首脳（ｳｨﾘｱﾑ･ｵﾙﾍﾟﾝの記録絵画)･･左端の人の白髪を黒髪に加工して日本代表(西園寺公望)のように見せているが原画(部分 p214)で西園寺は右端の人物から右へさらに４人目で顔半分だけ。「五大国の一員」の扱いはされていない。

@「日中戦争(1937~45 年)」手前が日本兵のようだが、鉄兜が扁平すぎたり背中に両けさがけの形が不自然。

@終戦の絵･･「耐へ難キヲ耐へ忍ヒ難キヲ忍ヒ･･ 」は昭和天皇の終戦の詔勅の一部。炊事しながら玉音放送を聞く人はいたか疑問。この絵ではこの女性がつぶやいているように見えてしまう。

近代②の世界へようこそ　p208,209　は p220,221 の資料に。

第５章 二度の世界大戦と日本

章の扉写真　戦艦大和･･「この経験が,戦後の技術立国･日本につながっていくのだよ」でいいの？

＊主力艦同士の艦隊決戦で戦争の決着がつくという「大艦巨砲主義」を最後まで引きずった日本海軍。口径 46cm の主砲 9 門で最大 42km 先の敵艦を撃破できるはず→レイテ沖海戦で大和は 104 発撃って命中ゼロ,一隻も沈めず。(原勝洋氏の研究による)「大和をたどって⑦」(朝日新聞 2014.3.6)「大和神話」の現実

※連合艦隊参謀神重徳の発言：「大和が生き残ったまま戦争に負けたら,なんと国民に説明するのか」「非常な税金を使い世界無敵の戦艦を造った。それをなんだ,無用の長物と言われるぞ」→沖縄への特攻出撃へ

第１節 第一次世界大戦前後の日本と世界

６２　第一次世界大戦

[**第一次世界大戦**]p210　　※いずれも軍事同盟・・「**集団的自衛権**=共同参戦権」を発動して共に戦う
☆ドイツの急速な発展→イギリス・フランスなどの植民地にも進出しようとする　↓３B政策
　＊ドイツの世界戦略・・バルカン半島から西アジアに進出(ベルリン・ビザンチウム・バグダッドを結ぶ))
　　⇒オーストリア・イタリアと(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)※を結ぶ(1882 年)。
☆イギリスの世界戦略・・カイロ・ケープタウン・カルカッタを結ぶ(　　)政策。
　　⇒フランス、ロシアと(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)※を結ぶ(1907 年)。
☆両者の軍備拡張競争と対立・・バルカン半島は「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」と呼ばれる。
　＊オーストリアがトルコ領だったﾎﾞｽﾆｱ・ﾍﾙﾂｪｺﾞﾋﾞﾅ(中心都市がサラエボ)を併合する(1908 年)
　＊ロシアが南下をねらって、バルカン半島のスラブ民族やギリシャ正教会を支持する。
☆(＿＿＿＿＿)年 6/28 ｵｰｽﾄﾘｱ皇太子夫妻がサラエボでセルビアの青年に暗殺される(ｻﾗｴﾎﾞ事件)
　　←ゲルマン系のオーストリアが進出してきたことへのスラブ系のセルビア人の反発
　　⇒オーストリアがセルビアに宣戦⇒次々と各国が宣戦し戦争が広まる
☆同盟国と連合国との世界戦争＝(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)へ
　＊同盟国(　　・　　・トルコ・ブルガリア)の４カ国(イタリアは連合国へ)
　＊連合国(　　・　　・　　・日本)など２８カ国
　⇒日本やインド・ベトナムなどの植民地を巻き込む大戦争の始まり

歴史学習ノートＮｏ７３

※『チボー家の人々(少年版がチボー家のジャック)』白水社・ﾛｼﾞｪ・ﾏﾙﾀﾝ・ﾃﾞｭｶﾞｰﾙの傑作。彼はこの作品で 1937 年にノーベル文学賞を受賞。若者たちはこの戦争の時代をどう生きたのか、読んでみよう。

[**日本の参戦と二十一か条の要求**]p211　　※自分が中国人だとしたらどう思うだろうか想像してみよう。
☆日本の参戦→日本は(　　)を利用して参戦(日本の勢力拡大のチャンス！)。
　　※「欧州の大禍は日本の国運を発展させる天佑」（元老井上馨の言葉）
　　①中国の(　　)を攻撃してシャントン半島を占領　　↑ﾃんゆう天の助け
　　②太平洋の赤道以北の(ドイツ領　　)を占領
　　③(　　)に艦隊を派遣して商戦などを警護。　　※p211 地図参照　↓(満鉄)
☆中国への(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)1915 年・・ｼｬﾝﾄﾝ半島のﾄﾞｲﾂ権益取得，関東州・**南満州鉄道**の権益延長，
　　満州・内モンゴルでの特殊権益要求,日本人顧問採用・日支共同の警察の実現・・・など　※
　　(「希望条項」こそ中国にとっては許しがたく,日本が欧米諸国に隠したかった内容)
　→中華民国の袁世凱(えんせいがい)政府は抵抗したが日本の要求に屈服しほぼ受け入れる(5/7)↓。
　⇒中国人留学生の一斉帰国、中国ではげしい排日運動や反政府運動がおこる　「国恥記念日」

６３　ロシア革命と第一次世界大戦の終結

[**ソビエトの出現**]p212
☆ロシアで戦争や皇帝の専制への不満爆発→「パン・平和・自由」を求めるストライキなど
　→皇帝が退位して臨時政府ができる(二月革命)が，戦争を続け、国民生活の困難続く
☆１９１７年(　　革命)・・(＿＿＿＿＿＿)に指導された労働者や農民中心の勢力が、戦争を続ける政府をたおし、(　　)政権が誕生。
☆ソビエト(労働者・農民・兵士の代表者からなる評議会)政府の方針

＊平和の呼びかけ‥(無併合・無賠償・※　　)の講和条約を！→1918 年ドイツと講和
※各民族はみずから自分たちのことを決める権利がある←レーニン「平和に関する布告」

[共産主義の拡大]p212,213　※普通「社会主義」が使われるがこの教科書では全て「共産主義」とする

☆世界初の※**社会主義**社会(労働者・農民などの理想国家)実現をめざしたソビエト政府→変質へ
1922 年ソビエト社会主義共和国連邦(　　)が成立

＊平和を実現し，地主の土地を取り上げ農民に分け与える→国民に支持される

＊土地や農場※、資本家の工場や銀行・鉱山・鉄道などの企業を国有化し，国家が管理する。

→　社会主義の計画経済へ　　※後にスターリンが農民から強引に土地を取り上げ集団化を進めた

＊初期には議会政治だったが革命に反対する政党を次々禁止して共産党による一党支配となる。

※ロシア皇帝一家や貴族階級，資本家・地主階級・知識人など反対勢力への過酷な弾圧がおこなわれた。

☆(　　)＝革命の自国への影響を恐れる帝国主義諸国は大軍を送って革命に干渉

＊日本 1918~1922‥7 万 3 千の軍隊を送り戦費約 10 億円を費やし 3 千人以上の犠牲を出して何も得られずに帰国。北樺太からの撤兵完了は 1925 年(英米仏各国軍は 1920 年 6 月までに撤兵)

※加藤高明外相：「外に外国の不信をまねき、ロシアのうらみを買い、内には陛下の軍人を長く外地にさらし、莫大な国費を使い、そのうえ何一つ国家に利益をもたらさなかった。外交上まれに見る失敗の歴史であった。」

(**近代日本が初めて敗北した侵略戦争だったが誰も責任をとらず国民への説明もなかった。**)

歴史学習ノートＮｏ７４

☆コミンテルン(共産主義インターナショナル)の結成 1919 年→各国の社会主義運動を指導

☆(　　)による独裁→農業の集団化，5 カ年計画などによる大規模な工業化

＊自分への反対者などを徹底的に弾圧(逮捕・投獄・処刑，収容所送りなど),各国の運動も支配する。

[**第一次世界大戦の終結**]p213

☆戦争の性格の大変化‥軍隊と軍隊の闘いから国力のすべてをそそぐ(　　)へ。

＊新兵器(　　・　　・　　・　　・　　など)の登場、塹壕ざんごう戦術など

＊ドイツ潜水艦(U ボート)による外国商船無警告撃沈作戦

＊これまでにない激戦⇔ 6000 万人の兵士、近代兵器の大量使用

→・マルヌ会戦(フランス北部)の１週間の砲弾１００万発＝日露戦争の日本軍の全弾薬量

・ヴェルダン要塞戦での死傷者数＝双方で７０万人以上　　1916 年 2～8 月

＊アジアの植民地の人々も大量に動員された(←「勝利したら自治権を与える」などの約束も)

⇒大戦全体での戦死者約(　　)万人，主戦場のヨーロッパは大きく荒廃した。

※レマルク『西部戦線異状なし』(新潮文庫)‥ドイツの一青年兵士が体験した過酷な戦場

☆アメリカの参戦

＊中立国アメリカ＝双方に輸出して利益→ ドイツ潜水艦によるアメリカ人の被害など

⇒ドイツに宣戦(　　年)し、大量の物資と兵士を送る ⇒連合国に有利な状態へ

☆ドイツの敗北‥水兵の反乱，皇帝逃亡，共和国の降伏‥(　　年)＝大戦終了

⇒ヨーロッパ諸国の国際的地位が低下し，アメリカの発言力が増大。

６４　ベルサイユ条約と国際協調の動き

[**国際協調の動き**]p214　　※民族自決論‥レーニン→ウィルソンへ

☆(　　)条約・・ドイツとの講和･パリ講和会議で調印(　　年6/28)

＊イギリス・フランスがウィルソン(米大統領)提案※をほとんど無視←自国の取り分を大きくしたい

※「平和のための14か条」･･無賠償･無併合･民族自決(欧州の)･軍備縮小･国際連盟･･

①ドイツ･･本国の一部とすべての植民地を取られ、多額の賠償金をかけられる。

→ドイツ国民の心にイギリス・フランスへの深いうらみ→第２次世界大戦につながる

②東ヨーロッパ諸国の独立を認め、(　　・アフリカ)諸民族の民族自決は否定

③日本は中国への21カ条が容認され,中国でのドイツの権益と南洋諸島の統治権を得る

☆世界の平和を守る国際機構(　　)が成立･･(　　)年

＊ｼﾞｭﾈｰﾌﾞに本部。イギリス･フランス･イタリア･日本が常任理事国, 議会の反対で(　　)が不参加、

ドイツは1925年、ソ連は1934年に参加　→　国際平和に強い力は持てず

[アジアの民族運動]p214,215

☆中国の混乱･･孫文に代わって大総統となった袁世凱が民主派を弾圧。各地に反乱する軍閥勢力。

＊(　　運動)・・ベルサイユ会議がドイツの権益を日本に渡すことを決定

1919年5月4日、北京の大学生がおこした運動→労働者や商人のストライキに発展

⇒排日・反政府の大運動へ→中国政府は条約に調印せず。　※旗に書かれた文字に注目

⇒孫文、中国国民党を発足させ中国共産党と協力して独立と国家統一をめざす

歴史学習ノートＮｏ７５

☆朝鮮の(　　)･･1919年3月1日、ソウルで知識人らが独立宣言文を発表し、「独立万歳(ﾏﾝｾｰ)」を叫んで行進→3ヶ月にわたり朝鮮全土に広がる独立運動へ(全国218郡のうち212郡で直接蜂起(ﾎｳｷ))･･･日本の警察や軍隊による武力鎮圧(死者約8000人)　※堤岩里(ていがんり)事件＝1919.4.15堤岩里村で日本軍が村民23人を教会堂に閉じこめ一斉射撃を加えた後放火して虐殺

→日本の朝鮮支配に変化・・言論、出版、集会の自由を一部認める

※柳宗悦の言葉「われわれ日本人が,今朝鮮人の立場にいると仮定してみたい。おそらく,義憤好きなわれわれ日本人こそ,最も多く暴動をくわだてる仲間であろう。」(旧版東京書籍教科書p191)

☆インド･･イギリスの裏切り＝「大戦後に自治を認める」約束を守らず

⇒(　　)やネルーらが指導する「　　・　　」の独立運動が広がる。

＊イギリス製品を買わずにインド製品を使おう！、自ら糸をつむぎ、塩をつくろう。

☆トルコ･･オスマン帝国がドイツ側で第一次世界大戦に参戦し敗北→領土が大幅に縮小

＊(ケマル･　　)が中心となってトルコ共和国を樹立(1922年)→近代国家めざす改革

歴史ビュー　幻の人種平等案 p215

＊1919年2/13,日本代表が国際連盟規約に「人種差別撤廃」を盛り込む提案→英･豪などが否決

※日本のねらいはアメリカ･カナダなどで激化していた日系移民排斥問題を解決するため

＊4/11,連盟規約前文に「国家平等の原則と国民の公正な処遇を約す」を加える修正案を提案

出席者16名中11名が賛成したが議長ウィルソンが全会一致でないとして不成立とした。

※アメリカ議会が「人種差別撤廃提案」採択の場合国際連盟に参加しないと決議していたため。

@当時も今も各国政府は国内事情を優先する。日本政府も自らの植民地差別撤廃の意図はなかった。

６５　大正デモクラシーと政党政治

[大戦景気と大正デモクラシー]p216、217

☆大戦でヨーロッパが主戦場→軍需品など大量の注文が日本へ→大戦景気

貿易黒字と生産の拡大→　鉄鋼・船舶中心に(　　)が発展。「成金」が多数誕生。

☆(＿＿＿＿＿＿)＝憲法の精神に基づいて藩閥への批判や政党政治を求める運動

＊第１次護憲運動(　　)年～・・立憲政友会の西園寺公望内閣が倒れ陸軍と藩閥に支援された桂太郎内閣成立→(　　・　　)を中心に民衆が大運動→桂内閣退陣=民衆運動初めて倒閣実現

☆(　　)が選挙で多数議席を占めた政党が内閣を組織する(＿＿＿＿＿＿)を主張=(＿＿＿＿)主義

※天皇主権のもとでデモクラシー(democracy)を「民主主義」と訳せない。

⇒大正時代から昭和初期まで・・世界的な民主主義の風潮の中，政党政治と自由主義が発展した。

この風潮を(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)と言う。→普通選挙を求める運動に大きな力を与える。

＊(　　)の天皇機関説=天皇は国家の最高機関として憲法によって統治する。

☆シベリア出兵をみこした米買い占め→米価の急上昇 1918 年→富山県魚津で「女房一揆」

⇒全国で民衆が米屋・金貸し・大商店などを襲う暴動＝(＿＿＿＿＿＿)

8/3 から約 50 日,労働者を中心に全国で 70 万人をこす参加者→軍隊まで出動してやっと鎮圧

→寺内内閣が総辞職→立憲政友会総裁の原敬(はらたかし)が日本初の(＿＿＿＿＿＿)を作る

☆第２次護憲運動(1924～)・・貴族院中心の内閣への批判⇒護憲派の加藤高明内閣(憲政会)を実現

歴史学習ノートＮｏ７６

→以後８年間、政党の総裁が内閣を組織する慣例に・・「　　」と言われる。

☆(＿＿＿＿＿＿＿)の実現(＿＿＿＿年)＝(＿＿＿)歳以上の男子に選挙権

＊有権者数が国民の５％から２０％ほどに大幅増加・・普通の民衆が政治に参加する

[社会運動の高まり]p217

＊ロシア革命成功の影響と米騒動の失敗の経験→民衆の団結した組織的な運動が発展する。

☆労働運動・・資本家との協調で地位向上をめざす運動から→労働者の団結と解放をめざす運動へ

(　　)結成 1921 年。1920 年第 1 回メーデー(労働者の団結を示す祭典)。

☆農民運動・・小作争議=小作料の引き下げなど要求→1922 年（　　）結成

☆差別からの解放めざす部落解放運動・・→(＿＿＿＿＿＿＿)1922 年結成。※右側の「創立大会宣言」の意味を考えよう。(『橋のない川』第１部～第７部・住井すゑ・新潮文庫。Ⅰ、Ⅱ部だけでもぜひ。)

☆男女平等をめざす運動・・平塚雷鳥が雑誌『青鞜(せいとう)』創刊(1911 年)→女性選挙権の実現へ

☆社会主義・共産主義をめざす運動が知識人や学生に←ロシア革命成功の影響

＊1901 年社会民主党→即日禁止、1910 年大逆事件・・天皇暗殺を計画したと決めつけ 12 名処刑

＊（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）結成(1922 年)→天皇制廃止, 18 歳選挙権, 8 時間労働制,中国への干渉反対などをめざす⇒　非合法の地下活動(きびしい取りしまりをのがれ、かくれて活動する)

＊アイヌ・・差別からの解放をめざすアイヌの人たちの運動。 1930 年北海道アイヌ協会結成。

☆普通選挙で社会運動が高まるのを恐れ弾圧のための法律も作る=(※＿＿＿＿＿＿＿)1925 年

※国体(天皇中心の国家のしくみ)の変革や生産手段の私有廃止をめざす運動(=共産主義)を厳禁。

⇒やがて社会運動全体をおさえつける法律となり、戦前の暗黒政治の土台をつくる。

６６　ワシントン会議と日米関係

[**軍縮の時代**]p218　　p219 上「軍縮と平和のあゆみ」参照

☆第一次世界大戦の巨大な損害→平和と軍縮を求める国際的な世論の高まり

＊(　　)**会議** 1921～22 年,9 カ国→海軍主力艦の建造制限＝英･米･日で５：５：３

中国の領土保全(日本は　　省の権益を中国へ返す)と貿易の機会均等(日本の独占を抑止)

※中国や西太平洋への日本の進出をおさえ，英米の権益を守る内容→日本の軍部は不満

(　　)の廃止･･アメリカが強く要望。→日本の国際的孤立へ

＊(　　)外務大臣の国際協調主義外交→戦艦破棄，陸軍人員削減など軍縮→財政緩和

☆(補足)世界大戦とロシア革命の影響→労働者、女性、大衆の権利がしだいに認められる

＊女性参政権の拡大･･イギリス 1918(完全は 1928)年、ロシア 1917、アメリカ 1920 年　＊ドイツの(　　)

憲法 1919 年→主権在民、20 才以上の男女普通選挙権、労働者の団結権,生存権)を保証･･最も民主的だったが･･

[**日本人移民の問題**]p218,219

☆日米関係の変化･･ロシアのアジア進出は協力して防ぐ→中国市場では(　　・　　)関係へ

→カリフォルニア州などで日本人移民排斥運動。1924 年日本人などアジア系新移民を禁止。

※以前からあったアジア人への差別意識に加え，日本の帝国主義的行動への反感が背景となる。

[**関東大震災**]p219　　※小田原付近の相模湾を震源とするマグニチュード 7.9 のﾌﾟﾚｰﾄ境界型大地震

＊(　　)年９月１日,関東大地震※発生⇒東京･横浜中心に大災害(　　)

歴史学習ノートＮｏ７７

→焼失･損壊家屋約 43 万戸,死者･行方不明 10 万数千人,罹災者約 350 万人→日本経済にも大打撃

＊**朝鮮人虐殺事件**･･ﾊﾟﾆｯｸ状態の中で「朝鮮人が井戸に毒を入れた」などのデマ→軍隊･警察･自警団などが

数千人の朝鮮人(中国人も)を殺害（『九月,東京の路上で』加藤直樹,ころから、など参照)

※藤岡事件･･同年 9 月 5,6 日デマに惑わされた群衆が警察署に乱入し保護されていた朝鮮人 17 人を虐殺.

◎中央防災会議「災害教訓に関わる専門調査会報告 1923 年関東大震災第 2 編第 4 章混乱による被害の拡大」は地震の後デマが広まり,軍隊･警察･自警団などが多くの殺傷事件起こした経過を詳しく報告している。

◎「天災にのがれ乍ら　哀れ人災に殪れた　鮮人の悲痛新し　漸やく寶生寺で追悼式(東京日日新聞)」。翌年 9/1、横浜南区の宝生寺で朝鮮人 500 人、内地人千人、県知事代理、市長代理などが参加する朝鮮人追悼会が行われた。

＊憲兵隊･警官などが社会主義者･労働運動指導者らを虐殺･･(大杉栄,川合義虎など)

⇒関東大震災は巨大な天災だったと同時に不幸な「人災」も引き起こした。横浜・東京など関東各地での殺傷事件の解明はこの「人災」を防止する上で欠かせない作業。ﾈｯﾄ上には虐殺をウソだというデマあり。

人物クローズアップ　新渡戸稲造(にとべいなぞう) p219

＊札幌農学校で学び,キリスト教徒となる。東大,米･ｼﾞｮﾝｽﾞ･ﾎﾌﾟｷﾝｽﾞ大学,独･ボン大学で学ぶ。

＊宗教教育がない日本ではどのように道徳を学ぶのかという問に答え「　　」を英文で著し各国で翻訳されて日本人への理解を広げ，新渡戸は国際的に著名な知識人となる。

＊国際連盟事務次長となり，連盟の中立性を世界にアピールし，アインシュタインなど国際的知識人に呼びかけて「知的協力委員会」を組織した。現在のユネスコの源流とも言われる。

＊農学・農政学者として台湾の植民政策に関与し，製糖業の立案・推進をはかった。

＊「武士道」は 1938 年矢内原忠夫訳の岩波文庫版が出て大いに普及した。当時の国民精神総動員の風潮の中で，身を捨てて国に尽くす国民の覚悟を養う書物として読まれた。

６７　文化の大衆化・大正の文化

[**都市化と文化の大衆化**]p220

☆都市化・・商工業の発展による都市への人口の移動と集中⇒生活・風俗の洋風化へ

　＊交通の発展・・都市と郊外を結ぶ私鉄，バス・路面電車・タクシーの利用も始まる

　＊電気、ガス、水道の普及→西洋風の生活様式、西洋間、ガラス窓のある「　　」

　＊洋服の普及・・男性の学生服、背広、ﾊﾞｽｶﾞｰﾙや電話交換手、女学生の制服で広がる。

　＊ﾗｲｽｶﾚｰ・ﾄﾝｶﾂ・ｺﾛｯｹ・ｵﾑﾚﾂ・ﾋﾞｽｹｯﾄ・ｷｬﾗﾒﾙなど洋風の料理や菓子の普及

　＊学生野球・・全国中等学校優勝野球大会(1915 年~,1924 年からは甲子園で)や東京六大学野球が人気

☆教育の普及・・大学・専門学校の増設(1918 年大学令で私立大学が正式認可)、高等女学校や中学校の開校,

　　進学率の向上、女子教育の拡充など⇒知識層の拡大

　＊個性と自主性を重視する自由教育もおこる・・明星学園、玉川学園、和光学園、自由学園など

☆大衆文化の発展・・新聞・週刊誌・総合雑誌(『文藝春秋』『中央公論』『　　』など)・大衆雑誌

　(『　　』他)などの普及、文学全集の出版，児童向けの雑誌、童謡や童話の普及

　＊大衆文学・・吉川英治(『　　』など),(　　『怪人二十面相』など)他

　＊ラジオ放送の発展，ﾚｺｰﾄﾞ・蓄音機の普及、ﾄｰｷｰ(有声)の活動写真(映画)などメディアの発達

　　⇒文化の大衆化が一層進む・・大衆小説、映画、歌謡曲、学生野球などが大衆の娯楽に

歴史学習ノートＮｏ７８

[**大正時代の学問と文化**]p221

◎自由な時代の風潮(　　)→自由な政治経済思想と個人の内面への関心が高まる。

☆学問・・(政治学)・・(　　)の民本主義，美濃部達吉の天皇機関説など

　(経済学)・・河上肇(かわかみはじめ)の『貧乏物語』(富裕層と貧乏人の格差をなくせと説く)など

　(哲学)・・西田幾多郎、『　　』をあらわし西洋と東洋の哲学の統一を図る

　(民俗学)・・(　　)が現地調査によって日本の庶民の生活風俗を研究する。『遠野物語』など。

　(　　)・・(　　)が民衆の日用品の美を重視する運動をおこす。沖縄・朝鮮にも注目。

☆文学・・＊人道主義の理想をかかげ人類愛を唱える白樺派(同人雑誌『白樺』)が活躍・・志賀直哉

　(『　　』他),武者小路実篤(『　　』他),有島武郎(『迷路』他)

　＊谷崎潤一郎(『　　』他)，知性的な短編小説の芥川龍之介(『　　』『　　』他)

　＊プロレタリア文学・・労働者や農民の生活と闘いを描く・・(　　)など

　＊童謡・童話・・鈴木三重吉が創刊した児童雑誌『　　』が大きな足跡を残す

　　一流作家・音楽家が協力→(童話)　芥川の『蜘蛛の糸』『杜子春』,新美南吉『　　』,

　　(童謡)　北原白秋の『からたちの花』，西条八十(さいじょうやそ)の『かなりや』など

☆音楽・・さまざまな歌曲、初の管弦楽団(オーケストラ)を組織した(　　)

　「赤とんぼ」(三木露風作詞,山田耕筰作曲)，「月の沙漠」(加藤まさを作詞,佐々木すぐる作曲)など

☆美術・・＊日本画に新たな画風の作品(「無我」「屈原」など)を生んだ(　　)

　　＊すぐれた肖像画(「金蓉」など)を描いた(　　)など

　　＊大正ロマンを象徴する女性風俗画を描いた(　　)など

第２節　第二次世界大戦終結までの日本と世界

６８　世界恐慌と協調外交の行きづまり

[**世界恐慌おこる**]p222,223　　※「暗黒の木曜日(10 月 24 日)」

☆アメリカの繁栄‥第１次世界大戦中から戦後にかけてヨーロッパに物資を大量輸出，資金も貸してばく大な利益を得る⇒イギリスを抜き世界一の経済力を築き繁栄する(「永遠の繁栄」!と思われた)

☆過剰生産←＊アメリカのフル生産、日本･インド･中国の生産拡大，ヨーロッパの生産が復興‥

→販売競争の激化、売れ残り商品の増加、倒産・失業の発生、農産物の過剰‥

☆(　　)年 10 月アメリカで株価が大暴落※⇒(　　)のはじまり

→商品は売れず,生産が激減。多くの会社･銀行が倒産,農産物も売れず捨てられる。

→ソ連を除く全世界に不景気が広がる⇒1933 年、世界の失業者 3500 万人。

⇒各国は自国第一の対策をとり、対立を深める。(大戦後の国際協調主義の終わり)

◎各国の恐慌対策

☆イギリス・フランスなど広い植民地を持つ国の不景気対策　　※block=区画、さえぎる

＊本国と植民地などとの結びつきを強め、他国の商品を入れない＝(　　)経済※

☆アメリカの不景気対策‥政府がさまざまな公共事業を行って失業者に仕事を与え、農産物を買い上げて農民の生活を安定させ、国民の需要(購買力=商品を買う能力)をふやす。

(　　)大統領の(　　‥新規まき直し)政策　1933 年～

歴史学習ノートＮｏ７９

･公共事業＝TVA(テネシー川総合開発)など。

☆植民地の少ない新興工業国‥(　　、　　、　　)など

海外から原材料を輸入して加工した製品を輸出する(　　)が行きづまり打撃を受ける

→自国の経済圏を築くため植民地拡大をめざす。

※「世界恐慌」は世界的規模の恐慌で 2008 年リーマンショック後の世界同時不況などもその一種。

1929 年～30 年代の世界恐慌を特に「**世界大恐慌**」あるいは「**大恐慌**」と言うことが多い。

[**昭和の恐慌**]p223

☆ブロック経済や各国の輸入制限→生糸･綿織物･雑貨などの輸出減で日本も大不況(　　)

＊会社や銀行の倒産,経営難で大量の(　　)が街にあふれる

＊農村の危機‥豊作貧乏(1930 年)と凶作(1931 年大冷害)→欠食児童,女子の身売り

→労働争議、小作争議の激化、無産政党の発展(1928 年普通選挙で労働農民党８名が当選)

⇒高橋是清蔵相(犬養内閣)による経済改革‥金輸出再禁止,財政支出で直接経済を刺激する

＋ 満州事変･満州国支配による市場拡大など　⇒1933 年に不況から脱出

６９　共産主義※とファシズムの台頭　※より幅広く「**社会主義**」と言うのが普通

[**全体主義の広がり**]※p224　＊(　　)=個人に対して国家や民族などの全体の利益を優先する権力思想

☆ソ連の動き‥(　　)が共産党独裁体制をつくり、重工業中心の工業化と農業の集団化を推進。

1928 年から(「五カ年計画」)をくり返し、社会主義の(　　)のため大恐慌の影響を受けず経済を発展させ国民生活が向上　→社会主義ソ連が「希望の星」に見えた時代

※一方でソ連共産党が政治を独占し、反対派をきびしく弾圧　⇒国民の自発性をそこなう。

‥徹底した言論統制が行われ，これらの実態は国外には伝わらないようにされた。

☆ヨーロッパ各国の新しい動き　※①と②は対立しながらともに勢力を拡大させた

＊不景気に苦しむヨーロッパ諸国にソ連の経済発展の情報が伝わる→①社会主義勢力の拡大※

国家権力が国民や経済を強力に統制し，国家や民族の目標を優先する②国家主義勢力も拡大

※ソ連と後のファシズムを共に「全体主義」とするのは8種の歴史教科書で育鵬社と自由社だけ。

[**ファシズム**]p224,225

☆戦後のイタリア・・**ムッソリーニ**がひきいる(＿＿＿＿＿＿)党が独裁政治を実現(1922年)

国民の不満を外にそらせるため対外侵略→1935年(　　)へ出兵→翌年植民地とする

☆戦後のドイツ・・多額の賠償金に苦しみ、大恐慌で一層痛めつけられる。

＊**ナチス**(　　)・・指導者(＿＿＿＿＿＿)

ベルサイユ条約反対、ドイツ民族の優秀さ、金持ちやユダヤ人批判を唱え国民の人気を集める。

⇒1932年第1党となり,1933年政権を握る(1/30)。国会放火事件(2/27)をしかけ共産党を弾圧。

＊ナチスの独裁政治 ＊共産党など他の政党を禁止し、言論・思想・労働運動を弾圧。

※民主的なﾜｲﾏｰﾙ憲法を停止し→＊世界最優秀のﾄﾞｲﾂ民族の血をけがす者として(　　)人を迫害。

＊ベルサイユ条約を無視して徴兵制をしき、軍備を拡大。

＊公共事業(ｱｳﾄﾊﾞｰﾝ建設など)と軍需産業の拡大で失業をなくし強大な軍事国家へ→国民が支持

＊ｵｰｽﾄﾘｱ併合に続いてﾁｪｺｽﾛﾊﾞｷｱのｽﾞﾃﾞｰﾃﾝ地方を併合※→ﾐｭﾝﾍﾝ会談で英仏が容認(1938年)

歴史学習ノートＮｏ８０

※映画「ｻｳﾝﾄﾞ・ｵﾌﾞ・ﾐｭｰｼﾞｯｸ」,ｱﾆﾒ「ﾄﾗｯﾌﾟ一家物語」はｵｰｽﾄﾘｱ併合に反発して亡命した一家の実話がもと。

☆イタリアやドイツなどの反民主主義・反自由主義をかかげる全体主義政治=(※＿＿＿＿＿＿)

※ファッショ(イタリア語で「束」)が語源→「集団,連帯」→一つの方向性を持つ政治集団

→スペインや東ヨーロッパ(ハンガリー,ルーマニアなど)でも全体主義政権が成立

☆戦争とファシズムに反対する連合(＿＿＿＿＿＿)・・知識人・芸術家・共産党・社会党など。

⇒フランスとスペインに人民戦線内閣実現(　　年)・・ﾌﾗﾝｽは1938年に分裂。

スペイン内戦・・ﾄﾞｲﾂ・ｲﾀﾘｱに支援されたﾌﾗﾝｺ将軍のﾌｧｼｽﾞﾑ勢力に人民戦線が敗北(1936~39年)

※ゲルニカ・・1937年4月26日人民戦線側の小都市ゲルニカがﾌﾗﾝｺ将軍を支援するﾄﾞｲﾂ軍による無差別爆撃を受けた。これに抗議してピカソが制作し「反戦」のｼﾝﾎﾞﾙとなった。ﾋﾟｶｿは後にフランス共産党員になる。この絵は1975年にﾌﾗﾝｺ政権が倒れた後,1981年にやっとスペインに返還された。

[**政党政治の混乱**]p225　※立憲政友会と三井・安田財閥，民政党と三菱財閥など

☆民衆の不満の増大・・貧困への不満,大陸の権益を失う恐れ,財閥優先の政治※への不満など

→軍を中心とする全体主義的な政治をめざす思想と運動がさかんになる。

→英米との協調・軍縮路線をとっていた民政党浜口内閣を攻撃。テロ事件が相次ぐ。

☆**ロンドン海軍軍縮条約**調印1930年→軍人や右翼団体の反発→(　　)首相狙撃事件

＊軍縮は天皇の統帥権(軍隊の指揮権)を侵す(「統帥権干犯」)として政友会※も激しく政府を批判。「統帥権干犯(かんぱん)」という言葉はその後，天皇や軍部の意向に同調しない人々への攻撃にしばしば使われ，自由な言論を押さえつける道具となって侵略戦争拡大の道につながった。

※政友会(鳩山一郎,犬養毅ら)。犬養は後に首相になるが軍人のクーデターで暗殺されてしまう。

７０　満州事変(改題)・・中国の排日運動が満州事変の原因ではない

[**中国の国内統一への動き**]p226

☆分裂していた中国・・(　　)による地方政権が各地に分立し,外国勢力がしばしば介入する。

⇒蒋介石の指導する国民党が 1927 年南京に(　　)を樹立し中国統一を進める

→北京政府(満州軍閥　　が支配)打倒をめざして北上し(　　)、1928 年北京を占領。

→途中，済南で居留民保護を口実に出兵した日本軍(山東出兵,田中義一内閣)と交戦(済南事件)。

張作霖は満州へ逃れ欧米諸国と手を組み国民党とも連携して欧米資本を導入しようとする

→6/4 日本の**関東軍**※、張作霖を列車ごと爆殺→排日運動激化、息子張学良は終生反日に。

※ 関東軍(日本軍の関東州=リャオトン半島守備隊⇒陸軍の最大最強部隊に発展)

→事件は「満州某重大事件」として真相が隠され責任者も処罰されず,軍の暴走を許す原因に。

[**満州事変のおこり**]p226,227

☆右翼や軍部のｽﾛｰｶﾞﾝ=「満州は日本の　　」・・20 万の日本人住民と日本の権益※を守れ!

→恐慌に悩む民衆の気持ちを引きつける。財閥も景気回復を期待してこれを支持。

※元々は日露戦争や「21 か条要求」で中国から奪い取った帝国主義の「権利と利益」

☆(　　)年 9/18、関東軍の謀略部隊が奉天郊外の柳条湖で満鉄線のﾚｰﾙの一部を爆破※。

⇒関東軍はこれを中国軍のしわざとして全面攻撃を開始し満州全体を占領。('32 年.1 月)

※関東軍参謀　板垣征四郎大佐，石原莞爾(かんじ)中佐らの陰謀。政府の不拡大方針を無視。

歴史学習ノート No８１

＊この戦争を(　　)と呼ぶ。事変=宣戦布告のない戦争・・ｱﾒﾘｶの「中立法」は戦争当事国には石油や鉄の輸出を禁じていたので、輸入していた日本は「戦争」と言えないため。

☆1932 年 3/1、「　　」建国。←清朝最後の皇帝溥儀(ふぎ)を皇帝とする(「ﾗｽﾄｴﾝﾍﾟﾗｰ」)。

→新聞があおった世論はこの動きを熱狂的に支持し，話し合い解決を図る政府を非難。

☆(　　)事件 1932 年・・海軍の青年将校ら満州国を承認しない(　　)首相を暗殺

関係者は死刑でなく最高 15 年の軽い刑に終わり、政党内閣はなくなってしまう。

７１　日中戦争　※当時日本は「支那事変」と言ったが「支那」の呼び名を中国は拒否している。

[**満州国のその後**](改題)p208　※「発展」とするのは当時の日本の見方。

☆中国、日本の侵略と国際連盟に訴える→(　　)調査団，日本の権益を認める※が「侵略」と報告。

国際連盟は 42:1(1 は日本)で日本軍の引き上げを勧告→**日本、国際連盟を脱退(　　)年**

※「大英帝国」の貴族であるリットンは植民地支配を肯定した。他の欧米諸国も中国に利権を持つため。

☆満州国スローガン「五族協和」,「王道楽土」,「共存共栄」→実態は日本が完全に支配する国

＊「多くの人が流入」・・窮乏化した朝鮮人 18 万 5 千人、日本の少年を満州北部に入植させた「満蒙開拓青少年義勇軍」8 万 6 千人など。農業移民 100 万戸 500 万人計画も実行された。土地は強制的に中国人から買い上げたり取り上げたため、敗戦時に元の住民などから襲撃を受け多くの犠牲者を出した。

＊「産業の発展」・・石炭・ｵｲﾙｼｪｰﾙ・大豆などの資源を手に入れ,重工業を建設する「満州産業開発五ヵ年計画」の下,重要産業を国家統制して大開発を図った。水力発電所,鉄道網の建設等の成果。

→日中戦争開始により「日本の戦争のための巨大生産基地」建設が進められる。

「日本人一等国民、朝鮮人二等国民、中国人三等国民という差別」も.(『<満州>の歴史』小林英夫)

※中国の地域区分を再確認しよう。

☆日本軍の華北分離工作・・華北五省を国民政府から分離させるために「親日政権」を作らせる。
　→国民政府も対抗し学生の反日デモなど抗日運動が激化する。国民党と共産党の内戦も続く。
☆(　　)事件 1936.12.12・・(　　)が蒋介石を監禁し「抗日のために共産党と協力」を要求。
　→国民党と共産党の「　　」が結成される。

[**ニ・ニ六**(にいにいろく)**事件**]p228,229
☆(　　)事件 1936 年・・陸軍青年将校ら,1400 人の部隊をひきいてｸｰﾃﾞﾀｰおこす。
　「一部の重臣や財閥・政党が政治をダメにしている。天皇中心の政治を実現しよう」などと主張。
　→大臣など４人(高橋是清,斎藤實他)を殺傷、４日後に反乱軍として鎮圧される。
※天皇怒る！「私が最も頼みとする大臣達を悉く倒すとは、真綿で我が首を締めるに等しい行為だ」「陸軍が躊躇するなら、私自身が直接近衛師団を率いて叛乱部隊の鎮圧に当たる」(現代語訳)
　→「勅命下る軍旗に手向かふな」(ｱﾄﾞﾊﾞﾙｰﾝ)，鎮圧部隊が包囲→兵士が原隊復帰し首謀者も投降。
　⇒首謀者らに厳罰(多くが死刑 17 名)⇒一部若手のはね上がりをおさえ軍部が本格的に政治介入へ
☆戦争によって国力を伸ばそうとする軍国主義が強まり、戦争に反対する一切の動きを封殺する。
　　・・共産党員から平和主義・自由主義者，一部の宗教者までも弾圧された。
　※1933 年 2 月、共産党員の作家(　　)は警察で拷問のすえ虐殺された。
　　他、警察・特高警察・憲兵・刑務所の看守らの拷問で虐殺された者は８０名以上。

歴史学習ノートＮｏ８２

☆満州から中国北部へ侵略を拡大→共産主義勢力に対抗するとしてファシズム諸国に接近する。
　＊1936 年日独防共協定、1937 年イタリアも加盟→日本・ドイツ・イタリアが連携する。

[**日中戦争**]p229　※夜間,銃声がして日本兵 1 名が一時行方不明→戦闘へ。※日本側は「支那事変,日華事変」と呼ぶ。
☆**盧溝橋**(ろこうきょう)**事件**※(　　年 7 月 7 日)→当初は不拡大方針→全面的な日中戦争※開始
☆南京事件・・1937 年 12 月から翌年にかけ,南京を占領した日本軍が、中国軍捕虜や女性・こどもなどを大量
※に殺害した事件(「南京大虐殺」とも言われる)・・※第一次安倍内閣の提案で始まった**日中歴史共同研究**では,双方とも虐殺は認めているが中国側は 30 万人以上,日本側は 10~20 万人などと人数には開きがある。↑外務省 HP にあり
☆中国軍の抵抗・・中国国民政府(指導者　　)は首都を南京から漢口、重慶に移して抗戦
　→中国軍(国民党軍と共産党(指導者毛沢東)の八路軍など)と民衆の抵抗が激化 ⇒泥沼の総力戦へ
　＊日本軍は都市と鉄道を支配するのがやっと(「点と線の支配」)。↓中国側の言い方。日本側は「燼滅」作戦
　＊中国側がゲリラ戦を展開→日本軍の三光作戦(殺しつくし焼きつくし奪いつくす)、731 部隊(捕虜の人体実験)
　⇒広大な中国での長期戦で日本側は戦争を続ける力がしだいに低下・・燃料・食料・武器の補給不足

７２　緊迫する日米関係

[**強まる戦時体制**]p230　※(　　)が「反軍演説」で除名され,軍の圧力で内閣が倒れた後に首相となる
☆(　　)公布(　　年)・・すべてを戦争へ動員できる体制へ
☆統制経済・・生活必需品の配給制（米・砂糖・マッチ・木炭・綿製品(衣類)など）
☆文化や思想の統制強化・・ﾊﾟｰﾏ禁止、「日の丸弁当」、「欲しがりません勝つまでは」,「ぜいたくは敵だ」など
　　※「国民精神総動員」運動の標語→反発も見られた。「ぜいたくは**素**敵だ」(落書き)
☆(　　)結成(　　年)・・※近衛文麿新首相の新体制呼びかけ→政党は解散し挙国一致体制へ。総裁は近衛文麿。 労働組合も解散して「産業報国会」となる。

[悪化する日米関係]p230,231

☆アメリカ(　　)大統領，日中開戦で日本の中国侵略を非難 1937 年。

→対日輸出制限を強化‥1939 年 7 月日米通商航海条約の廃棄を通告(1940 年 1 月失効)

☆日本陸軍の戦略‥「北進論」から「南進論」へ

＊社会主義ソ連へ侵攻する「北進論」に壁‥1939 年 5~9 月「　　」事件※で陸軍最強の関東軍機械化部隊がソ連軍に大敗→(　　)進出をねらう「南進論」が優勢となる

※5 月～8 月に大規模な戦闘。関東軍はほぼ１個師団が壊滅。9/15 停戦。国民には全く知らせず。

＊英米が東南アジアから中国を援助するルートを断ち(　　・ゴム※)などの資源を確保し戦力を強めるため。→1940 年フランス領インドシナ北部に進出 9/23(　　)

→アメリカ，ただちに日本へのくず鉄輸出を禁止 10/16。　⇒米英仏蘭との対立深まる。

＊日ソ中立条約(1941 年)‥南進のため北の不安を取り除くねらい(一方で関東軍を大兵力に)。

※ゴムは現在のプラスチックほどに重要。自動車のタイヤなどさまざまな用途に使われた。

歴史ビュー　幻の東京オリンピック p231　※1940 年は「皇紀 2600 年」でもあった。「0 戦」は 2600 年採用。

＊1935 年 IOC 総会が 1940 年東京オリンピックを決定‥恐慌から回復した経済力などを評価

＊日中戦争の長期化→世界からの批判，軍事優先との競合などから開催を辞退(1938 年)。

※1936 年のベルリンオリンピックをナチスドイツは徹底的に「国威発揚」の場とし,1940 年には日本もそれにならうは

ずだった。朝鮮の東亜日報はマラソンで優勝した孫基禎選手の胸の日の丸を消した写真を掲載し厳しく処罰された。

７１　第二次世界大戦

[ドイツの攻勢]p232　※平沼騏一郎内閣は「欧州情勢は複雑怪奇」との言葉を残して総辞職

☆ナチスドイツの東方侵略→イタリアと軍事同盟。ｵｰｽﾄﾘｱとﾁｪｺｽﾛﾊﾞｷｱ併合→国連は制止できず。

＊1939 年 8 月、ドイツがソ連と(　　)を結ぶ→世界中に大きなショック※

☆(　　)年９月、ドイツ軍が(　　)に侵入←ソ連軍も東から侵入。

→イギリスとフランスがドイツに宣戦⇒(　　)始まる。

☆ドイツ軍の急進撃(機械化部隊による電撃作戦)→北ヨーロッパ、西ヨーロッパを制圧

→40 年 6 月フランスを降伏させ,ほぼヨーロッパの大半を支配し,イギリス本土の爆撃を開始。

☆占領地でのドイツの圧政‥＊諸国民をドイツで強制労働させ反抗する者を徹底的に弾圧。

＊ユダヤ人への迫害の徹底→民族の皆殺し･抹殺(　　)へ→数百万人を殺害

※ポーランドの(　　)強制収容所、※『アンネの日記』文藝春秋 アンネ・フランク(1929~45)

☆ドイツ占領地での諸国民の抵抗運動(レジスタンス)‥軍用列車や倉庫の破壊,ドイツ軍への不服従など。

激しい弾圧に屈せず多くの犠牲を払って続ける。(c.ﾓﾙｶﾞﾝ『人間のしるし』『世界の重み』岩波書店)

＊フランスの抵抗‥ドゴール将軍がロンドンに亡命政府をつくり海外から抵抗を呼びかける。

＊イギリスの抵抗‥(　　)首相が国民を励ましドイツ軍の猛爆撃を耐え抜く。

人物クローズアップ　杉原千畝と樋口季一郎 p233

＊(　　)副領事杉原は外務省の指示に反してほぼ6000 人のユダヤ人に通過ビザを与えて亡命を助けた(1940 年)。特務機関の樋口はソ満国境の駅で上海をめざすユダヤ人などの満州国通過の便宜をはかった(ユダヤ人の経済力に期待する軍の政策と関連か)。人数は定かではない(1938 年)。

[**日独伊三国軍事同盟**]p232
☆日本・ドイツ・イタリアが(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)を結んで協力(＿＿＿＿＿＿＿)年
　＊イタリアの参戦(1940 年 10 月)・・ドイツ側に立ってギリシアを攻撃
☆ドイツ軍、ソ連に侵入(　　年６月)→急進撃でモスクワに迫る。ソ連は持久戦で対抗。
　→イギリス・アメリカは反ファシズムの立場からソ連を援助。　　↓民間人含め 2000~3000 万人死亡
　→スターリングラード戦でソ連軍がドイツ軍を撃破、総反攻を開始。⇒多大の犠牲
☆連合国の結束の強化=1941 年 8 月,チャーチル(英)・ルーズベルト(米)の洋上会談⇒「大西洋憲章」：この戦争をファシズムに反対し民主主義を守るための戦争とし諸国民に団結を呼びかける。

[**日米交渉の破たん**]p233　　※在米日本資産凍結は南部仏印進駐前に実施
☆日米交渉開始(1941 年 4 月)→根本的に対立し難航＝アメリカは日本の中国侵略停止・撤退を要求
☆日本軍、ﾌﾗﾝｽ領ｲﾝﾄﾞｼﾅ南部（ベトナム南部からカンボジアまで）を占領(　　)(41 年 7 月)
　→アメリカ、日本への石油・鉄の輸出を禁止※。イギリス・オランダも同調＝「ABCD 包囲網※」
　※Ａｱﾒﾘｶ,Ｂｲｷﾞﾘｽ(Britain),Ｃ中国(China),Ｄｵﾗﾝﾀﾞ(Dutch)各国による日本への「経済制裁」・・現在も北朝鮮など国際平和を脅かす国に国連が行っているものと同じ。日本側に原因があった。
☆日本の開戦準備・・アメリカと交渉しつつ戦争の準備を進める
　＊9/6 御前会議※「帝国国策遂行要領」決定→（10 月下旬を目途に対米英蘭戦争準備を完成する）

歴史学習ノートＮｏ８４

　※天皇が参加して開かれた元老・閣僚・軍部首脳の合同会議。戦争の開始と終了を決定した。
　※「開戦に消極的だった海軍」・・(　　)など海軍首脳は米国には勝てないと判断→敵対的ﾗｲﾊﾞﾙ陸軍に比べ「日中戦争開始以来,何もしない海軍」という批判,石油なしでは戦えない現実→やむなく開戦へ。山本はアメリカ太平洋艦隊を一気に叩いて制海権を確保するため真珠湾奇襲攻撃を推進した。→大局的には重大な失敗。

７４　太平洋戦争　　※「**大東亜戦争**」は当時の国民を戦争へ動員した用語であり戦後否定された。

[**真珠湾攻撃**]p234　　※本命の東久邇宮を避けた。皇族内閣で万一敗戦となれば皇室が持たない←「木戸幸一日記」
☆強硬派の東条英機が首相兼陸相となり※日米開戦を準備。　**11/5 御前会議で開戦を決定**
　ｱﾒﾘｶの「ﾊﾙ・ﾉｰﾄ」11/26→中国・ｲﾝﾄﾞｼﾅからの無条件撤退,蒋介石政権の承認,三国同盟の実質破棄他を要求。
　※「試案。日米協定として提案する基本方針の概略」だが日本側は最後通牒とした。しかし日本の開戦は決定済みで,ハワイを攻撃する艦隊も出撃していた。**「ABCD 包囲網とハル・ノートで日本は戦争に追い込まれた」は全く事実に反する。**
☆1941 年 12 月 8 日,日本陸軍がマレー半島コタバルに上陸しイギリス軍を攻撃(奇襲の第一撃)。遅れて海軍航空隊が(　　)の真珠湾・米軍基地を奇襲し太平洋艦隊に大打撃をあたえた後、米英に宣戦。
　⇒**太平洋戦争**※の開始　　※近年,中国・ｲﾝﾄﾞなどを含む「**アジア・太平洋戦争**」と呼ぶ。
　⇒第二次世界大戦の拡大・・日・独・伊の枢軸国と米・英・ソなどの連合国との世界全面戦争へ
☆初めの半年間・・日本軍の急進撃⇒東南アジア一帯を占領し、制海・制空権を握る。(p235 地図)

[**暗転する戦局**]p235　　※「ﾘﾒﾝﾊﾞｰ・ﾊﾟｰﾙﾊｰﾊﾞｰ」,「卑怯なジャップを倒せ！」など。
☆アメリカ軍の猛反撃・・(　　奇襲への怒り※、強大な生産力、日本軍の無謀な作戦↓)
　＊(　　)海戦 1942.6・・日本は 4 隻の空母,航空機 285 機,多くのベテラン搭乗員などを失う。
　　→以後日本軍は守勢に。1943 年 2 月(　　)島から撤退→米軍は島伝いに北上。
　＊1944 年 6 月ﾏﾘｱﾅ沖海戦敗北, 7 月(　　)島玉砕※→長距離爆撃機(　　)による都市への無

差別爆撃へ　※「玉と砕ける」(玉のように砕ける)。降伏を認めない日本軍部隊の全滅を表現する言葉

歴史ビュー　何がアメリカ国民を戦争に導いたか p235　※「REMEMBER DEC.7th!」p234 ﾎﾟｽﾀｰ

＊アメリカ合衆国大統領ルーズベルトが真珠湾攻撃を事前に察知しながらをわざと放置した、という真珠湾攻撃陰謀説は昔からあるが確証はない。それを暗に支持するかのようなキッシンジャーの発言を載せて「真珠湾攻撃」がアメリカにとっても良かったと思わせたいのだろうか。※日曜日の朝いきなり襲ってきた日本の航空部隊によって民間人48人を含め約2400人を殺されたアメリカ人の怒りは大きい。(沈んでいる戦艦　アリゾナの海面上の記念館に今も多くの参拝者がある)。この作戦を立案･指揮した山本五十六の出身地長岡は終戦直前に猛爆撃された。

７５　日本軍の進出※とアジア諸国　※「進出」の実態は「侵略」

[**アジア独立への希望？**]p236

☆日本軍の快進撃の理由は？　※ﾏﾚｰ半島一挙進撃のため海南島で徹底した訓練。航空部隊の援護など。

＊日本軍は現地のｲｷﾞﾘｽ･ｵｰｽﾄﾗﾘｱ軍を上回る兵力・兵器・戦闘経験・奇襲戦術などで圧倒した※

＊ｲｷﾞﾘｽ軍の不団結･･約半数が植民地(　　)の兵→「日本とｲｷﾞﾘｽの戦争で死ぬのはいやだ」

☆現地の人々はみんな日本軍を歓迎し、協力したか？　⇒　反応は様々

＊・警戒しておびえた人々　･･東南アジア各地の中国系の人々は特に。

・武力におびえ迎合した人々･･いったんは日本軍と戦うがすぐに同盟を結んだ(　　)など

歴史学習ノートＮｏ８５

・独立のため日本軍を使おうとした人々･･ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ(ｵﾗﾝﾀﾞ領東インド)の独立運動指導者など

日本軍と一緒に闘った人々･･(　　)やビルマ独立義勇軍

[**大東亜会議** 1943.11]p236　→表向きの戦争目的を宣言　※出席者はほぼ「戦犯」として非業の死を迎える

☆東京に中国(南京政府),ﾀｲ,満州国,ﾌｨﾘﾋﾟﾝ,ﾋﾞﾙﾏ,自由ｲﾝﾄﾞ仮政府などの代表を集めた会議※

→大東亜共同宣言･･「欧米諸国の支配から解放し独立させる」=(＿＿＿＿＿＿＿＿)の建設を宣伝

☆「資源がほしいから占領する」が実態･･日本は(　　)から石油や鉄を輸入して中国と戦争していた。その輸出が止められ,この地域の(　　),ｽｽﾞ,鉄,ｺﾞﾑ,ﾎﾞｰｷｻｲﾄがないと戦争ができない！

※**「大東亜政略指導大綱」**1943.5.31 御前会議決定。この大東亜会議開催も決定。下は一部抜粋。

第二　要領　六　(イ)「マライ」「スマトラ」「ジャワ」「ボルネオ」「セレベス」は**帝国領土と決定**し**重要資源の供給地**として極力これが開発並びに民心把握に努む。･･資源目当ての侵略が目的であることを明記

[**日本の占領とアジア諸国**]p236,237　(現地の教科書などから補足)

☆マレー半島やシンガポールでの華僑※虐殺　※国外在住の中国系の人々。今は「華人」と呼ぶ。

＊日本軍司令部は、華僑の中から反日抵抗分子を選別し、事前に抹殺することをめざす。

・マレー半島進撃の最中、シンガポール占領直後、再度マレー半島で、数千～数万人を虐殺。

＊(　　)を昭南市と改名し、日本時間や日本語を使用させ,日本文化を強要する。

・食糧不足,日本兵の乱暴,情報統制なども続き,日本支配下の三年半は「The Dark Years」※

(シンガポールの小学校社会科教科書4Bの表題)。「日本占領時期死難人民記念碑」が建てられている。

※「日本人は我々に対しても征服者として君臨し、英国よりも残忍で常軌を逸し、悪意に充ちていることを示した。日本占領の三年半、私は日本兵が人々を苦しめたり殴ったりするたびに、シンガポールが英国の保護下にあればよかったと思ったものである。同じアジア人として我々は日本人に幻滅した」

リー・クアンユー元シンガポール首相(『リー・クアンユー回顧録』上巻 p35)

☆インドネシア・・期待から幻滅・嫌悪へ。同時に占領の利点を認める評価もある。

＊期待・・支配者(　　)への反発、独立運動指導者(ｽｶﾙﾉやﾊｯﾀなど)の日本軍協力などから

＊幻滅・・戦争への動員,労働への動員(ﾛｰﾑｼｬと呼ばれた),物資の供出,兵士や憲兵の横暴など

「日本軍政府は厳しく残酷に統治した。彼らはすべての種類の情報に対して厳しい検閲を行った。手紙・演説・新聞記事とラジオ報道文が事前に審査された。占領期間中わが国と外国との連絡は全面的に途絶した。その当時われらが見聞したのはまったく日本の宣伝にほかならなかった。数百万《一説に 30 万》人のわが青年が捕らえられて,タイ・ビルマといった外国で労務者(苦力)としてこき使われた。わが青年の大部分《一説に 23 万人》は再び祖国を見ることがなかった《後日,これらの人的被害は賠償請求の算定基準となる》。」

（インドネシア小学校歴史教科書 SEJARH TANAR AIR Ⅱ(６年生用)1977 年）

※サンフランシスコ講和会議インドネシア代表発言では日本の占領下に 400 万人が死亡したとしている。

＊評価・・日本が持ち込んだ集団の規律。軍事訓練,統一した国語と教育などが独立を助けたとする。

☆ビルマ(ｲｷﾞﾘｽ領)・・独立を約束し軍隊を組織してｲｷﾞﾘｽに対抗させる→'42 年 7 月ｲｷﾞﾘｽ軍追放。

＊しかし独立指導者(　　・・ｽｰﾁｰさんの父親)は日本軍政に反発して反乱('45 年 3 月)。

※泰面鉄道・・日本軍の物資輸送のため東南ｱｼﾞｱ各国の労務者,ｲｷﾞﾘｽ軍捕虜などを動員して建設。

栄養失調とマラリヤなどで 10 万人以上の死者を出した。映画「レイルウェイ　運命の旅路」など。

☆フィリピン(ｱﾒﾘｶ領)・・ｱﾒﾘｶが独立を約束していたので、より早く独立させる。('43 年 11 月)

※塚本晋也監督の映画『野火』がフィリピンでの戦争の実態を示している。　　歴史学習ノートＮｏ８６

＊実際は日本による過酷な軍政→反発が強まり抗日人民軍(ﾌｸﾊﾞﾗﾊｯﾌﾟ)がゲリラ戦を展開。

＊米軍の日本への反撃の主戦場となり、国民約 111 万人が死亡。(日本兵も約 50 万人が死亡)　※

☆ベトナム(ﾌﾗﾝｽ領)・・早くから日本軍が占領し，フランス(ビシー政権)と協力して軍政をしく。

＊(　　)が中心となりベトナム独立同盟会(ベトミン)を結成し、日本軍に対しゲリラ戦。

※1944~45 年北部大飢饉(40~200 万死亡)・・凶作,日本軍の徴発,米軍爆撃による南部からの輸送途絶などで。(ベトナム独立宣言ではフランス人と日本人の二重のくびきで 200 万人が餓死したとする)

☆インド国民軍・・ｲｷﾞﾘｽ軍のｲﾝﾄﾞ兵捕虜を中心に結成。(　　)などの指導の下にﾋﾞﾙﾏから

ｲﾝﾄﾞをめざすが(　　)作戦で敗退。独立への一定の貢献が認められている。

※p237 地図「大東亜共栄圏の範囲にある国々と地域」・・1943,44 年に日本が「独立を承認」

⇒「独立」したはずなのに日本軍が過酷な支配⇒　多くの地域で反発・抵抗の運動がおこる

※本文「戦争が終わった後，十数年のあいだに次々と自力で独立国となりました」なぜ独立できたか？

⇒日本の占領が独立を助けた？　　自分の考えを書いてみよう。

日本の占領への抵抗が独立の力となった？

日本が敗北したから？

歴史ビュー　トインビーが見た「第二次世界大戦と日本」

p237　彼の真意に即して読もう。

☆イギリスの歴史家アーノルド・J・トインビーの発言(『歴史の教訓』岩波書店所収)から

＊「日本人ははからずも歴史的なことをなしとげた」=西洋の帝国主義者が無敵ではないと証明

⇔ 日本人が「図っていた」のは西洋の帝国主義者に取って代わってアジアの支配者になること。

＊「日本は,世界史の新しい時代の中で,先覚者的な役割があるものと確信する。」

⇔ それは「敗戦という痛ましい経験によって国家主義の限界を学んだ」からこそだ。

７６　戦時下の暮らし

[**国家総動員体制**]p238,239　　☆国民の総動員による総力戦

＊兵士の不足→(＿＿＿＿＿＿＿)=大学生も戦場へ('43.10～)。朝鮮人・中国(台湾)人への徴兵制

＊勤労動員→女性が職場を支え,中学生や女学生も工場へ。市民の重要産業への徴用(強制雇用)

＊物資の欠乏→(　　)は兵器材料に供出。繊維も節約→モンペ姿や(　　)へ

☆国民精神総動員・・新聞・雑誌・図書,映画も戦争協力を呼びかけ←反戦・厭戦の表現は厳しく弾圧

＊報道の統制・・敗北や不利な戦況は一切報道させず,退却も「転進」とする「大本営発表」が続く。

⇒マインドコントロールされていた国民の多くは「正しい戦争」として苦難に耐えて協力した。

☆朝鮮での「　　」政策・・戦争への動員のため、朝鮮人を天皇の民とする。

＊「　　」・・朝鮮の姓名をやめさせ、日本風に改めさせる。(1940 年 8 月までに 8 割)

＊日本語使用の強制・・学校教育を日本語で行い、朝鮮語を使ったら落第させるなど。

朝鮮語の新聞・雑誌を廃刊とさせ、朝鮮語辞典の編纂を禁止。

＊「私共は、大日本帝国の臣民であります」,「私共は、心を合わせて天皇陛下に忠義を尽します」

「私共は、忍苦鍛錬して立派な強い国民となります」＝「皇国臣民の誓い」を毎朝唱えさせる、など。

＊志願兵制度の実施(1938 年)、徴兵制度実施(1944 年)・・多くの朝鮮人が日本兵として死亡

歴史学習ノートＮｏ８７

☆台湾での「皇民化政策」　　〃　台湾人も同様。

＊神社への参拝の強制、台湾社会の習俗習慣の否定、メディアでの中国語廃止など。

＊「改姓名」・・1940 年～・・配給や助成を改姓名者に限るなどの方法で強制。

☆「強制連行」・・朝鮮人(70 万)や中国人(4 万)を強制的に日本に連れてきて働かせた←労働力不足

各地の炭坑、鉱山、軍事施設などで重労働→暴行，栄養失調などで多くの犠牲者を出す。

※劉連仁(ﾘｭｳﾚﾝﾚﾝ)さん・・'44 年 9 月に連行され北海道の炭坑から'45 年 7 月~'58 年 2 月まで逃亡。

1996 年日本国を提訴したが判決を見ずに死亡。(茨木のり子「りゅうれんれんの物語」他)

※花岡事件・・'45 年 6 月秋田県花岡鉱山で中国人労務者 600 名が蜂起して鎮圧される。

同鉱山では強制連行された中国人 986 名中 418 名が死亡。

※**従軍慰安婦**・・朝鮮人・中国人などの女性を強制したりだましたりして集め、日本兵の性欲処理の相手をさせ、軍隊と共に連れ歩いたりした。(吉見義明『従軍慰安婦』岩波新書　他)

＊(宮沢内閣**河野**洋平内閣官房長官**談話**)・・慰安所の設置は日本軍が要請し,直接・間接に関与したこと,慰安婦の募集については軍の要請を受けた業者が主としてこれに当たったが,その場合も甘言,強圧による等,本人たちの意思に反して集められた事例が数多くあり,更に官憲等が直接これに加担したこともあったこと,慰安所の生活は強制的な状況の下で痛ましいものであったとし,慰安婦の存在を認めた。＊損害賠償裁判の 8 件 35 人が強制的に慰安婦にされたと事実認定。国際的には，軍の管理下で強制的に兵士の相手をさせられたこと自体が女性の人権をおかす最大の問題とされている。日本領であった朝鮮では騙しが多いが、中国や東南アジアでは軍による暴力的な連行が目立つ。

[**空襲の被害と沖縄戦**]p239　　※国際法違反だがﾄﾞｲﾂ軍のｹﾞﾙﾆｶ爆撃や日本軍の重慶爆撃(218 回)が先例。

☆都市への無差別爆撃※・・1944 年 11/24 東京空襲→全国へ。国民学校生の地方への(　　)

⇒生産が激減し戦力と戦意が低下。'45 年 3 月 10 日(　　)大空襲,5 月 29 日(　　)大空襲。

☆沖縄戦・・'45 年 3～6 月、日本でただ一つ地上戦の戦場となった地域　　6/23 日本軍降伏

＊日本本土を守る前線基地として多数の飛行場などを建設(←住民の土地を取りあげる)
＊子どもや老人を九州や台湾へ疎開させる→潜水艦に沈められた「対馬丸」(1484 名死亡)
＊猛烈な爆撃、艦砲射撃の後、'45 年 3 月末慶良間(けらま)諸島、4/1 沖縄本島に米軍上陸
米軍 55 万人(上陸部隊 18 万人)に対し 約 12 万人(1/3 が民間からの補充兵)の日本軍が抵抗しほぼ全滅、県民 45 万人(昭和 19 年県統計は 59 万人)のうち約 12 万人が犠牲に。
※アメリカ軍の使用銃弾 750 万発、砲弾 60018 発、手榴弾 392304 発(「鉄の暴風」)→ 南部の石灰岩地帯の鍾乳洞(ガマ)に兵隊と民間人がこもって抵抗←火炎放射器・手榴弾で全滅も。
※「集団自決」の強制やスパイ容疑で日本軍に殺された者も多い。(沖縄県の戦没者慰霊碑である「平和の礎(いしじ)」には国籍を問わず沖縄戦で亡くなった 24 万 1414 人の名が刻まれる。2016.6)
※沖縄への「特攻」・・「 特別攻撃隊」=約 2400 機が沖縄を取り巻く米艦隊をめざした。撃墜、海上墜落が多かった。戦艦「 」・・沖縄本島に乗り上げて戦うとして出撃。4/7 鹿児島県徳之島沖で撃沈。

７７　戦争の終結

※5,6 月に陸海軍はソ連参戦有りの情報を得たが外務省や天皇には知らせず

[**ドイツの降伏**]p240　　↑『終戦なぜ早く決められなかったのか』NHK ｽﾍﾟｼｬﾙ 2012.8.15

☆イタリア降伏('43 年 9 月)→連合国軍がノルマンディー半島に上陸(年 6 月 6 日)
→連合国軍パリを解放('44 年 8 月 25 日)→ヒトラー自殺('45 年 4 月 30 日)→降伏（5/8）

歴史学習ノートＮｏ８８

☆連合国・・'45 年 2 月(　　)会談でドイツの戦後処理,ソ連の対日参戦※などを準備。
※(　　)米大統領がソ連に要求→(　　)はしぶるが樺太・千島領有を条件に独降伏後 2,3 か月後に参戦と約束。北方領土問題はこの時の米英ソ３大国の勝手な決定による(ヤルタ秘密協定)。
＊7 月の首脳会談→ｱﾒﾘｶ・ｲｷﾞﾘｽ・中国が(　　)宣言で日本の無条件降伏を求める。

[**原爆投下とソ連の参戦**]p240,241

☆(　　)投下・・アメリカはソ連の参戦までに日本を降伏させ戦後のアジアで優位に立とうとする。
7/16 実験成功→大至急準備して→＊8/6(　　)、8/9(　　)へ　⇒ばく大な被害
＊年末までの死者・・広島約 14~15 万人、長崎約 7~8 万人 。放射線障害でその後も死亡が続く。ｳﾗﾆｳﾑ型の広島に続けて長崎へのﾌﾟﾙﾄﾆｳﾑ型の原爆投下は降伏を急がせるだけでなく「実験」の意図もあった。

☆ソ連、日ソ中立条約を破棄して日本に宣戦('45.8/8)※→いきなり満州・南樺太・千島に侵攻。

[**日本の敗戦**]p241　　※以前の昭和天皇発言にも注意が必要。(『昭和天皇の終戦史』吉田裕、岩波新書)他。

☆御前会議・・国体(天皇制)維持を巡って結論が出ず最後に天皇の判断※をあおぎ，降伏を決定。
＊主戦派・和平派が対立して行き詰まっていたがソ連参戦で早急な結論を迫られた。昭和天皇は 1945 年 2 月に近衛元首相の終戦を勧める訴えに対し「もう一度戦果をあげてからでないとなかなか話は難しい」と拒否した。
⇒8/14,(　　)宣言を受け入れて無条件降伏→翌日天皇の「玉音放送」で国民に伝える
⇒9/2、東京湾内の戦艦ミズーリ艦上で、降伏文書に調印(正式な敗戦)。⇒第２次世界大戦終了

☆日本軍の死者約 230 万人、一般人(外地 30 万人内地 50 万人)を含めて **310 万人**(1977 年厚生省発表)。
＊ソ連による日本兵の(　　)抑留(約 57~70 万人,5.5 万人死亡),中国残留日本人孤児など。

☆第２次世界大戦の巨大な被害・・＊主な国の死者数(軍人・民間人・・東京書籍 p227)ｱﾒﾘｶ(292131,6000)，ｲｷﾞﾘｽ(264443,92673)，ﾌﾗﾝｽ(213324,350000)，ソ連(11000000,7000000)，中華民国(1310224,不明)，ﾎﾟｰﾗﾝﾄﾞ(123178,5675000)，ﾄﾞｲﾂ(3500000,780000)，ｲﾀﾘｱ(242232,152941)（The New Encyclopaedia Britannica,15th ed,2007）ソ連や中国は過小評価

歴史ズームイン　昭和 20 年，戦局の悪化と終戦ーさまざまな思い

※ﾍﾞﾄﾅﾑ(200 万)，ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ(400 万)，ｲﾝﾄﾞ(150 万)，ﾌｨﾘﾋﾟﾝ(111 万),中国政府の公式見解(軍人 380 万,民間人 2000 万人　1995 年江沢民演説)
などを加えると全世界では優に 5000 万人を超す。※育鵬社教科書の推計は異常に少ない

p242,243 補足

●戦果に逃げまどう沖縄県民・・なぜこうなったのか？・・大本営は沖縄戦を本土決戦準備のための時間稼ぎの捨て石として米軍に打撃を与えることだけを目的とし,住民の保護など無視した。

「多くの住民が日本軍によって,食料をうばわれたり，砲弾のふり注ぐなか、安全な壕を追い出されて犠牲になったりしました。」「人々が集団死に追いこまれたり,禁止されていた琉球方言を使用した住民が日本兵に殺害されたりすることもありました。」(帝国書院 p231)

「日本軍は,・・中学生や女学生まで兵士や看護要員として動員したりして強く抵抗しました。・・　日本軍によって集団自決に追い込まれた住民もいました。」(東京書籍 p229)

●沖縄戦,ひめゆり学徒隊の看護活動●●太田実少将の電文●に描かれた沖縄県民の戦争協力

戦前・戦中の本土日本人にはかつて琉球王国民だった沖縄県民を差別する意識があり，県民は日本軍にスパイ扱いされたり,「日本人なら日本人の誠を示せ」と責められたりした。沖縄県民は「日本人であることの証し」として必至の協力を迫られた面もある。美談にしてはならない。

●特攻隊員の思い・・『きけわだつみのこえ』(戦没学生の遺稿集，岩波文庫など)その冒頭から

「・・・自由の勝利は明白の事だと思います。人間の本性たる自由を滅ぼす事は絶対に出来なく、例えそれが抑えられているがごとく見えても、底においては常に闘いつつ最後には必ず勝つと いうことは、彼(か)

歴史学習ノートＮｏ８９

のイタリアのクローチェも言っているごとく真理であると考えます。

　権力主義全体主義の国家は一時的に隆盛であろうとも、必ずや最後に敗れることは明白な事実です。我々はその真理を今次世界大戦の枢軸国家において見ることが出来ると思います。ファシズムのイタリアは如何(いかん)、ナチズムのドイツはまた、既に敗れ、今は権力主義国家は土台石の壊れた建築物のごとく、次から次へと滅亡しつつあります。・・明日は自由主義者が　一人この世から去って行きます。・・」

　上原良治(1945 年 5 月 11 日、陸軍特別攻撃隊員として、沖縄嘉手納湾の米機動部隊に突入戦死。陸軍大尉。享年、22 歳。)

●作家のさまざまな思い●・・戦争に対して批判的な作家は筆を断つか獄中にいた。藤原ていは「作家」か？

このころ世界は⑤　列強の植民地とアジアの民族運動

◎第一次世界大戦後の世界の植民地　ベルサイユ条約は民族自決の原則をヨーロッパだけに認め、アジアは無視された。そのためアジア各国で民族独立をめざす大きな運動がおこった。(ノート No74,75)

◎トルコ革命・・軍人のムスタファ・ケマルが戦勝国による領土分割に抵抗し、トルコ共和国を樹立。

◎第一次世界大戦後後のアジアの民族運動＊ビルマ独立運動家アウンサンは日本軍の特務機関の資金援助と訓練を受けて反英独立を実現するが、日本軍の支配に反発して決起し日本軍を追放した。

※台湾・朝鮮や満州を支配している日本が「アジアの植民地を解放する」矛盾はすぐ見抜かれた。

なでしこ日本史～５ p225

３人の女性の紹介としてはいずれも一面的。彼女たちの歴史的役割に即して解説を(省略可)。

歴史絵巻～現代～　p250,251 今回は批判された「事柄の評価」をすべて省いている。

現代の世界へようこそ！　p252,253　省略

第６章　現代の日本と世界

第１節　第二次世界大戦後の占領と再建

７８　占領下の日本と日本国憲法　　※旧版では「民主化」

[敗戦後の占領と再建]p254　※ｱﾒﾘｶ,ｲｷﾞﾘｽ,ｵｰｽﾄﾗﾘｱ,ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ,ｵﾗﾝﾀﾞ,中華民国,ｿ連,ｶﾅﾀﾞ,ﾌﾗﾝｽ,ﾌｨﾘﾋﾟﾝ,ｲﾝﾄﾞ

☆**連合国※軍総司令部**(GHQ)・・最高司令官(＿＿＿＿＿＿＿＿)の指令による**戦後改革**。

(1)政治活動の自由化(治安維持法の廃止、政治犯釈放)→(　　)に選挙権

(2)(＿＿＿＿＿＿)・・(　　・　　・　　)など巨大企業ｸﾞﾙｰﾌﾟを解体←独占禁止法

(3)労働者に団結権や団体交渉権を認める・・(＿＿＿＿＿＿＿)制定。

(4)(＿＿＿＿＿＿)・・1945~46 年政府が地主の土地を買い上げ小作農に売り(　　)が増大

(5)天皇の「人間宣言」='46.1.1 天皇が神の子孫という思想を否定。神社参拝の強制廃止

戦前からの言論統制撤廃。軍国主義を支えた歴史教育の禁止(墨塗り教科書など)。

(6)軍隊の解散、戦争指導者・協力者の公職追放→46 年～(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿=東京裁判)

歴史学習ノートＮｏ９０

[日本国憲法の制定]p255　※民主的な新憲法を作成することで,他の連合国の天皇訴追の動きをかわそうとした。

☆1945.10 マッカーサー憲法改正を指示←ポツダム宣言(平和的な政府,民主主義の復活強化,人権確立を要求)

☆政府や民間の新憲法作り→'46.2.1 政府案(明治憲法の語句を一部修正しただけ)を新聞が暴露し「あまりに保守的,現状維持的」と批判→GHQ 案作成('46.2.4~2.10 民政局ｽﾀｯﾌが各国憲法や民間草案などを参考に作成)

※鈴木安蔵ら憲法研究会案は GHQ 案の原案の一つ(←ｼﾞｮﾝ･ﾀﾞﾜｰ『敗北を抱きしめて』他↓)

→'46.2.13(政府案を拒否し GHQ 案受け入れを要求※マッカーサーは日本統治のため天皇制維持が必要と考えていた。

GHQのホイットニー民生局長は松本烝治,吉田茂ら日本側代表に GHQ 案受け入れがあなた方が生き残れる道だと伝えた)

→'46.3.6 日本政府,GHQ 案を元に政府案を作成し,「憲法改正草案要綱」として発表'。

☆新しく選ばれた国会で審議し可決※→'46 年 11/3(＿＿＿＿＿＿＿＿)公布→'47 年 5/3 に施行

※国民主権の明確化,生存権規定の導入,議院内閣制の確立,憲法第９条２項に「前項の目的を達するため」の文言挿入などの重要な修正を行って成立させた(「ほとんど無修正で採択」は大ウソ)→国民の大部分は感激して受入れた。

☆**３大原則**・・(1)国民(＿＿＿＿＿)、(2)基本的人権の尊重　(3)※(＿＿＿＿)の放棄,戦力の不保持

☆多くの法律や制度も改正・・民法、地方自治法,(＿＿＿＿＿＿＿)・・男女共学･9 年間の義務教育

※前文と９条に明記。日本軍国主義の解体はポツダム宣言の要求だったが,戦争･戦力･交戦権の放棄は昭和天皇の戦争責任免除のために加えられた。ﾏｯｶｰｻｰは当時の幣原喜重郎首相が 1/24 に申し出たと言う。小関彰一『日本国憲法の誕生』

歴史ズームイン　東京裁判　p256　＊ﾎﾟﾂﾀﾞﾑ宣言の「戦犯処罰」に基づき裁かれた三つの戦争犯罪

①「平和に対する罪」(A 級)　侵略戦争・違法戦争の準備･計画･開始･遂行に関わった罪。

②「通例の戦争犯罪」(B 級)　戦闘中の非戦闘員の殺害や捕虜に対する虐待行為など。

③「人道に対する罪」(C 級)　一般市民に対する虐殺などの非人道的行為(ユダヤ人虐殺以外適用なし)。

東京裁判では 25 人の国家指導者･軍人に対し有罪判決→東条英機ら７人に死刑(※南京虐殺の責任を問われた松井岩根はＢ級のみ。他６人はＡ級とＢ級を兼ねた戦犯とされた)。

＊「平和に対する罪」は第一次大戦頃からの「戦争違法観」「指導者責任観」に基づいて適用された。

※インドのパール判事は「平和に対する罪」は事後法として無罪を主張。(日本の数々の残虐行為には「鬼畜のよう」だと断罪)。ｲﾝﾄﾞ国民軍指導者ﾁｬﾝﾄﾞﾗﾎﾞｰｽに共鳴していたことが日本の指導者=無罪に関わった可能性。(中里成章『パル判事』岩波新書)

※勝者である連合国が戦争責任者を裁いたこと、天皇の責任や米国の原爆投下・都市無差別爆撃を不問にした、などさまざまな問題が指摘されるが，日本政府は 1951 年のｻﾝﾌﾗﾝｼｽｺ講和条約でこの裁判を「受諾」して国際社会に復帰した。

人物クローズアップ　昭和天皇 p257　功罪」について意見は様々で自由社・育鵬社以外は取り上げない。

☆戦争との関わり・・憲法上，天皇は「戦を宣し和を講じ及び諸般の条約を締結」する存在(13 条)。

＊開戦を避けたい気持ちはあったとされるが開戦を決した御前会議では発言せず容認した。

＊戦中は毎日戦況を報告させ積極的に戦争指導に関わった。末期には「一撃和平」(戦果をあげて有利な講和をする)にこだわり,45 年 2 月の近衛文麿の和平提案も却下して被害を拡げた。

☆占領軍との関わり・・天皇制を統治に利用したいﾏｯｶｰｻｰに協力した。47 年 9 月に天皇は「米国が沖縄,その他の琉球諸島に対する軍事占領を継続するよう希望している」と伝えた。

７９　朝鮮戦争と日本の独立回復 ※ｻﾝﾌﾗﾝｼｽｺ条約は社会主義国などをはずした片面講和

[**冷戦の始まり**]p258　☆二度と戦争を起こさないという国際世論→平和のための国際組織結成へ

1945.10　(＿＿＿＿＿＿United Nations※)成立←ｻﾝﾌﾗﾝｼｽｺ会議45.6 で国際連合憲章　※=「連合国」と同名。

歴史学習ノートＮｏ９１

☆＊(　　)が中心となって東ﾖｰﾛｯﾊﾟ諸国などの社会主義諸国が連合→ﾜﾙｼｬﾜ条約機構 1955 年

＊(　　)が西欧諸国の復興を助け,資本主義諸国が連合→北大西洋条約機構(　　)1949 年

⇒米ソ中心の二大勢力による戦火をまじえない激しい対立(　　=「冷戦」)

☆新中国・・(　　)の指導する中国共産党が内戦に勝ち(＿＿＿＿＿＿＿＿)を建国(　　年)10 月

→社会主義国の建設へ。蒋介石の国民党・国民政府は(　　)へ逃れる。

[**朝鮮戦争と日本の独立**]p258,259　※国境は北緯(　　)度線あたり

☆朝鮮=1948 年南の(　　)と北の(　　)に分かれて独立※

＊(＿＿＿＿＿＿) 1950 年 6 月～北が南に侵攻、北に中国、南にｱﾒﾘｶ中心の国連軍がついて激戦

・3 年間に戦線が何度も往復する激戦が続き、国土が極度に荒廃し双方の死者は数百万に及ぶ。

→ 1953 年 7 月休戦協定→日本は米軍の基地となり、軍需物資の生産で経済復興(＿＿＿＿＿＿＿＿)

＊GHQ,(　　)結成を指令 1951 年 7 月。→保安隊 1952 年→(＿＿＿＿＿＿)1954 年

☆(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)締結 1951.9.8。同日(＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿)を結んで米軍駐留が継続。

→1952.4.28 主権回復・・沖縄・奄美・小笠原諸島はｱﾒﾘｶ，北方領土はソ連の施政権下におかれる。

☆(＿＿＿＿＿＿＿)1956 年 10 月→ソ連と国交回復。→日本，(　　)に加盟実現 1956 年 12 月。

８０　冷戦と日本

[**冷戦の進行**]p260,261

☆核兵器と宇宙開発・・米ソの水爆開発,ソ連の人工衛星(1957 ｽﾌﾟｰﾄﾆｸ 1 号)→核ミサイル攻撃を準備

☆世界各地での対立・・＊ハンガリー動乱 1956 年・・反抗をソ連軍が弾圧,＊ベルリンの壁建設 1961 年～

＊(　　危機)1962 年・・社会主義政権がソ連のミサイルを配備→阻止めざすアメリカと対立。

☆ベトナム民主共和国成立('45 年)→帰ってきたフランスと戦争=インドシナ戦争(1945～1954)

途中からフランスをアメリカが助け南に「ベトナム共和国」。北緯17度線の北に「ベトナム民主共和国」。
→南の政府を倒そうとする南ベトナム解放民族戦線の運動→アメリカが軍事介入1965年～
＊北ベトナムを爆撃(北爆)し南に大軍を派遣(最高時50万人)して激戦＝(　　)戦争
→1973年アメリカ軍撤退。'75年4/30サイゴン陥落→(　　)年、ベトナム社会主義共和国

[**安保闘争と経済発展**]p261

☆1955年の政界再編・・自由党と民主党が合同した(　　)と左右の社会党が合同した日本社会党が成立(５５年体制)→自民党がほぼ２対１で社会党をおさえ、政権を独占。
＊朝鮮特需をへて経済が急速に発展→「もはや戦後ではない(戦後復興は終わった)」(1956年経済白書)

☆安保闘争(　　年)・・日米安全保障条約の改定(日米共同防衛、米軍の極東展開など)への大反対運動
岸信介首相が条約に調印→国会周辺の巨大なデモ行進など→条約は承認されたが岸内閣は退陣。
⇒アメリカの世界的な軍事戦略に日本が大きく組み込まれる。(現安倍内閣は積極的に協力)

☆池田勇人内閣の(　　)計画・・国内対立をおさえ経済成長を加速させる

第２節　経済大国・日本の国際的役割

８１　世界の奇跡・高度経済成長

歴史学習ノートＮｏ９２

[**高度経済成長**]p262,263　　※昭和30年代初めから40年代末

☆（　　）・・1950年代なかばから70年代なかばにかけての経済の大発展
→年率10%をこす経済成長。国民総生産(　　)が世界第2位に。世界有数の経済大国へ。
＊1964年(　　)開催,東海道新幹線開業,1970年大阪(　　)など
＊電化製品の普及・・「三種の神器」＝電気洗濯機・電機冷蔵庫・テレビ。マイカー。
＊「団地」生活、消費革命・流通革命、スーパーマーケット，観光やレジャー産業も発展。

[**経済成長のひずみ**]p263

☆(　　)**問題**・・大量の産業廃棄物や有害物質⇒深刻な環境破壊＝４大公害病問題など
＊(　　←水銀),(新潟水俣病←水銀),(　　←ｶﾄﾞﾐｳﾑ),(　　ぜん息←大気汚染)
→裁判で被害者側が勝利⇒企業・国・自治体の取組はじまる・・公害対策基本法制定,環境庁(省)。

☆農林水産業の衰退と人口の都市への集中→農山村の(　　)化と都市の(　　)化

８２　冷戦と昭和時代の終わり

[**石油危機(　　)**]p264

☆中東戦争で産油国が原油価格を大幅値上げ(　　年)→物価上昇,物不足。高度成長が終わる。
→日本は(　　)技術に活路。新興工業国(NIES)の台頭・・韓国,台湾、シンガポールなど

[**アジア諸国との関係**]p264　　※それまでは台湾の中華民国を中国として承認していた。

☆(　　)1965年・・大韓民国と国交を結ぶ。朝鮮民主主義人民共和国とは国交がない。

☆中華人民共和国の国連参加(1971年)→米ニクソン大統領の中国訪問(1972年2月)
→日中共同声明(1972年9月田中角栄首相)→(　　)1978年で正式に国交回復※

☆**沖縄の本土復帰**＝(　　)年5月←長い本土復帰(日本復帰)運動

＊アメリカ軍の基地はほとんどそのまま残る→日本の米軍専用基地の約(　　)%が沖縄に集中。
※嘉手納かでな飛行場＝3700m 滑走路 2 本、200 機近くの軍用機が常駐する極東最大の空軍基地。
嘉手納町の 83%はこの基地と嘉手納弾薬庫が占有する。1995 ヘクタール。羽田空港は 1522 ヘクタール

[冷戦の終わり]p265
☆デタント(緊張緩和)から社会主義勢力の解体へ・・＊ソ連の(　　)侵攻失敗 1979 年～
＊ゴルバチョフ政権によるソ連の改革(情報公開と市場経済化)→かえって混乱,周辺国が離反
＊ベルリンの壁崩壊(　　年)→東西ドイツの統一(1990 年)
＊(　　)の解体(　　)年→ロシアと多くの共和国へ⇒**ヨーロッパの社会主義国なくなる**
☆昭和天皇死去(1989 年)→明仁天皇が即位。年号は「　　」へ。(1988＋平成 X 年=西暦)

歴史ビュー　核と世界 p265
☆核戦争の恐怖→世界の核兵器反対運動など⇒部分的核実験禁止条約 1963,核拡散防止条約 1968 年
☆ｽﾘｰﾏｲﾙ島原子力発電所事故(1979 年米)と(　　)原子力発電所事故(1986 年ソ)
起こりえないと言われていた炉心溶融事故と炉心爆発事故⇒膨大な放射性物質が大気中に拡散

このころ世界は⑥　冷戦の終結　p266,267
◎ベルリンの壁とその崩壊・・1961 年建設→1989 年東欧革命(非社会主義化)を受け壁が崩壊→ドイツ統一
歴史学習ノートＮｏ９３
◎ソ連崩壊と東ヨーロッパ諸国の民主化・・(　　)によるソ連の民主化が東欧の民主化へ。
＊(　　)年　ロシア連邦が独立国家共同体になりソ連が解体される。<ソ連型社会主義の終了>
◎中国の民主化運動と天安門事件・・1980 年代中国は改革開放経済へ=経済面の自由化・民主化が進む
政治面の民主化を求め学生らが北京天安門前で大集会←政府が武力弾圧=(　　)1989 年

８３　戦後と現代の日本文化
[戦後の文化]p268　※岡本は戦後民主主義を美術に体現した。藤田の活躍は戦前。戦争画への批判も。
☆放送の復興・・NHK も娯楽番組を重視。民間ラジオ 1951 年～。テレビ放送開始(　　)年～
☆映画の復興・・娯楽の主役へ。映画の主題歌「リンゴの唄」「青い山脈」も大ヒット。
ベネチア映画祭金獅子賞『羅生門』(黒澤明)など国際映画祭で受賞が相次ぎ大ブームへ
☆科学技術の復興・・(　　)がノーベル物理学賞受賞(1949 年)，国民を勇気づける
☆文化財保護法(1950 年)・・49 年法隆寺金堂火災(金堂壁画を焼損)をきっかけに制定
☆文学＊敗戦と向き合う・・野間宏『真空地帯』,大岡昇平『野火』,太宰治『斜陽』,坂口安吾『白痴』
＊日本の伝統と美・・川端康成『　　』,三島由紀夫『金閣寺』,小林秀雄の評論など
＊新しい動き・・安部公房『砂の女』，大江健三郎『個人的な体験』，石原慎太郎『太陽の季節』
＊社会派推理小説・・松本清張『点と線』他，歴史小説・・司馬遼太郎『竜馬がゆく』他
☆美術・・棟方志功ﾍﾞﾈﾁｱ・ﾋﾞｴﾝﾅｰﾚ国際版画大賞受賞、岡本太郎/絵画・彫刻・版画・写真・評論など。※
☆思想界・・社会主義の大きな影響→ソ連の崩壊をへて衰える，新自由主義的思考の拡大。
☆水泳・古橋広之進,野球(　　・　　),ﾌﾟﾛﾚｽ・力道山,相撲・大鵬,歌手・美空ひばり,俳優・石原裕次郎
[日本文化の国際化と多様化]p269
☆漫画・ｱﾆﾒ・・(　　)『鉄腕アトム』他、(　　)『千と千尋の神隠し』他→多くの作家が優れ

た作品を広め日本の一大産業に発展→世界中で親しまれる
☆テレビの発展・・カラー放送，衛星放送，地上デジタル放送，ブラウン管→液晶,有機 EL、４K テレビ
☆(　　)の普及発展，携帯電話・スマートフォンなど通信手段・技術が大発展

８４　地域紛争とグローバル化

[**地域紛争**]p270　　※東ヨーロッパから中央アジアなどでは対立を抑えていた社会主義の衰退も影響
☆新たな対立・・＊民族・宗教・文化のちがいによる民族紛争※や国家利益の対立が激化
イラン・イラク戦争(1980~88)，(　　)・・イラクがクウェートに侵攻,多国籍軍が介入し終結 1991 年※。
※「日本が戦費を負担しただけなので国際社会の評価が低い」?・・この「国際社会」=アメリカ。派兵国はテロの対象に。
→日本の対応：自衛隊の海外派遣を進める。1992 年～カンボジアなどで(　　=　　)
☆戦後のアメリカ支配などへの反発→(　　2001.9.11)→アメリカの逆上と反撃
2001 年~(　　)戦争、2003~2011 年(　　)戦争→フセイン政権を倒すが混乱が続く
☆アメリカに初の黒人大統領(　　)2009 年→「　　」を唱えてノーベル平和賞を受賞。
北朝鮮の核実験(2006,2009,2013 年)やミサイル発射など核の脅威は続き,核軍縮の動きも停滞。
＊2016 年被爆地(　　)を訪問。アメリカの「核兵器先制不使用」の実現をめざす。
[**グローバル化の進展**]p271　　経済・生活・文化などさまざまな分野で国境を越えて結びつく社会へ

歴史学習ノート No９４

☆大国による問題調整・・1975~**主要国首脳会議**(　　),アジア太平洋経済協力会議(　　)など
☆ヨーロッパ連合(　　)結成(　　)年,統一通貨(　　)を持ち経済協力から政治協力へ
東南アジア諸国連合(　　)1967 年~・・10 か国の地域統合に発展し経済・政治面で協力
☆中国の発展・・'90 年代に市場経済を取り入れ急成長(GDP 世界 2 位へ)。軍拡・人権・環境に課題。
[**南北格差と気候変動**]p271　　※先進国の植民地にされていた時期につくられた経済構造が原因
☆先進工業国と発展途上国との経済格差(　　)の拡大・・発展途上国は資源や農産品の輸出に頼り※
,その価格が先進国の景気動向に左右され不安定な経済が続く。自立を助ける援助必要。
☆二酸化炭素など温室効果ガスの排出拡大→(　　)が深刻。高温化・低地の水没・不作・・
→1997 年(　　)→**京都議定書**(2008~2012 の削減率決定)→解決先延ばしへ

８５　日本の現状とこれから

[**さまざまな課題**]p272　　⇒「公民」の学習で深めよう。
☆巨大自然災害からの復興・・＊1995 年(　　)・・直下型地震で神戸市など被災
＊2011.3.11(　　)・・マグニチュード 9.0(観測史上最大)の大地震と巨大津波で死者・行方不明者
2 万人近く。福島第一原発 3 基の炉心溶融事故で広範囲が放射能汚染し避難者多数。
→政府・国民の懸命の復興作業が続く。原子力発電をどうするか国民の判断が迫られている。
☆(　　)経済・・1980 年代後半~90 年代初の地価・株価の急上昇などの好景気　　↓2008 年
〃　崩壊後→長い不景気「失われた 10 年」。「実感なき好景気 2002~2008」の果てにリーマンショック 2008 年。
→日銀の大規模金融緩和と政府の公共投資による景気拡大政策 2013 年～・・成果は未知数
☆少子高齢化社会・・子育て特に(　　)、年金、高齢者医療、介護などへの対応はまったなし。
☆非正規雇用、(　　)企業問題など、誰もが安心して暮らせる社会をどう実現するかなど。

[世界のための日本の役割]p273

☆周辺国との関係・・＊領土問題・・(　　)との北方領土、(　　)との竹島、(　　)との尖閣諸島

尖閣諸島周辺では中国公船がしばしば接近し日本の艦船とにらみ合い→外交解決が急務。

＊北朝鮮による(　　)問題・・2002 年小泉純一郎首相(当時)の訪朝で一部が帰国できただけ。

＊過去の戦争処理・・河野談話(慰安婦問題)1993 年,村山談話(日本の侵略反省)1995 年など。

→政府高官や与党政治家の否定発言，首相などの靖国神社※参拝に韓国・中国などが反発。

※A 級戦犯をまつり,付属の軍事博物館(遊就館)では日本の戦争は正しかったとする展示をしている

☆日本の外交・防衛をどうするか・・現政権は日米安保条約で日本が共に戦えることをめざす。

☆2020 年　東京オリンピック・パラリンピック・・スポーツを通じた国際交流

歴史の旅の終わりに

p281　「日本人」と「日本文化」をどうとらえたらいいのか？

＊「日本は,他国からの大きな人口の流入もありませんでした」しかし「海外の文化も積極的に取り入れてきました」

・・実際には,海外から次々と文化を持った人たちが流入して混血し日本人となった。それは今も続く。

※『日本人になった祖先たち』篠田謙一,NHK ブックス